

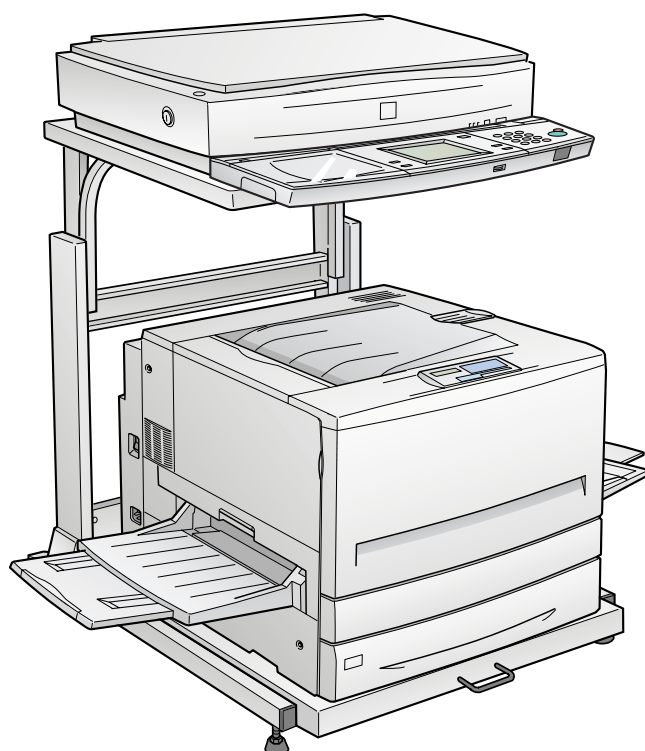
EPSON



本書は、CS-6500、プリンタ、スキャナを使用してコピーする手順や、困ったときの対処について記載しています。

コピーユニット CS-6500

● ● ● ユーザーズガイド



InterColor
インターカラーステーション STATION

コピーの仕方（基本編）

コピー設定の仕方

応用コピーの設定

管理者モードの設定

困ったときは

付録

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

セットアップガイド

この取扱説明書は、次の内容を記載してあります。

- 内容物の確認
- CS-6500、プリンタ、スキャナのセットアップの仕方

セットアップを代理店に依頼される場合は、セットアップガイドをお読みになる必要はありません。

ユーザーズガイド（本書）

CS-6500の取扱説明書です。CS-6500、プリンタ、スキャナを使用してコピーする手順や、困ったときの対処について説明しています。

原稿の向きとコピーの向き（早見表）

スキャナへの原稿のセット方向と、プリンタへの用紙のセット方向を説明しています。コピーシステムの近くに置いてご活用ください。

コピー濃度、色調補正の例

カラーコピーを行う際、コピー濃度/色調について、以下の項目を調整することができます。

(「コピー濃度 (こく/うすく)」と「コントラスト調整」は、操作パネルの **カラー/白黒** ボタンでコピー色を白黒に設定している場合も設定できます。)

- コピー濃度 (こく/うすく) 調整：

[コピー基本画面] で **こく** / **うすく** ボタンを押して調整します。

📖 本書「コピー濃度 (こく/うすく) 調整」P.48

- 色調補正：

[コピー基本] 画面で **色調補正** ボタンを押し、調整したい項目のボタンを押して調整します。

調整できる項目は次の通りです。

- [コントラスト調整]、[RGB 調整]、[彩度調整]、[色相調整]

📖 本書「色調補正」P.49

コピー濃度や色調を調整した場合の例を、次ページから示します。

次ページからの印刷サンプルは、印刷上の都合により、実際の印刷とは多少異なることがあります。

コピー濃度（こく / うすく）調整

- 濃度：画像の濃さを7段階で調整することができます。「こく」側は濃く、「うすく」側は薄くなります。初期設定は標準（中央）です。



設定「こく」



標準設定



設定「うすく」

コントラスト調整

- コントラスト：画像のコントラスト（明暗の差）を7段階で調整することができます。－側はコントラストが低く、＋側はコントラストが高くなります。初期設定は標準（中央）です。



設定 -



標準設定



設定 +

RGB 調整

ここでは、以下の項目について調整することができます。

- R：画像の赤の強弱を7段階で調整することができます。一側は赤色が弱く（シアンが強く）、十側は赤色が強く（シアンが弱く）なります。初期設定は標準（中央）です。



設定 -



標準設定



設定 +

- G：画像の緑の強弱を7段階で調整することができます。一側は緑色が弱く（マゼンタが強く）、十側は緑色が強く（マゼンタが弱く）なります。初期設定は標準（中央）です。



設定 -



標準設定



設定 +

- B：画像の青の強弱を7段階で調整することができます。一側は青色が弱く（イエローが強く）、十側は青色が強く（イエローが弱く）なります。初期設定は標準（中央）です。



設定 -



標準設定



設定 +

- コントラスト：画像のコントラスト（明暗の差）を7段階で調整することができます。一側はコントラストが低く、+側はコントラストが高くなります。初期設定は標準（中央）です。

彩度調整

- 彩度：画像の彩度（色の純度）を7段階で調整することができます。一側は色がくすみ、+側は色があざやかになります。初期設定は標準（中央）です。



設定 -



標準設定



設定 +

色相調整

- 色相：色合いを7段階で調整することができます。赤側に調整すると全体が赤っぽくなり、緑側に調整すると全体が緑っぽくなります。初期設定は標準（中央）です。



設定赤



標準設定



設定緑

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

セットアップガイド

この取扱説明書は、次の内容を記載してあります。

- 内容物の確認
- CS-6500、プリンタ、スキャナのセットアップの仕方

セットアップを代理店に依頼される場合は、セットアップガイドをお読みになる必要はありません。

ユーザーズガイド（本書）

CS-6500の取扱説明書です。CS-6500、プリンタ、スキャナを使用してコピーする手順や、困ったときの対処について説明しています。

原稿の向きとコピーの向き（早見表）

スキャナへの原稿のセット方向と、プリンタへの用紙のセット方向を説明しています。コピーシステムの近くに置いてご活用ください。

安全にお使いいただくために

- 本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されておりますその他の取扱説明書をお読みください。
- 本書および製品添付のその他の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
- 本書および製品添付のその他の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全上のご注意



警告

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

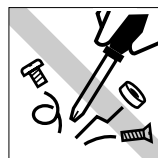
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



(取扱説明書で指示されている以外の)分解や改造はしないでください。

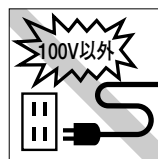
けがや感電・火災の原因となります。



スキャナ、プリンタは、表示されている電源(AC100V)以外は使用しないでください。

指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

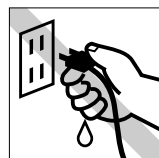
スキャナの電源とプリンタの電源は別のコンセントから取ってください。



⚠ 警告

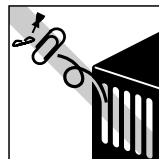
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。



通風孔など開口部から、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。

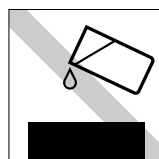
感電・火災の原因となります。



異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。



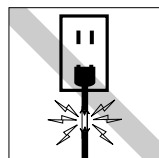
破損した電源ケーブルを使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

電源ケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源ケーブルを加工しない
- 電源ケーブルの上に重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

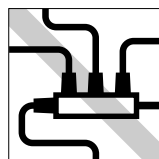
電源ケーブルが破損したら、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。



電源ケーブルのたこ足配線はしないでください。

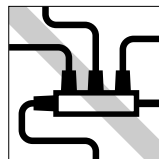
発熱し火災の原因となります。

家庭用電源コンセント (AC100V) から電源を直接取ってください。



プリンタの電源プラグは、定格電圧100Vのコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続、およびスキャナの電源を接続しているコンセントと同じコンセントには接続しないでください。

発熱による火災や感電のおそれがあります。(プリンタの定格電流は100V/10Aです。)



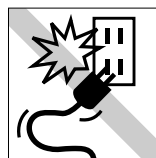
⚠ 警告

電源プラグの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると火災の原因となります。

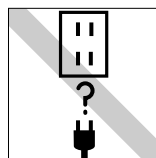
電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む



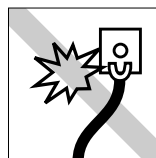
スキャナ、プリンタに添付されている電源ケーブル以外の電源ケーブルは使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



プリンタのアース線を接続しない状態で使用しないでください。

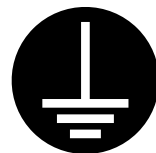
感電・火災の原因となります。



万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、プリンタに添付されている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・ 電源コンセントのアース端子
- ・ 銅片などを650mm以上地中に埋めた物
- ・ 接地工事（第3種）を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。

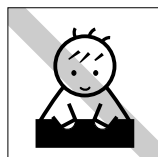
- ・ ガス管（引火や爆発の危険があります）
- ・ 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- ・ 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）



⚠ 注意

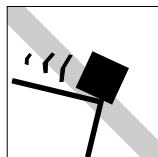
小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



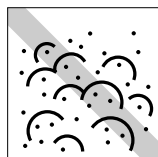
不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



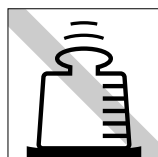
湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

感電・火災のおそれがあります。



本製品の上に乗ったり、物を置かないでください。

特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。



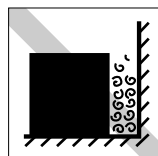
本製品の通風孔をふさがないでください。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。

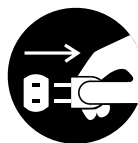
次のような場所には設置しないでください。

- 押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ
- じゅうたんや布団の上
- 毛布やテーブルクロスのような布をかけない

また、壁際に設置する場合は、壁から10cm以上(プリンタは15cm以上)のすき間をあけてください。

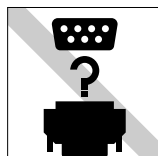


連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずスキャナ、プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。



各種コード(ケーブル)は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしてしないでください。

配線を誤ると、火災のおそれがあります。



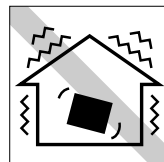
⚠ 注意

本製品を移動する場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。

落下によって、そばにいる人がけがをするおそれがあります。

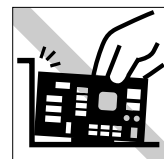


スキャナ、プリンタは重いので、開梱や移動する場合一人で運ばないでください。

必ず二人以上（プリンタは四人以上）で運んでください。



オプション類を装着するときは、表裏や前後をまちがえないでください。まちがえて装着すると、故障の原因となります。取扱説明書の指示に従って、正しく装着してください。



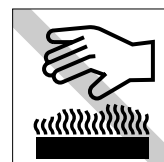
プリンタを紙詰まりの状態では放置しないでください。

定着器が加熱し、発煙・発火の原因となります。



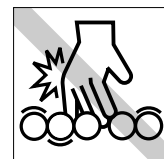
使用中に、プリンタの定着ユニットを引き出したときは定着器部分に触れないでください。

高温になっているため、火傷のおそれがあります。



プリンタの電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近づけないでください。

指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手にとってください。



使用済みのETカートリッジや廃トナーボックスを、火の中に入れてください。

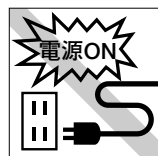
トナーが飛び散って発火したり、オイルに引火して火傷のおそれがあります。不燃物として処理してください。



⚠ 注意

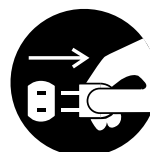
本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。

電源プラグが変形し、発火の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。



インターフェイスクーブルやオプション製品を接続するときや消耗品を交換するときは、必ず本製品の電源スイッチをオフにしてください。

感電の原因となることがあります。



本書のご案内

詳しいもくじは次ページにあります。

原稿/用紙のセット方法
や、日常的なコピーの仕
方を説明しています

コピーの仕方（基本編）

コピーに関する各種の
設定方法を説明してい
ます

コピー設定の仕方

応用的なコピーの仕方
を説明しています

応用コピーの設定

コピーシステムの基本
的な設定方法を説明し
ています

管理者モードの設定

困ったときの対処方法
を説明しています

困ったときは

● 安全にお使いいただくために	i
安全上のご注意	i
● 本書のご案内	vii
● コピーシステムの紹介	x
● プリンタ、スキャナのコンピュータ等 への接続	xii
● コピー設定の組み合わせについて ..	xiii
● 各部の名称とはたらき	xiv
操作パネル（スイッチ・ランプ）	xiv
● 本文中のマークについて	xvi
● 複製（コピー）上のご注意	xvii

コピーの仕方(基本編)

● 電源の投入	2
● 原稿の向きとコピーの向き	6
● スキャナへの原稿のセット	12
原稿台へのセット	12
ADF（型番：ESA3ADF2）へのセット ..	15
● プリンタへの用紙のセット	17
給紙経路とセットできる用紙	17
印刷できる領域	19
用紙カセットへの用紙のセット	20
用紙トレイへの用紙のセット	24
● 用紙サイズ/方向とコピー倍率の関係が 正しくない場合	29
● 用紙の排紙先について	30
用紙と排紙トレイの関係	30
排紙トレイの切り替え	30
● コピー枚数の設定	31
● コピーの実行	32

コピー設定の仕方

● 機能の紹介	36
● 倍率の設定	39
倍率設定の仕方	39
定型縮小 / 拡大の倍率設定	40
ズーム（任意倍率）の倍率設定	42
倍率を 100%（等倍）に戻す	43
フィットページ機能について	43
拡大 / 縮小の設定に問題がある場合	44
● コピー色（カラー / 白黒）の設定 ..	45
● 原稿タイプの設定	46
● コピー濃度（こく / うすく）の調整 ..	48
● 色調補正	49
コントラスト調整	50
RGB 調整	51
彩度調整	52
色相調整	53
● コピー設定の再利用	54
コピー設定の登録	54
登録したコピー設定の確認	55
登録したコピー設定での印刷	56
登録したコピー設定の削除	57
● 両面コピーの設定	58
● パネルの明暗調整機能	61
● コピー設定のリセット	62

応用コピーの設定

● 応用コピーについて	64
● 割り付け設定	65
割り付けコピーについて	65
割り付け設定の仕方	66
● 綴じしろ設定	71
綴じしろ設定について	71
綴じしろ設定の仕方	71
● 丁合い設定	75
丁合いコピーについて	75

丁合い設定の仕方	75
● ページ連写設定	77
ページ連写コピーについて	77
ページ連写設定の仕方	78
● ブック影消し設定	82
ブック影消しコピーについて	82
ブック影消し設定の仕方	82

管理者モードの設定

● 管理者モード スイッチと [ステータス表示] 画面	88
● ステータスの確認	89
● ステータスの印刷	90
● [環境設定] 画面	91
キータッチ音	91
スタンバイ制御	91
自動給紙	92
コピージョブ標準値設定	92
カラーキャリブレーション調整	93
コピーユニット工場出荷時設定に戻す	97

困ったときは

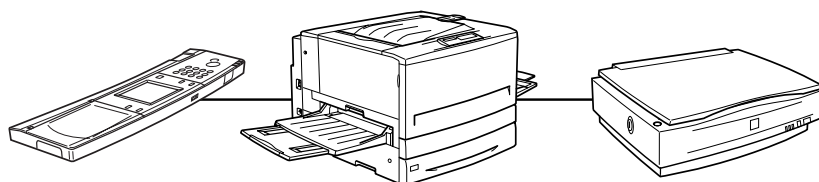
● 故障かな？と思ったら	100
● エラーメッセージ一覧	101
プリンタ側のエラー	101
スキャナ側のエラー	110
CS-6500 本体のエラーメッセージ	112
● スキャナの ADF で原稿が詰まったときは	113
● プリンタで用紙が詰まったときは ...	115
用紙の取り出しの注意	116
給紙口での用紙詰まり (ジャム C)	117
定着ユニットでの用紙詰まり (ジャム B) ..	122
排紙口での用紙詰まり (ジャム A)	124
下反転ユニットでの用紙詰まり (ジャム F) ..	125
両面印刷ユニットでの用紙詰まり	

(ジャム F, D, G)	126
● プリンタが正常に給紙/排紙をしない	
原因	128
用紙が詰まる/給排紙されない	128
用紙を二重送りしてしまう	129
● コピー品質上のトラブル	130
端の部分がコピーされない	130
コピーにモアレ (網目状の陰影) が出る ..	131
黒い文字が黒くならない	131
写真のコピーで明るい部分が白く飛ぶ ..	131
コピー結果が上下にズレる	131
印刷が薄い (うすくかすれる、不鮮明) ...	132
汚れ(点)が印刷される	132
周期的に汚れがある	132
指でこするとにじむ	133
塗りつぶし部分に白点がある	133
用紙全体が塗りつぶされてしまう	133
縦線が印刷される	133
何も印刷されない	134
白抜けがおこる	134
裏面が汚れる	134
印刷面がザラザラになる	134
原稿とコピー結果の色が合わない	135
● 消耗品の交換	137
● サポートのご案内	138
エプソン FAX インフォメーション	138
エプソンインフォメーションセンター ..	138
保守サービスのご案内	138
インターネット・パソコン通信サービス ...	139

付録

● オプションの紹介	142
● 日常のお手入れ	143
● 移動時のご注意	144
● CS-6500 の基本仕様	145
● 索引	147
アルファベット	147
アイウエオ	147

コピーシステムの紹介



高品位カラーコピー

大判 / 高画質に対応したプロフェッショナル仕様のスキャナと、高画質カラーレーザープリンタを使用するシステムですので、高品位なカラーコピーを実現します。

使用可能なスキャナとプリンタは次の通りです。

- スキャナ：EPSON ES-6000H、ES-8500
- プリンタ：EPSON LP-8500C、LP-8300C

簡単・素早くカラーコピー

操作パネルでコピーの操作をしますので、パソコンを使用してスキャナから原稿を取り込み、プリンタで印刷する場合に比べ、はるかに簡単・素早くカラーコピーができます。

さまざまなコピー設定

拡大 / 縮小等の設定の他、原稿タイプに合わせてのコピー設定や、両面コピー、色調の補正等、様々なコピー設定が可能です。

また、コピー設定をメモリに登録し、必要に応じて呼び出してコピーすることができます。



両面コピー（片面→両面、両面→両面）は、プリンタにオプションの両面印刷ユニットが装着されている場合のみ可能です。

応用コピー

通常のコピーの他、次のコピーが可能です。

- 割り付けコピー
- 綴じしろ設定
- 丁合いコピー
- ページ連写コピー
- ブック影消しコピー

これらの機能については、本書「応用コピー」(P.63) を参照してください。



ポイント

丁合いコピーは、プリンタにオプションのハードディスクユニットが装着されている場合のみ可能です。

スキャナ、プリンタがコンピュータ等からも使用可能

CS-6500に接続しているスキャナやプリンタを、コンピュータ等の装置やネットワークに接続する場合、CS-6500との接続を外す必要はありません。



ポイント

- CS-6500とコンピュータ等から、同時にスキャナやプリンタを使用することはできません。
- CS-6500とスキャナは、スキャナのオプションスロットに専用のスキャナ用I/Fカードを取り付けて接続します。このため、スキャナのオプションスロットを使用する装置は接続できません。

ネットワークスキャニングボックス（ESNSB1）が取り付け可能

ネットワークスキャニングボックスは、スキャナ用のオプションです。CS-6500に接続するスキャナでネットワークスキャニングボックスを使用している場合、CS-6500の操作パネルにネットワークスキャニングボックスを納めて、スペースを効率よく使用することができます。



ポイント

ネットワークスキャニングボックスは、スキャナをネットワーク上のコンピュータから使用するためのオプションです。CS-6500をネットワーク上で使用するものではありません。

プリンタ、スキャナのコンピュータ等への接続

CS-6500に接続しているスキャナやプリンタは、次のインターフェイスでコンピュータ等の装置やネットワークに接続できます。この場合、CS-6500との接続を外す必要はありません。

ただし、CS-6500とコンピュータ等から、スキャナやプリンタを同時に使用することはできません。

スキャナやプリンタをCS-6500以外の装置にも接続している場合、コピーの実行や、コンピュータ等からのスキャナやプリンタの操作を行う前に、スキャナやプリンタの動作が完了していることを確認してください。

●スキャナ

- 標準装備の SCSI コネクタ
- 標準装備の USB I/F (ES-8500 のみ)

●プリンタ

- 標準装備のネットワーク I/F
- 標準装備の平行 I/F
- オプションスロットに装着した I/F カード



ポイント

- スキャナにもオプションスロットが設けられていますが、CS-6500のスキャナ用I/Fカードを装着するため、CS-6500接続時は、スキャナのオプションスロットは使用できません。
- プリンタにオプションのHDDを装着している場合、コピー処理の実行中にネットワークI/Fからプリンタに送られたデータはHDDにスプール（一時的な保管）されます。
また、ネットワークI/Fから送られたデータを印刷中にコピー処理が実行された場合、コピーのデータもHDDにスプールされます。
スプールされたデータは、現在プリンタが印刷中のデータが終わると、続いて印刷されます。
- 上記のインターフェイスに接続できるコンピュータやオプション、および接続に必要なケーブル等については、プリンタに同梱の取扱説明書を参照してください。

コピー設定の組み合わせについて

CS-6500 には、さまざまなコピー設定があります。

これらの設定は、同時に設定することが不可能なものもあります。

このような、設定の組み合わせを下表に示します。

	定型縮小 / 拡大	ズーム (任意倍率)	フィット ページ	ページ 連写	割り付け	綴じしろ	ブック 影消し	両面コピー
定型縮小 / 拡大	—	×	○	×	×	○	○	○
ズーム (任意倍率)	×	—	×	×	×	○	○	○
フィット ページ	○	×	—	○	○	○	○	○
ページ連写	×	×	○	—	×	○	○	○
割り付け	×	×	○	×	—	○	○	○
綴じしろ	○	○	○	○	○	—	○	○
ブック 影消し	○	○	○	○	○	○	—	○
両面コピー	○	○	○	○	○	○	○	—

上記の詳しい機能については、次の箇所を参照してください。

- 定型縮小 / 拡大、ズーム（任意倍率）、フィットページ、両面コピー：
☞「コピー設定の仕方」P.35
- 割り付け、綴じしろ、丁合い、ページ連写、ブック影消し：
☞「応用コピーの設定」P.63

● ページ連写 / 割り付けについて

ページ連写は 1 枚の原稿を 2 枚に分けてコピーする機能です。割り付けは 2 枚の原稿を 1 枚にまとめてコピーする機能です。このように、ページ連写と割り付けは相反する機能のため、同時に設定することはできません。

● ページ連写 / 割り付けと、コピー倍率について

ページ連写、割り付けは、原稿サイズと出力用紙を指定することで、自動的に拡大 / 縮小が設定されます。このため、コピー倍率を変えることはできません。

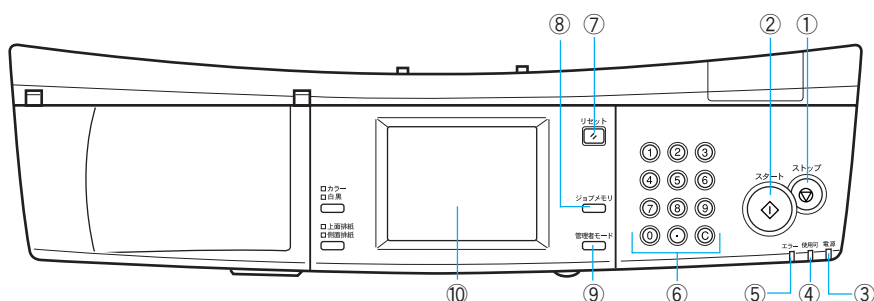
● 両面コピーについて

片面→両面コピー、両面→両面コピーを行うには、プリンタ用オプションの両面印刷ユニットが必要になります。

各部の名称とはたらき

本機の各部の名称とその機能を示します。

操作パネル（スイッチ・ランプ）



① ストップ ボタン

本ボタンは、次の場合に押します。
コピーを中止する場合
コピー実行中にエラーやワーニングが発生した場合

② スタート ボタン

コピーを実行します。

③ 電源ランプ（緑）

電源がオンのときに点灯します。

④ 使用可ランプ（緑）

点灯：コピー可能な状態です。
点滅：コピー処理の実行中です。

⑤ エラーランプ（赤）

エラー発生時、点灯します。

⑥ テンキー

コピー枚数やコピー倍率、および各種コピー設定で、数値を指定する場合に押します。

⑦ リセット ボタン

コピー設定の値を、標準値（電源オン時の値）に戻すときに押します。

⑧ ジョブメモリ ボタン

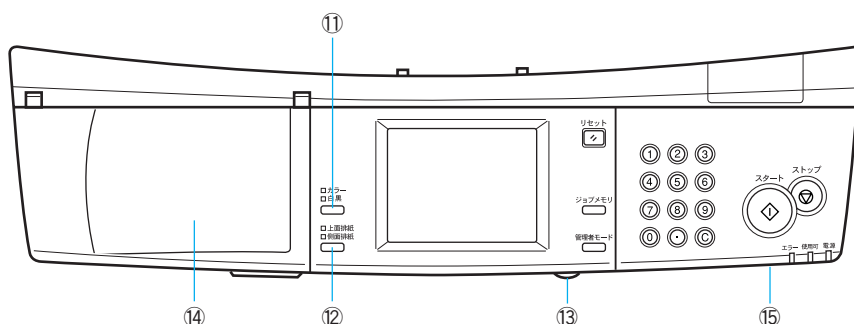
本ボタンを押すと、液晶ディスプレイの表示がメモリ設定基本画面に変わります。
現在のコピー設定をメモリに登録する場合、登録した設定値を呼び出す場合、削除する場合に、本ボタンを押します。

⑨ 管理者モード ボタン

本ボタンを押すと、液晶ディスプレイの表示が管理者モード画面に変わります。
コピーシステムの管理者の方が、基本的な設定を変更する場合に押します。

⑩ 液晶ディスプレイ

電源がオンになるとコピー基本画面が表示され、現在のコピー設定を確認できます。
画面に表示される各種のボタンを押すと、コピー設定を変更できます（タッチパネル方式）。



⑪ コピー色選択 ボタン

カラーコピー / 白黒コピーを選択します。
本ボタンを押す度に、カラーLEDと白黒LEDの点灯が切り替わります。

⑫ 排紙トレイ選択 ボタン

コピーした用紙の排紙先（プリンタの排紙装置）を選択します。

本ボタンを押す度に上面排紙LEDと側面排紙LEDの点灯が切り替わります。

「上面排紙」のときは、プリンタのフェイスダウントレイに排紙されます。

「側面排紙」のときは、プリンタのフェイスアップトレイに排紙されます。

⑬ 輝度調整ボリューム

液晶ディスプレイの明るさを調整する場合に回します（図では、実際よりも大きく描いています）。

⑭ ネットワークスキャニングボックス収納部

スキャナ用オプションのネットワークスキャニングボックスを取り付けるためのスペースです。小物入れ等としても使用できます。

⑮ センサー

操作パネルの正面に人が近づくとそれを感知して、プリンタの節電状態を解除します（スタンバイ制御機能）。

本文中のマークについて

マークが付いている文章は次のように重要な内容を記載しています。必ずお読みください。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、装置本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。



ポイント

お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）を記載しています。

用語 (*1)

分かりにくい用語の説明を、欄外に記載している事を示しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

複製（コピー）上のご注意

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券をコピーすること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類をコピーすること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどをコピーすること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類をコピーすること

次のものは、コピーするにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

書籍、絵画、版画、図面、写真などの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

※ 本機設置にあたり、管理者は使用者が上記行為を行わないよう管理する必要があります。

(空白のページ)

コピーの仕方(基本編)

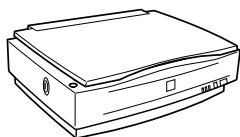
ここでは、簡単なコピーの仕方について説明しています。

- 電源の投入 P.2
- 原稿の向きとコピーの向き P.6
- スキャナへの原稿のセット P.12
- プリンタへの用紙のセット P.17
- 用紙サイズ/方向とコピー倍率の関係が正しくない場合 ... P.29
- 用紙の排紙先について P.30
- コピー枚数の設定 P.31
- コピーの実行 P.32

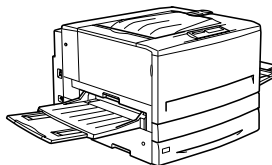
電源の投入

電源投入の順序

① (スキャナ)



② (プリンタ)

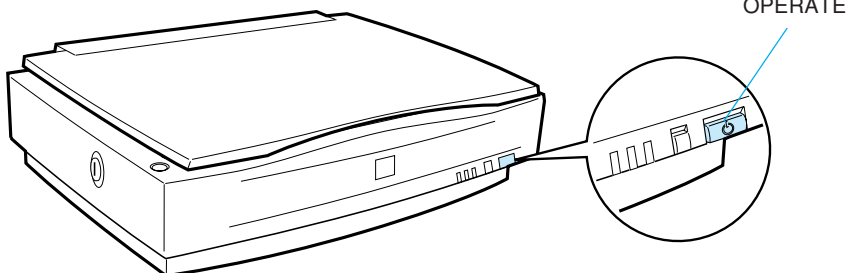


電源のオン

プリンタの電源をオンにすると、CS-6500 の電源もオンになります。
電源がオンになると、CS-6500 はプリンタとスキャナの接続や、それぞれの状態を確認しますので、スキャナの電源をオンにしてからプリンタの電源をオンにしてください。

1

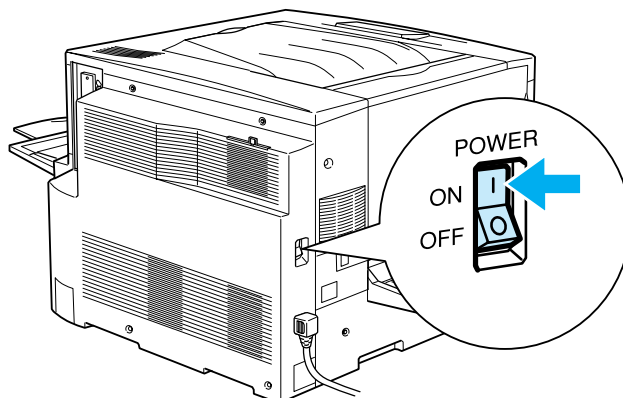
スキャナの OPERATE スイッチを押して電源をオンにします。



2

プリンタの電源スイッチを押して電源をオン (I) にします。

プリンタの電源をオンにすると、CS-6500 の電源もオンになります。



3

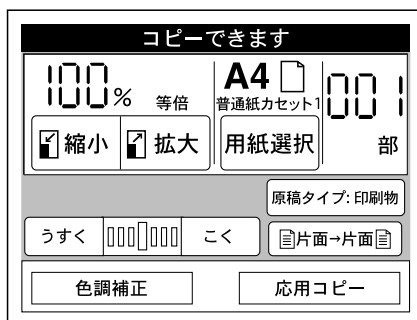
CS-6500 がスキャナとプリンタのチェックを始めます。操作パネルに次の画面が表示されます。

スキャナに、スキャナ用オプションのネットワークスキャニングボックスを接続している場合等、チェックに時間がかかる場合、次の画面が表示されます。チェックが完了すると、[コピー基本] 画面が表示されます。



しばらくして、操作パネルに [コピー基本] 画面が表示されたら、コピー可能状態になります。

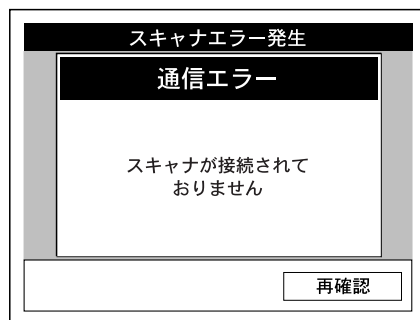
[コピー基本] 画面



この画面が表示されずに、エラーメッセージが表示された場合は、次ページを参照して対処してください。

電源オン時にエラーになった場合

プリンタまたはスキャナの接続に問題がある場合、プリンタまたはスキャナの機種がCS-6500で使用できないものである場合、電源をオンにすると次のようなエラー画面が表示されます。



（表示されるエラーは、状況により異なります。）

上記の画面が表示された場合は、次の点を確認し、問題がある場合は必要な処置を行ってください。

- CS-6500 が、プリンタやスキャナと正しく接続されているか。
- スキャナの電源がオンになっているか。
- スキャナやプリンタ側でエラーが発生していないか。
- スキャナやプリンタが、CS-6500 に接続可能な機種かどうか。

確認の結果、スキャナ、プリンタ側に問題がない場合、上図の画面の **再確認** ボタンを押してください。

再確認 ボタンを押すと、電源オン時と同様に CS-6500 がスキャナ、プリンタのチェックを行います。

電源をオフにする時のご注意

コピー実行中や、電源をオンにしてから【コピー基本】画面が表示されるまでの間は、各機器の電源をオフにしないでください。動作不良や故障の原因になります。

スタンバイ制御（節電機能）

スタンバイ制御は、プリンタの節電機能を制御する機能です。
プリンタが節電状態になっていると、コピーデータが送られた時点でウォーミングアップが始まり、その後印刷可能状態になります。
スタンバイ制御が有効の場合、操作パネル正面に人などが近づくと、操作パネルに内蔵のセンサーがそれを感知してプリンタのウォーミングアップを開始します。このためプリンタのウォーミングアップによる待ち時間が短くなります。
また、スタンバイ制御が有効の場合、液晶ディスプレイのバックライトも自動的に点灯します。



プリンタ側で節電機能を無効に設定している場合、プリンタに対するスタンバイ制御は行われません。
プリンタが節電状態に入るまでの時間は、初期状態では 60 分に設定されています。この時間は、プリンタの操作パネルの設定で変更できます。

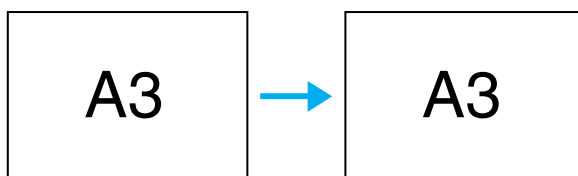
スタンバイ制御の有効 / 無効は、CS-6500 の **管理者モード** スイッチを押して変更できます。

📖 本書「スタンバイ制御」P.91

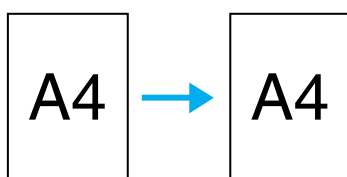
原稿の向きとコピーの向き

ここでは、スキャナへの原稿のセット方向と、プリンタへの用紙のセット方向について説明します。

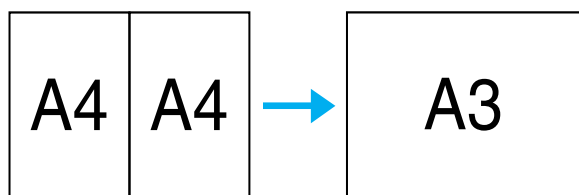
■ A3 (A3W (ノビ)、B4) を等倍コピーする場合 7 ページ



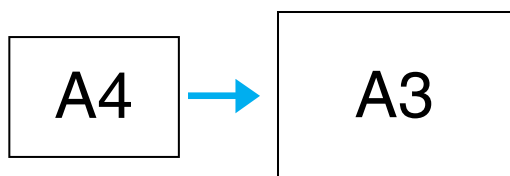
■ A4 (B5) を等倍コピーする場合 8 ページ



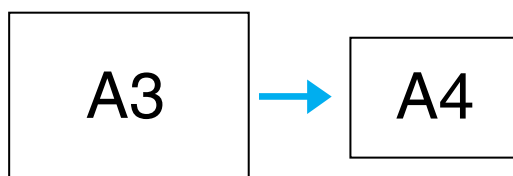
■ A4 (B5) 2 枚を A3 (B4) 1 枚にコピーする場合 9 ページ



■ A4 (B5) を A3 (A4) に拡大コピーする場合 10 ページ



■ A3 (B4) を A4 (B5) に縮小コピーする場合 11 ページ



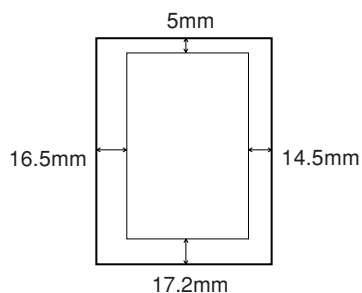
ポイント

- 原稿と用紙のセット方向が正しくない場合は、意図したコピー結果が得られないことがあります。
- ADF にセット可能な用紙については、15 ページを参照してください。

■ A3（A3W（ノビ）、B4）を等倍コピーする場合

プリンタは、印刷面の上下左右端 5mm は印刷できません（これを余白といいます）。*

* A3W（ノビ）サイズ紙の場合は次のようになります。



	スキャナへの原稿の セット方向	プリンタへの用紙の セット方向	コピーの向き
原稿台			
A D F			

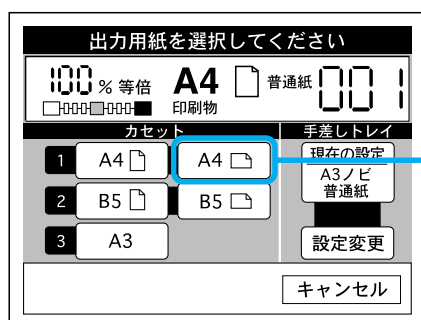
スキャナは、A3W（ノビ）の原稿全体を読み取ることはできません。スキャナの取り込み範囲については、本書 P12、P13 を参照してください。

■ A4（B5）を等倍コピーする場合

プリンタは、印刷面の上下左右端5mmは印刷できません（これを余白といいます）。

スキャナへの原稿のセット方向		プリンタへの用紙のセット方向	コピーの向き
横長の原稿の場合※	原稿台	印刷する面を上に向けてセット	排紙方向 ← A
	A D F	印刷する面を下に向けてセット	
縦長の原稿の場合	原稿台	印刷する面を上に向けてセット	排紙方向 ← A
	A D F	印刷する面を下に向けてセット	

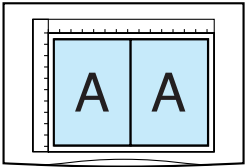
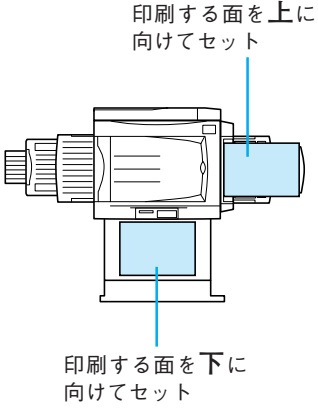
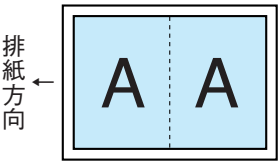
※ 横長の原稿をコピーする場合は、操作パネルの「用紙選択」を押して、横長（☐）を選択します。プリンタ側で用紙のセット方向を変更する必要はありません。スキャンしたデータを90°回転して印刷します。



例：A4 横長原稿をコピーする場合
これを選択します

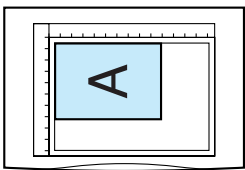
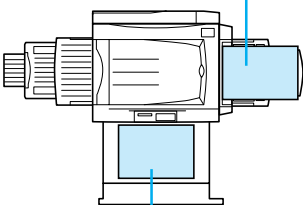
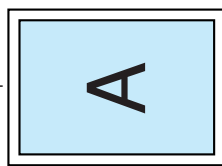
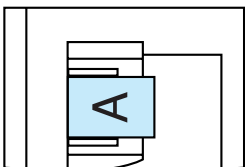
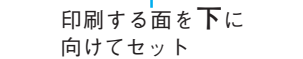
■ A4 (B5) 2 枚を A3 (B4) 1 枚にコピーする場合

プリンタは、印刷面の上下左右端 5mm は印刷できません（これを余白といいます）。

スキャナへの原稿の セット方向	プリンタへの用紙の セット方向	コピーの向き
 原稿台 (この場合、ADF は使えません)	 印刷する面を上に向けてセット 印刷する面を下に向けてセット	 排紙方向

■ A4（B5）を A3（B4）に拡大コピーする場合

プリンタは、印刷面の上下左右端 5mm は印刷できません（これを余白といいます）。

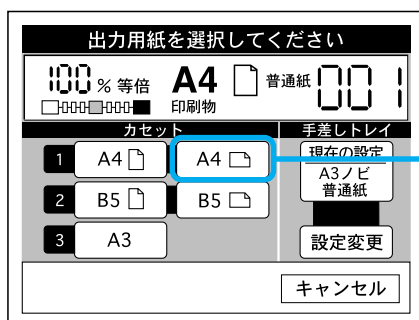
スキャナへの原稿の セット方向		プリンタへの用紙の セット方向	コピーの向き
原稿台		印刷する面を上 に向けてセット 	 排紙方向 ←
A D F		印刷する面を下 に向けてセット 	

■ A3（B4）を A4（B5）に縮小コピーする場合

プリンタは、印刷面の上下左右端 5mm は印刷できません（これを余白といいます）。

	スキャナへの原稿の セット方向	プリンタへの用紙の セット方向	コピーの向き
原稿台			
A D F			

操作パネルの「用紙設定」を押して、横長（☐）を選択します。**プリンタ側で用紙のセット方向を変更する必要はありません。**スキャンしたデータを 90° 回転して印刷します。



例: A4横長原稿をコピーする場合これを selects

スキャナへの原稿のセット

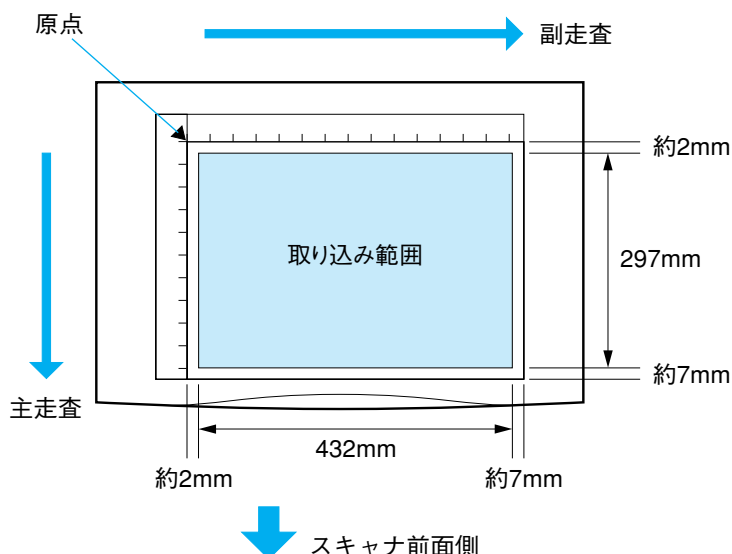
ここでは、スキャナへの原稿のセット手順について説明します。

- 原稿台にセットする場合 49以下の説明をお読みください。
- オプションのオートドキュメントフィーダ（ADF）にセットする場合 49 15 ページへ

原稿台へのセット

セットできるサイズ（ES-6000H）

最大A3サイズまでの大きさの原稿を取り込むことができます。ただし、原稿台についているスケールの内側約2mmと約7mmの範囲は取り込みません。



主走査：センサで読み取る画素の1ラインごとの読み取り方向
副走査：キャリッジの移動による読み取り方向



ポイント

● 縦横のスケールには、原稿サイズのおおよその目安が示してあります。

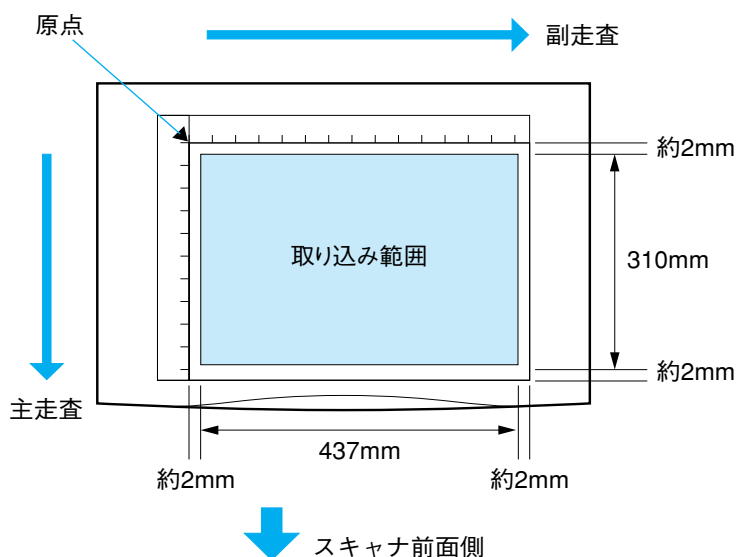
- B5 (182mm × 257mm)
- LTR (216mm × 279mm：アメリカで使われるレターサイズ)
- A4 (210mm × 297mm)
- A3 (297mm × 420mm)
- MAX (最大サイズ：297mm × 432mm)

● 図面やイラストなどの直線の多い原稿をコピーするときは、線の向きをスキャナの主走査または副走査にそろえるようにして原稿をセットすると、線のギザギザが少なくなります。

● スキャナで取り込める原稿の条件や、原稿台よりも大きい原稿、本などの厚い原稿のセット方法については、スキャナに同梱のスタートアップガイド「使用できる原稿」に記載されていますので、併せてご覧ください。

セットできるサイズ (ES-8500)

最大A3サイズまでの大きさの原稿を取り込むことができます。ただし、原稿台についているスケールの内側約2mmの範囲は取り込みません。



主走査：センサで読み取る画素の1ラインごとの読み取り方向

副走査：キャリッジの移動による読み取り方向



ポイント

●縦横のスケールには、原稿サイズのおおよその目安が示してあります。

- B5 (182mm × 257mm)
- LTR (216mm × 279mm：アメリカで使われるレターサイズ)
- A4 (210mm × 297mm)
- A3 (297mm × 420mm)
- MAX (最大サイズ：310mm × 437mm)

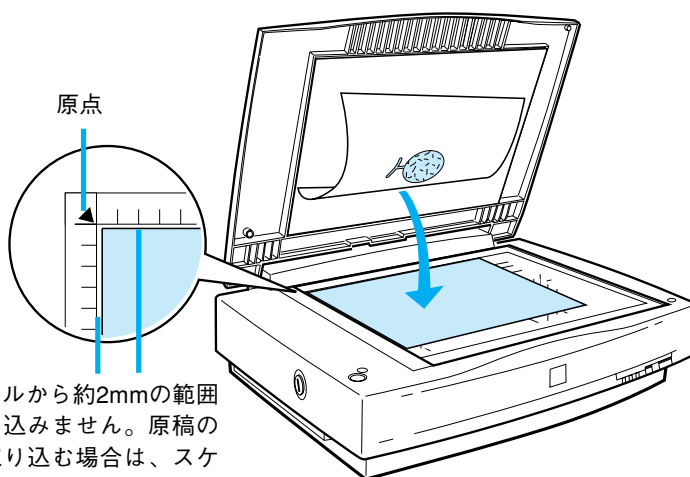
●図面やイラストなどの直線の多い原稿をコピーするときは、線の向きをスキャナの主走査または副走査にそろえるようにして原稿をセットすると、線のギザギザが少なくなります。

●スキャナで取り込める原稿の条件や、原稿台よりも大きい原稿、本などの厚い原稿のセット方法については、ES-8500スタートアップガイド「使用できる原稿」に記載されていますので、併せてご覧ください。

1

原稿カバーを開きます。原稿のコピーする面を下に向け、原稿台にセットします（図は、ES-6000Hを例にしています）。

原点を合わせてまっすぐにセットしてください。



スケールから約2mmの範囲は取り込みません。原稿の端を取り込む場合は、スケールから離してセットしてください。



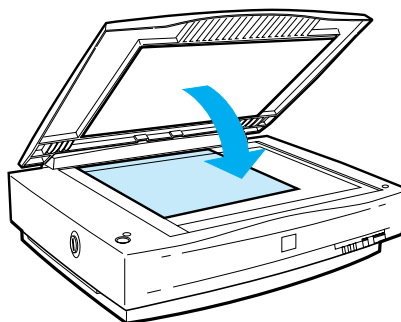
ポイント

6ページの「原稿の向きとコピーの向き」を参考に、原稿のセット方向を決めてください。

2

原稿が動かないよう注意しながら、原稿カバーを静かに閉じます。

原稿カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。原稿が動くと、画像が斜めにコピーされてしまいます。



以上で原稿のセットは終了です。この後は、プリンタに用紙をセットします。

👉 17 ページへ

ADF（型番：ESA3ADF2）へのセット

セットできる原稿

ADF（オートドキュメントフィーダ。型番：ESA3ADF2）にセットできる用紙は以下の通りです。

写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。



ポイント

スキャナをコピーシステムとして使用時、ADFは型番：ESA3ADF2のみ使用できます。

型番：ESA3ADF は、コピーシステムとしては使用できません。

サイズ (違うサイズ用の紙を一緒にセットしないでください。)	官製ハガキ (100 × 148mm)
	A6 (105 × 148mm)
	A5 (148 × 210mm)
	B5 (182 × 257mm)
	A4 (210 × 297mm)
	B4 (257 × 364mm)
	A3 (297 × 420mm)
	LETTER (216 × 279mm)
	LEGAL (216 × 356mm)
	LEDGER (280 × 432mm)
	不定形紙 幅 : 148 ~ 297mm 長さ : 100 ~ 432mm
セットできる枚数	100 枚 (80g/m ²) (エッジガイドの目盛りを超えてセットしないこと)
紙質	上質紙、中質紙、ボンド紙（ストラスモア、ギルバート）、 インクジェットプリンタ専用紙（ファイン紙、スーパーファイン紙相当）
紙厚	50 ~ 127g/m ²



注意

以下の用紙は、ADFでは使用しないでください。給紙不良、またADFの故障などの原因になります。

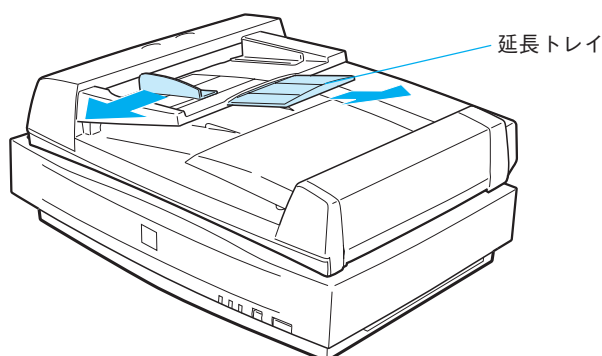
- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙
(原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください。)
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ、(切り貼り)、ラベル紙（裏面糊付）、ルーズリーフの多穴原稿
- 綴じのある用紙（製本物）
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙（OHPシートなど）、半透明紙、光沢紙

※カタログ類は、正常に給紙されない場合があります。

1

ADFのエッジガイドを、セットする原稿サイズの見盛りの位置まで広げます。

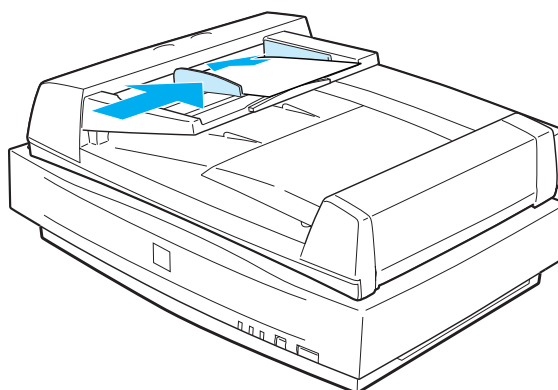
B4以上の原稿をセットするときは、延長トレイを引き出します。



2

原稿のコピーする面を上にして、ADFの見盛りに合わせて奥に突き当たるまで差し込みます。

原稿を差し込んだら、エッジガイドを原稿にぴったりと当てます。



ポイント

6ページの「原稿の向きとコピーの向き」を参考に、原稿のセット方向を決めてください。

以上で原稿のセットは完了です。この後は、プリンタに用紙をセットします。
 次ページへ

プリンタへの用紙のセット

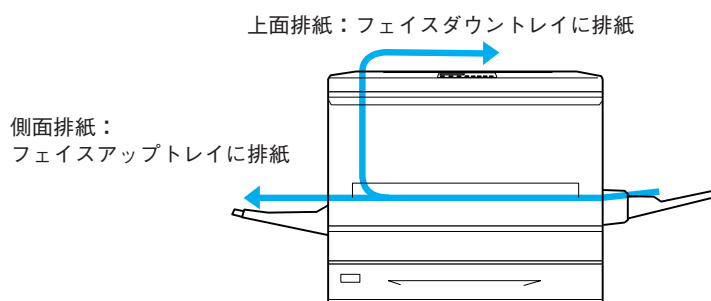
ここでは、プリンタに用紙をセットする手順について説明します。

給紙経路とセットできる用紙

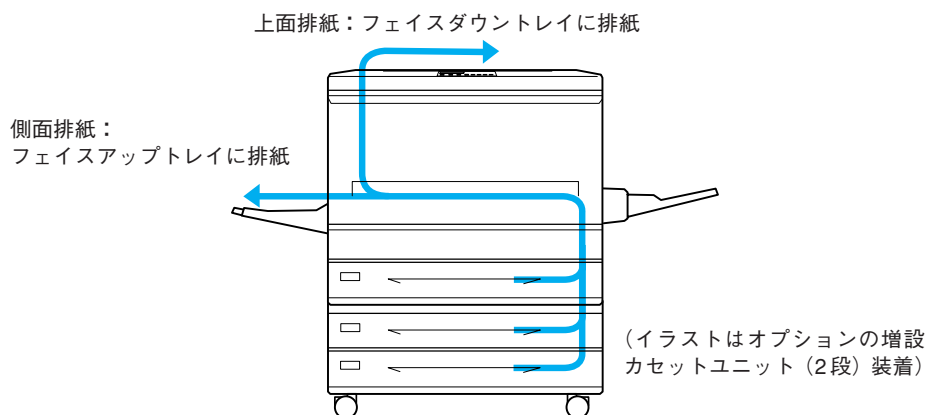
給紙経路

プリンタ内部の用紙経路は、給紙装置/排紙装置の組み合わせで次のようになります。

●用紙トレイから給紙する場合



●用紙カセットから給紙する場合



- ハガキ、厚紙、OHPシートは用紙トレイからのみ給紙できます。(次ページ参照)
- B5 サイズより小さい用紙やハガキ、厚紙、OHP シートは、上面排紙（フェイスダウントレイへの排紙）はできません。自動的に側面排紙（フェイスアップトレイへの排紙）になります。

給紙装置と対応用紙

プリンタのユーザズガイド「用紙について」もご一読ください。ただし、プリンタ単体で使用時と、コピーシステムとして使用時では、使用できる用紙が一部異なりますのでご注意ください。

給紙装置		用紙種類	用紙サイズ	紙 厚	容 量	
標準 装 備 の 給 紙 装 置	用紙トレイ	普通紙 EPSON カラーレーザー プリンタ用上質普通紙	A3W（ノビ） ^{*1} , A3, A4, B4, B5	64 ～ 105g/m ²	150 枚 （または 総厚 16mm）	
		特	官製ハガキ	100mmx148mm	190 g/m ²	75 枚
			厚紙	ハガキ大～ A3	105 ～ 220g/m ²	75 枚
		殊	EPSON カラーレーザー プリンタ用コート紙	A4, A3, A3W（ノビ）	105g/m ²	150 枚 （または 総厚 16mm）
			紙	EPSON カラーレーザー プリンタ用 OHP シート	A4	140g/m ²
	用紙カセット	普通紙 EPSON カラーレーザー プリンタ用上質普通紙	A3 , A4 , B4 , B5	64 ～ 105g/m ²	250 枚 （または 総厚 26mm）	
		EPSON カラーレーザー プリンタ用コート紙	A4, A3	105g/m ²	250 枚 （または 総厚 26mm）	
オ プ シ ヨ ン	用紙カセット （A3W（ノビ）用） LP85CYC1W ^{*2}	普通紙 EPSON カラーレーザー プリンタ用上質普通紙	A3W（ノビ） ^{*1}	64 ～ 105g/m ²	250 枚 （または 総厚 26mm）	
		EPSON カラーレーザー プリンタ用コート紙	A3W（ノビ） ^{*1}	105g/m ²		
	増設カセット ユニット 2段LP85CWC2 1段LP85CWC1	普通紙 EPSON カラーレーザー プリンタ用上質普通紙	A4 , B4 , B5 , A3	64 ～ 105g/m ²	500 枚（または 総厚 53mm） × 2 段 × 1 段	
		EPSON カラーレーザー プリンタ用コート紙	A4, A3	105g/m ²		

*1 本機で使用可能な A3W (ノビ) サイズは、328mm x 453mm です。

A3 ノビサイズ (329mm x 483mm) とはサイズが異なります。

*2 用紙カセット (A3W (ノビ)) : LP85CYC1W は、プリンタに標準装備の用紙カセットと差し替えて使用します。
増設カセットユニットには装着できません。



ポイント

A4 サイズ以下の用紙 (ハガキ除く) は、給紙方向に対し横長の状態で用紙カセットおよび用紙トレイにセットしてください。



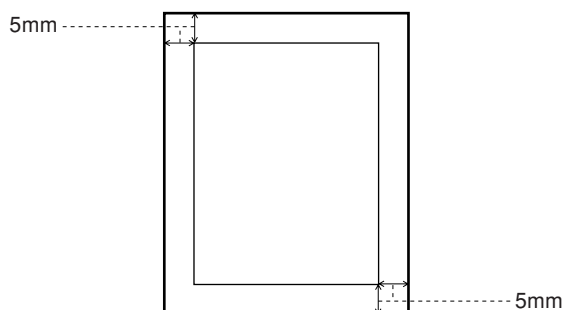
注意

仕様外の用紙を使用すると、プリンタ本体の故障および紙詰まりの原因となります。プリンタで使用できない用紙についての詳細は、プリンタのユーザズガイド「用紙について」を参照してください。

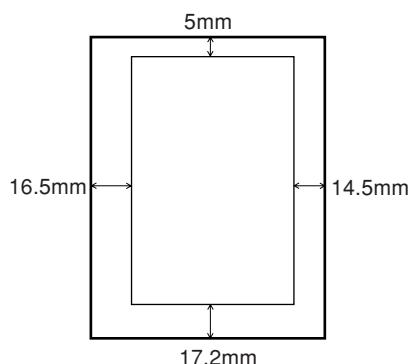
とくに、インクジェットプリンタ専用紙や裏紙 (本製品で使用可能なプリンタ以外のプリンタで一度印刷された用紙) は絶対に使用しないでください。

印刷できる領域

プリンタで印刷できる領域は、用紙の各端面から 5mm を除く範囲です。



A3W（ノビ）サイズ紙の場合は、以下のようになります。



このため、紙面いっぱいに印刷された原稿を同じサイズ of 用紙にコピーするときに、100%（等倍）のまま印刷すると、上記領域外の部分が印刷されません。この場合は、以下のように対処してください。

- 元の原稿の大きさを変えたくない場合
コピーする用紙サイズを、原稿よりも一回り大きいサイズにしてください。
（原稿が B5 サイズの場合は A4 サイズ紙にコピーするなど）
- 元の原稿の大きさを多少縮小してもよい場合
原稿と同サイズの用紙をセットし、CS-6500 の操作パネルで「フィットページ ON」に設定してコピーしてください（43 ページ参照）。

用紙カセットへの用紙のセット

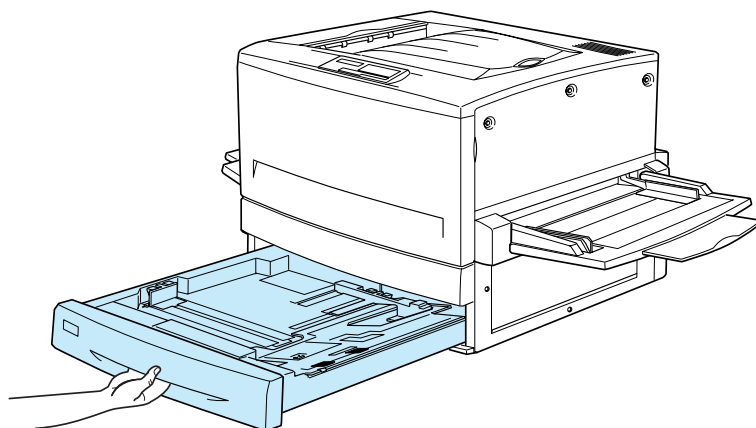
用紙カセットにセットできる用紙は次の通りです。

- 用紙種類 : 普通紙 / EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙 / EPSON 製カラーレーザープリンタ用コート紙
- 用紙サイズ : A4、A3、B5、B4、A3W (ノビ) *

* オプションの用紙カセット (型番: LP85CYC1W) をプリンタに標準装備の用紙カセットと差し替えて使用する場合に限り、このオプションの用紙カセットに A3W (ノビ) サイズの用紙をセットすることができます。

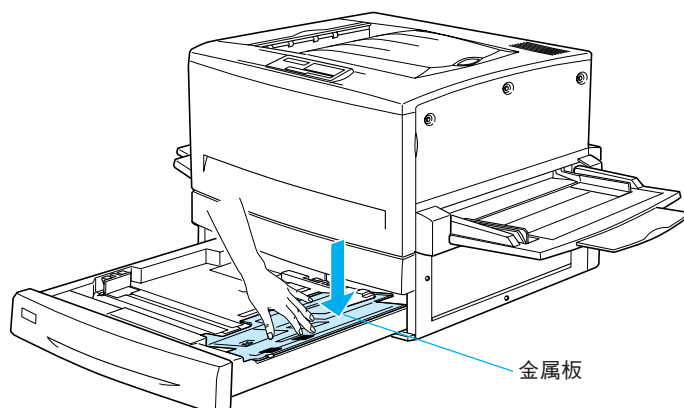
1

用紙カセットを手前に止まるまで引き出します。



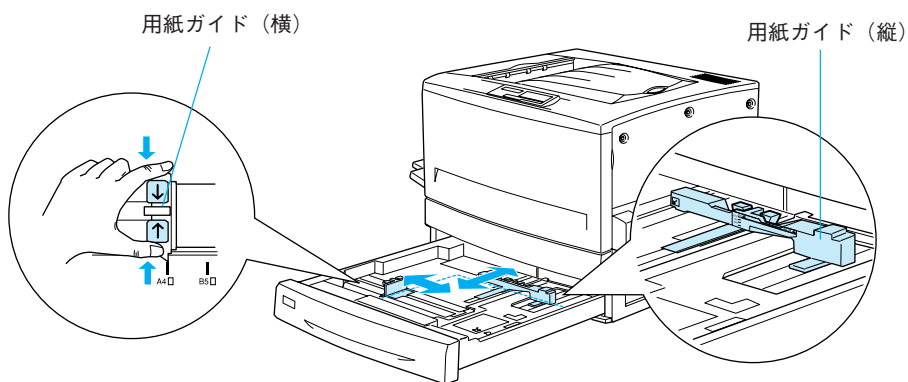
2

用紙カセット内部の金属板をカチッと音がして固定されるまで押し下げます。



3

用紙ガイド（縦） / （横）を、用紙がセットできるようにずらしします。

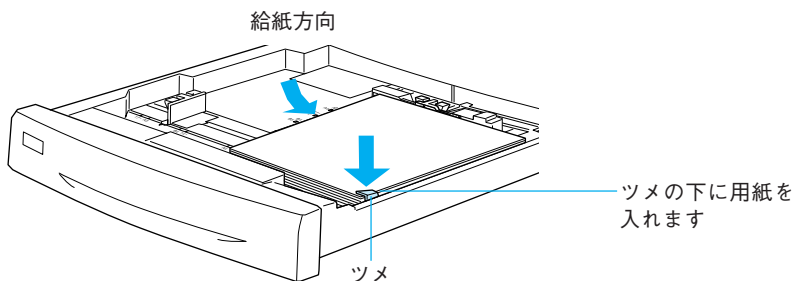


4

用紙をセットします。

用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下に向けて、用紙カセットの右側のツメの下に差し込むようにしてセットします。

このとき、用紙カセット右側のツメの上に用紙が乗り上げないように注意してください。



ポイント

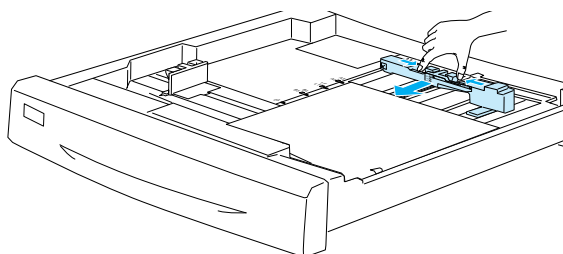
用紙のセット時には、次の点に注意してください。

- 折り目やシワの入った用紙は取り除いてください。
- 最大セット枚数以上の用紙をセットしないでください。
- 用紙の端が右側のツメの上に乗らないようにセットしてください。
- A4 サイズ以下の用紙は給紙方向に対して横長の状態でセットします。A4 サイズより大きい用紙は給紙方向に対して縦長の状態でセットします。

5

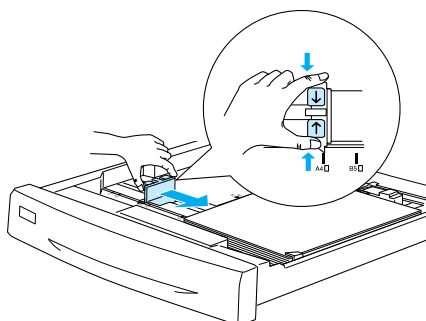
用紙ガイド（縦）を用紙の幅に合わせてずらします。

用紙ガイド（縦）が用紙の側面に軽く当たる状態にしてください。



6

用紙ガイド（横）をずらして、用紙カセット底面の用紙サイズ目盛りに合わせます。



ポイント

用紙ガイド（横）は、必ず用紙カセット底面の用紙サイズ目盛りに合わせてください。用紙ガイド（横）は、用紙カセットの用紙サイズをプリンタとCS-6500に知らせる働きがあります。用紙ガイド（横）が用紙サイズ目盛りに合っていない場合、プリンタとCS-6500は用紙サイズを正しく把握できないためコピーが行えません。

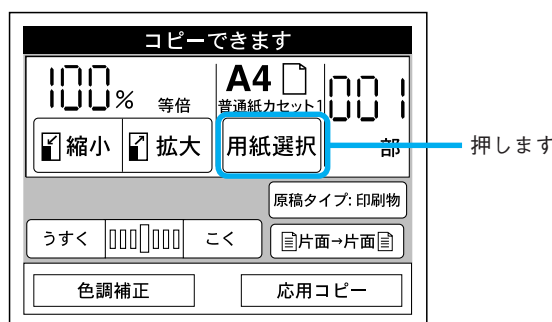
7

用紙カセットをプリンタ側に押し込みます。

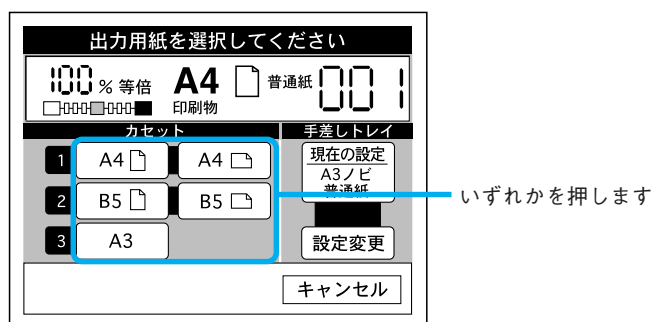
8

コピー実行時に、操作パネルの「用紙選択」ボタンを押して、画面左側の「カセット」から、目的の用紙サイズ/方向のボタンを押して選択します。

●【コピー基本】画面



●【用紙選択】画面



- プリンタに標準装備の用紙カセットは、カセット1のみです。
カセット2、3は、プリンタにオプションの用紙カセットを装着している場合に
表示されます。
- 用紙カセットにセットしている用紙が A4、B5 の場合、用紙の向きが縦長のボ
タンと横長のボタンが表示されます。
プリンタの用紙のセット方向は一定ですが、スキャナでは A4 サイズ以下の用紙
を縦長/横長にセットできます。原稿を横長にセットしている場合、上図の画面
で、用紙の向きが横長 () のボタンを押してください。
スキャナで読み取ったデータを 90 度回転してプリンタに送ります。

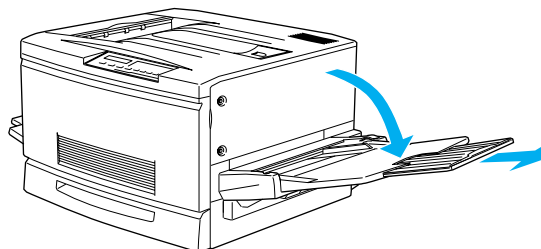


選択した用紙サイズ/方向と、コピー倍率の関係が正しくない場合、画面が点滅して、正しい設定に変更する必要があることを知らせます。
本書「用紙サイズ/方向とコピー倍率の関係が正しくない場合」(P.29)を参照して
ください。

用紙トレイへの用紙のセット

1

セットする用紙のサイズに応じて、用紙トレイの延長部を引き出します。



2

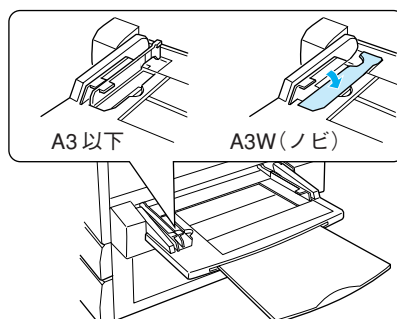
用紙ガイド（左）を確認します。

A3W（ノビ）のサイズの場合、用紙ガイド（左）を倒します。
A3W（ノビ）以外の用紙の場合、用紙ガイド（左）は起こした状態で使用します。



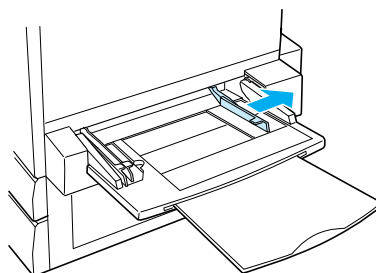
ポイント

用紙ガイド（左）を倒した状態で A3W（ノビ）以外の用紙をセットすると、印刷位置がずれるため正常な印刷が行われません。



3

用紙ガイド（右）を、用紙のサイズより広くなるようにずらします。



4

用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向け、左側面を用紙ガイド（左）に沿わせて用紙の束を用紙トレイに差し込み、用紙ガイド（右）を用紙の端に合わせてずらしします。

このとき、用紙ガイドの上に用紙が乗り上げないように注意してください。用紙ガイド（右）は、用紙の端に軽く当たる状態にしてください。



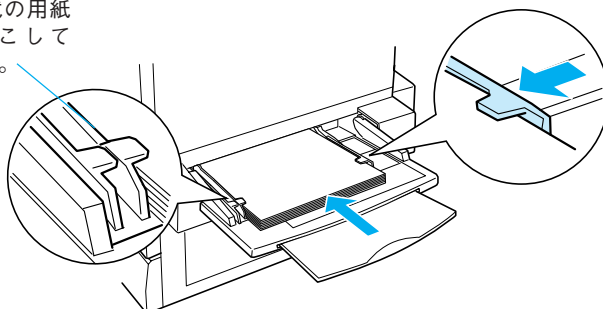
ポイント

用紙のセット時には、次の点に注意してください。

- 折り目やシワの入った用紙は取り除いてください。
- 最大セット枚数以上の用紙をセットしないでください。
- 用紙の端が左右のツメの上に乗らないようにセットしてください。
- A4サイズ以下の用紙（ハガキ除く）は給紙方向に対して横長の状態でセットします。
- A4サイズより大きい用紙は給紙方向に対して縦長の状態でセットします。

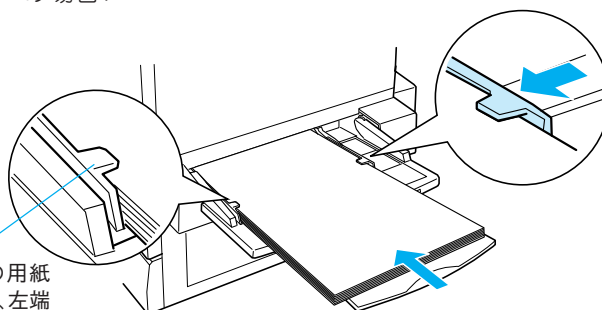
< A3W（ノビ） 以外の場合 >

折りたたみ式の用紙ガイドを起こしてセットします。



< A3W（ノビ） の場合 >

折りたたみ式の用紙ガイドは倒して、左端の用紙ガイドにセットします。



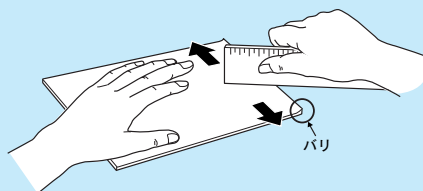


ポイント

ハガキのセット方向については、プリンタのユーザズガイド「用紙について」を参照してください。

ハガキによっては、裏面に「バリ」（断裁時のかえり）が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平なところに置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に1～2回こすり、「バリ」を除去します。



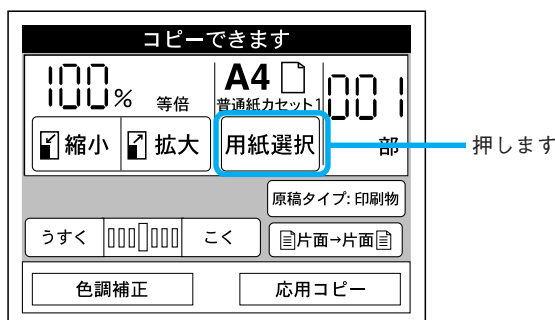
「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。

5

コピー実行時の操作パネルの選択手順は次の通りです。

- ① コピー実行時に、操作パネルの **用紙選択** ボタンを押します。

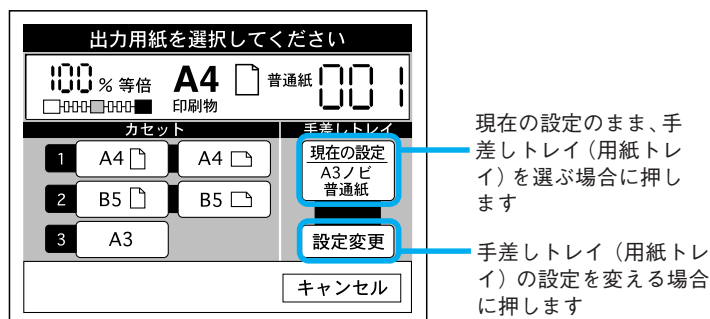
● [コピー基本] 画面



画面右側の「手差しトレイ」で、**現在の設定** ボタンに表示されている用紙サイズと用紙の種類を確認します。

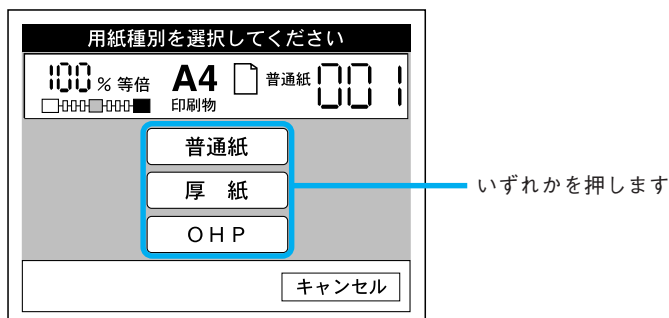
- 用紙サイズと用紙の種類に問題がない場合、**現在の設定** ボタンを押すと、手差しトレイ（プリンタの用紙トレイ）が選択され、[コピー基本] 画面に戻ります。
- 用紙サイズと用紙の種類がプリンタ側の設定と異なる場合、**設定変更** ボタンを押して設定を変更します。
手順②、③に進んでください。

● [用紙選択] 画面



プリンタに標準装備の用紙カセットは、カセット1のみです。
カセット2、3は、プリンタにオプションの用紙カセットを装着している場合に
表示されます。

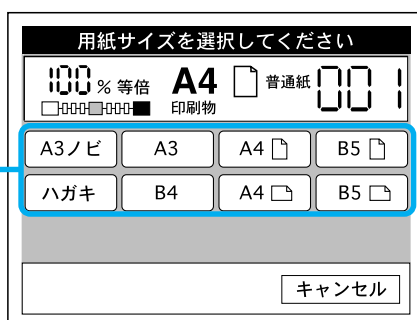
- ② [用紙選択] 画面で、「手差しトレイ」の **設定変更** ボタンを押すと、[用紙種別選択] 画面が表示されます。
用紙トレイにセットしている用紙種類のボタンを押してください。



EPSONカラーレーザープリンタ用コート紙の場合、**普通紙** ボタンを押してください。

- ③ [用紙種別選択] 画面でボタンを押すと、[用紙サイズ選択] 画面が表示されます。(用紙の種類にOHPを選択している場合、表示されるボタンはA4縦、A4横のみになります。)
用紙トレイにセットしている用紙サイズのボタンを押して選択します。

いずれかを押します
(用紙がOHPの場合、A4縦、
A4横のみになります)



A4、B5の用紙の場合、用紙の向きが縦長のボタンと横長のボタンが表示されます。プリンタの用紙のセット方向は一定ですが、スキャナではA4サイズ以下の用紙を縦長/横長にセットできます。原稿を横長にセットしている場合、上図の画面で、用紙の向きが横長 (□) のボタンを押してください。スキャナで読み取ったデータを90度回転してプリンタに送ります。

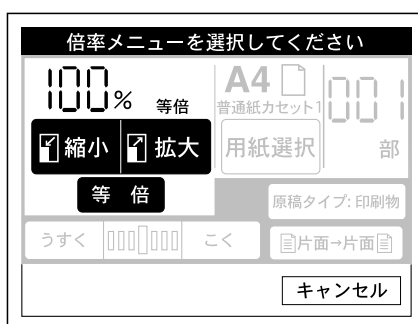


ポイント

選択した用紙サイズ/方向と、コピー倍率の関係が正しくない場合、画面が点滅して、正しい設定に変更する必要があることを知らせます。
本書「用紙サイズ/方向とコピー倍率の関係が正しくない場合」(P.29)を参照してください。

用紙サイズ / 方向とコピー倍率の関係が正しくない場合

- 選択した用紙サイズ / 方向と、コピー倍率の関係が正しくない場合、画面上部に次のようなメッセージが表示されます。
「倍率設定と用紙設定が異なります」
「倍率設定と用紙方向が異なります」
これらのメッセージが表示された場合、用紙選択、またはコピー倍率を設定し直してください。
- また、画面が下図のように点滅して、正しい設定に変更する必要があることを知らせる場合があります。



上図の画面が表示された場合、点滅しているボタンのいずれかを押しと、コピー倍率を設定し直すことができます。

縮小 / 拡大 ボタン : [縮小メニュー] 画面、[拡大メニュー] 画面が表示されます。

等倍 ボタン : 倍率が、等倍（100%）になります。

用紙の排紙先について

用紙と排紙トレイの関係

コピーした用紙の排紙先には、次の2つがあります。

- 上面排紙：フェイスダウントレイ（プリンタの上面）に排紙します。
- 側面排紙：フェイスアップトレイ（プリンタの側面）に排紙します。

フェイスアップトレイとフェイスダウントレイに排紙可能な用紙と、各トレイで保持できる用紙枚数は次の通りです。

排紙トレイ	排紙可能な用紙	保持できる用紙枚数
上面排紙 (フェイスダウントレイ)	B5 サイズ (182mm x 257mm) 以上の普通紙。EPSON カラーレーザープリンタ用 上質普通紙 / コート紙	250 枚 (紙厚 64 ~ 105g/m ²)
側面排紙 (フェイスアップトレイ)	制限なし	150 枚 (A4 未満、紙厚 64 ~ 105g/m ²) 50 枚 (A4 以上、紙厚 64 ~ 105g/m ²)



注意

B5 サイズより小さい用紙やハガキ、厚紙、OHP シートは、フェイスダウントレイへの排紙はできません。常にフェイスアップトレイに排紙されます。

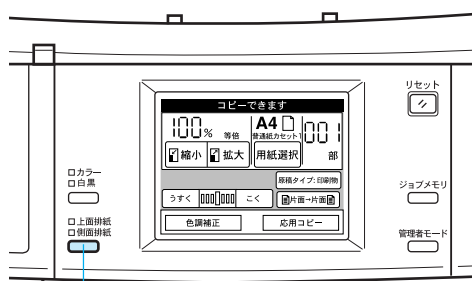
排紙トレイの切り替え

上面排紙 / 側面排紙は、操作パネル左側の **排紙** ボタンを押して切り替えます。ボタンを押すたびに、上面排紙 LED と側面排紙 LED の点灯が切り替わります。工場出荷時は、上面排紙に設定されています。



ポイント

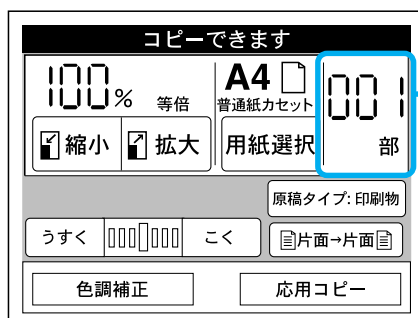
B5 サイズより小さい用紙やハガキ、厚紙、OHP シートは、上記の設定にかかわらず常にフェイスアップトレイに排紙されます。



押します

コピー枚数の設定

コピー枚数は、1枚から999枚まで設定することができます。初期設定は「1枚」です。

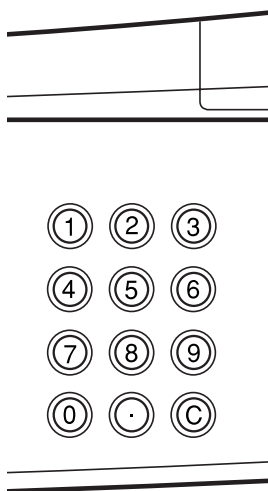


コピー枚数の値が表示されます

1

テンキーを使ってコピー枚数を入力します。

誤って入力した場合は、「C」キーで数値を「1」に戻すことができます。「・」キーは無効です。



コピーの実行

ここでは、普通紙にコピーする場合を例に、一般的なコピーの手順について説明します。

1

スキャナに原稿をセットし、プリンタに普通紙をセットします。

2

必要に応じて、各項目を設定します。

日常よく設定を変更する項目は、以下の通りです。

拡大 / 縮小の設定

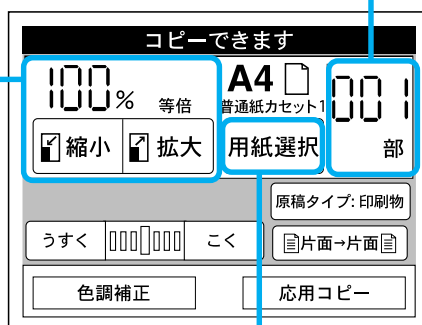
A4 → B5、B5 → A4 などのコピーの場合に、拡大率 / 縮小率を設定します。

📄 39 ページ

コピー枚数の設定

操作パネル右側のテンキーを押して、コピー枚数を入力します。

📄 31 ページ



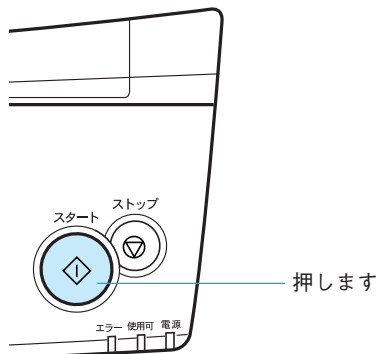
給紙装置の選択

コピーで使用する用紙カセット/トレイを選択します。

📄 23、26 ページ

3

スタート ボタンを押して、コピーを実行します。

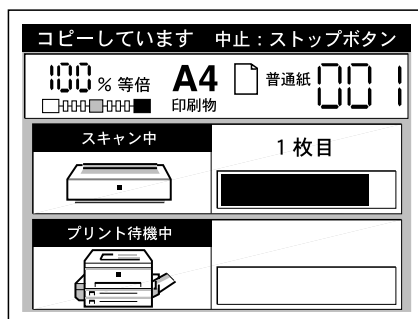


注意

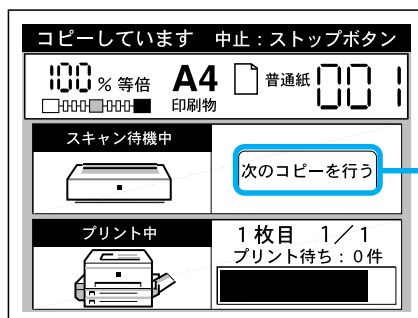
コピーの実行中は、プリンタやスキャナのスイッチ類を操作しないでください。コピーが正常に行われなくなります。

コピーが実行されると、操作パネルの液晶ディスプレイの表示が次のように変わり、現在の動作が表示されます。
コピーが完了すると、[コピー基本] 画面に戻ります。

●原稿の読み込み中



●取り込んだ原稿の印刷中



このボタンが表示されると、次のコピーが行えます

コピー実行時、スキャナ側の動作が完了して、次の原稿の読み取りが可能になると、スキャナの絵の横に「次のコピーを行う」と表示されます。
この場合、次のコピーを行うには、次の2つの方法があります。

- **スタート** ボタンを押す。
現在のコピー設定のまま、原稿の読み取りが始まります。プリンタにハードディスクが装着されていると、最大8回まで、続けてコピーができます。
- **次のコピーを行う** ボタンを押す。
画面が [コピー基本] 画面に変わり、コピー設定を変更できるようになります。続いて **スタート** ボタンを押すと、原稿の読み取りが始まります。



コピーを中止するには

- ストップ** ボタンを押します。
操作パネルに「コピー中止しています。」と表示され、コピーを中止します。
- スキャナで入力中の原稿は、そのデータを破棄します。
 - プリンタで印刷中の場合、印刷処理を中止します。
(コピー中止処理に時間がかかるため、数枚印刷される場合があります。)

(空白のページ)

コピー設定の仕方

ここでは、コピーに関する各種の設定方法について、説明します。ここで説明していない項目については、次の箇所を参照してください。

- 用紙の選択、排紙先の選択 : 「コピーの仕方(基本編)」(P.17)
- 応用コピー : 「応用コピーの設定」(P.63)

- 機能の紹介 P.36
- 倍率の設定 P.39
- コピー色（カラー / 白黒）の設定 P.45
- 原稿タイプの設定 P.46
- コピー濃度（こく / うすく）の調整 P.48
- 色調の調整 P.49
- コピー設定の再利用 P.54
- 両面コピーの設定 P.58
- パネルの明暗調整機能 P.61
- コピー設定のリセット P.62

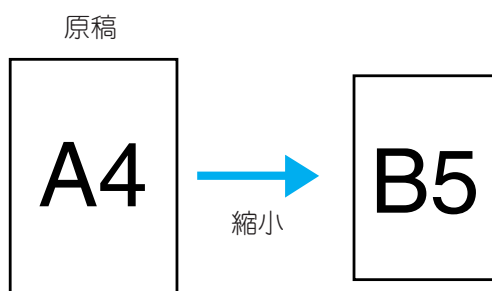
機能の紹介

ここでは、コピーシステムを使ってできることを説明しています。

■倍率を変えてコピーする

🔗「倍率の設定」 39 ページ

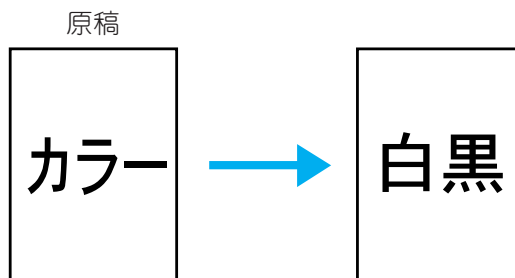
拡大、または縮小してコピーすることができます。



■カラーの原稿を白黒でコピーする

🔗「コピー色（カラー / 白黒）の設定」 45 ページ

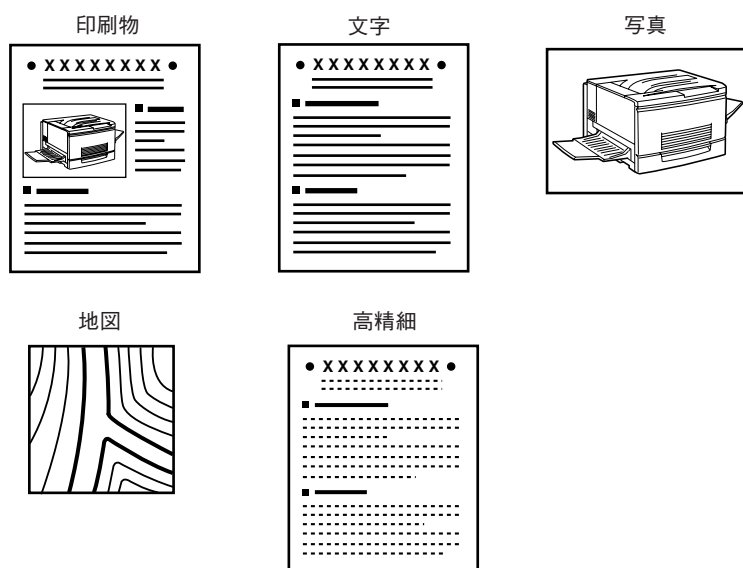
プリンタのカラートナーを使わずに、黒トナーだけを使ってコピーすることができます。



■原稿に応じて最適にコピーする

🔗「原稿タイプの設定」46 ページ

原稿タイプを設定することで、黒い文字だけの原稿では文字をくっきりと黒く、写真原稿では写真をきれいに、雑誌・カタログなどの印刷物の原稿ではモアレ（網目状の陰影）が発生しないように、地図などの原稿では薄い色もコピーするように、小さい文字等、細かい印刷内容のある原稿では、高い解像度で、最適なコピーができます。



■濃度や、色合いを変えてコピーする

🔗「コピー濃度（こく / うすく）の調整」48 ページ

🔗「色調調整」49 ページ

コピー結果が思うようにならなかったときに、調整してみてください。

■よく使うコピー設定を記憶して、簡単にコピーする

🔗「コピー設定の再利用」54 ページ

現在のコピー設定を記憶させ、次回からは登録した設定を呼び出すだけで、応用的なコピーをすることができます。

■両面コピーを行う

「両面コピーの設定」 58 ページ

原稿の片面 / 両面、コピーの片面 / 両面を指定して、コピーができます。
「片面→両面」、「両面→両面」のコピーは、プリンタ用オプションの両面印刷ユニットが必要になります。

■操作パネルの明るさを変える

「パネルの明暗調整機能」 61 ページ

操作パネルが見にくいときに、明るさを調整することができます。

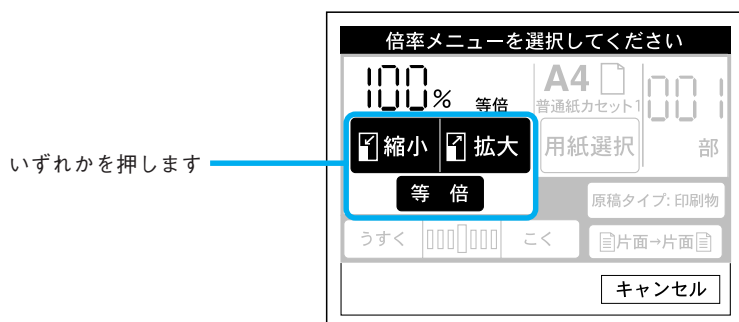
倍率の設定

倍率設定の仕方

倍率の設定には、次の3つがあります。

- 定型縮小 : あらかじめ設定された縮小倍率の中からコピー倍率を選びます。
[縮小] ボタンを押して、[縮小メニュー] 画面で選びます。
- 定型拡大 : あらかじめ設定された拡大倍率の中からコピー倍率を選びます。
[拡大] ボタンを押して、[拡大メニュー] 画面で選びます。
- 任意倍率 : 25%～400%の範囲で1%単位でコピー倍率を設定します。
[縮小] / [拡大] ボタンを押して、[縮小メニュー] / [拡大メニュー] 画面を表示し、画面中の [ズーム] ボタンを押して、ズーム倍率画面で設定します。

コピー基本画面のコピー倍率表示部（***%と表示されている部分）を押すと、画面が次のように変わり、コピー倍率設定のために押すボタンを示します。



ポイント

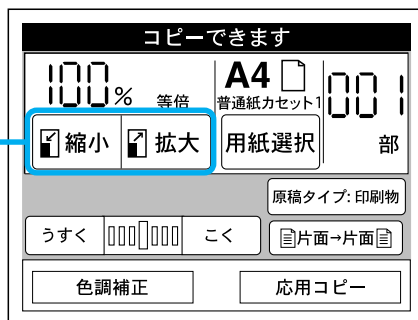
現在のコピー倍率が100%の場合、上記の画面で [等倍] ボタンを押しても画面は変わりません。

定型縮小 / 拡大の倍率設定

1

コピー基本画面で **縮小** ボタン、または **拡大** ボタンを押します。

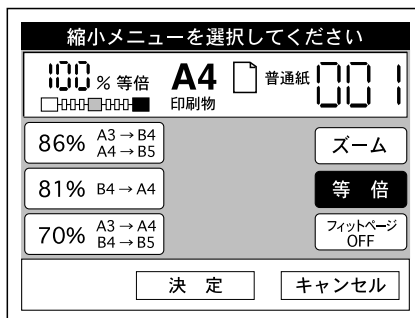
いずれかを押します



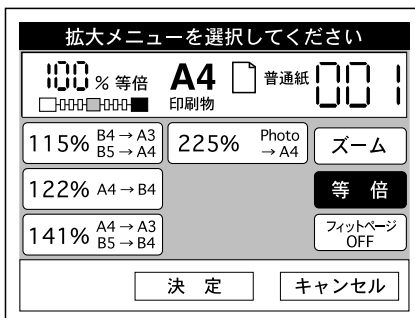
2

縮小メニュー画面、または拡大メニュー画面が表示されます。

●縮小メニュー画面



●拡大メニュー画面



画面左側に表示されている倍率ボタンの内、選択したい倍率のボタンを押します。

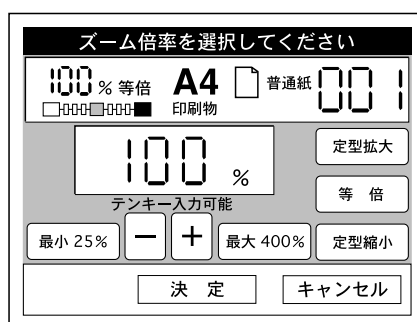
- **倍率** ボタン : 拡大率 / 縮小率が%で表示されているボタンです。
押したボタンは反転表示され、現在選択されていることを示します。
- **ズーム** ボタン : ズーム倍率画面を表示します。
コピー倍率を任意に設定する場合に押します。
☞「ズーム倍率画面」42 ページ
- **等倍** ボタン : コピー倍率を 100% にする場合に押します。
- **フィットページ** ボタン : フィットページ機能のオン / オフを切り替えます。
フィットページ機能については、次の箇所を参照してください。
☞「フィットページ」43 ページ
- **決定** ボタン : 設定した値を有効にします。
 - [コピー基本] 画面から、倍率設定の画面を表示させた場合、続いて [用紙選択] 画面が表示されます。
 - [用紙選択] 画面で設定を行った後、倍率設定の画面が表示された場合、続いて [コピー基本] 画面が表示されます。
- **キャンセル** ボタン : 設定した値を無効にして、コピー基本画面に戻ります。

ズーム（任意倍率）の倍率設定

〔ズーム倍率〕画面は、〔縮小メニュー〕画面または〔拡大メニュー〕画面で、**ズーム** ボタンを押すと表示されます。

倍率は、操作パネルのテンキーで入力できます。この場合、25より小さい値や400より大きい値を入力しても、自動的に25%または400%になります。また、〔ズーム倍率〕画面のボタンを押して設定することもできます。

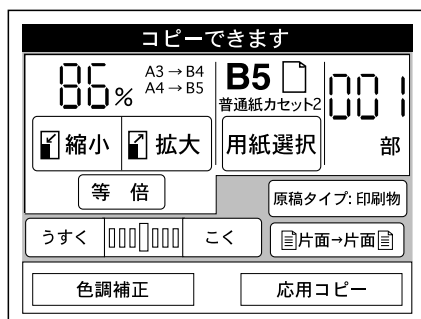
●ズーム倍率画面



- −** ボタン : コピー倍率を 1%ずつ小さくします。
押し続けると、値が素早く変わります。
- +** ボタン : コピー倍率を 1%ずつ大きくします。
押し続けると、値が素早く変わります。
- 最小 25%** ボタン : コピー倍率を、最小の 25% に設定します。
- 最大 400%** ボタン : コピー倍率を、最大の 400% に設定します。
- 定型拡大** ボタン : 〔拡大メニュー〕画面を表示します。
コピー基本画面の **拡大** ボタンと同じ機能です。
- 定型縮小** ボタン : 〔縮小メニュー〕画面を表示します。
コピー基本画面の **縮小** ボタンと同じ機能です。
- 等倍** ボタン : 倍率を 100% に設定します。
- 決定** ボタン : 設定した値を有効にします。
 - 〔コピー基本〕画面から、倍率設定の画面を表示させた場合、続いて〔用紙選択〕画面が表示されます。
 - 〔用紙選択〕画面で設定を行った後、倍率設定の画面が表示された場合、続いて〔コピー基本〕画面が表示されます。
- キャンセル** ボタン : 設定した値を無効にして、〔コピー基本〕画面に戻ります。

倍率を 100%（等倍）に戻す

コピー倍率を変更している場合、コピー基本画面に **等倍** ボタンが表示されます。**等倍** ボタンを押すと、倍率を 100%に戻すことができます。



フィットページ機能について

フィットページ機能は、選択されているコピー倍率よりも少し小さめに縮小してコピーする機能です。

プリンタで、用紙に印刷可能な領域には制限があり、用紙全体に印刷する事ができません。

このため、例えばコピー倍率が 100%の場合に、用紙全体に印刷されている原稿を同じサイズ of 用紙にコピーすると、原稿の端の部分はコピーされません。フィットページをONにすると、設定されているコピー倍率より少し小さめの倍率でコピーするため、原稿全体の印刷内容をコピーすることができます。

フィットページ機能の有効 / 無効は、[拡大メニュー] 画面、または [縮小メニュー] 画面で、**フィットページ** ボタンを押して切り替えます。

フィットページ ボタンを押す度に、ボタンの中のON、OFFが切り替わります。フィットページがONの場合、基本設定画面の倍率表示の箇所に「フィット」と表示されます。

フィットページ機能は、コピー倍率をズーム（任意倍率）で設定しているときは無効になります。

拡大 / 縮小の設定に問題がある場合

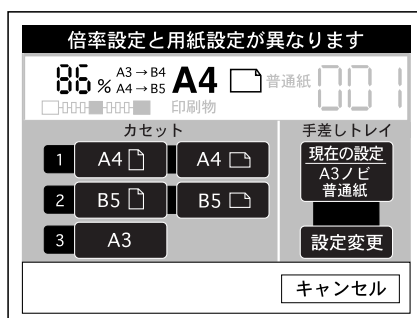
選択した拡大 / 縮小の設定に問題がある場合、画面が次のようになります。

用紙サイズや用紙方向の設定と、倍率が合っていない場合

先に **用紙選択** ボタンを押して給紙装置の設定を行っている場合、選択した倍率が用紙サイズや用紙方向と合わないと、次のメッセージが表示されます。

- 倍率設定と用紙設定が異なります。
- 倍率設定と用紙方向が異なります。

また、倍率の選択の結果、用紙サイズや用紙方向を設定する必要が生じた場合、画面が下図のように点滅して、正しい設定に変更する必要があることを知らせる場合があります。



上図の画面が表示された場合、点滅しているボタンのいずれかを押して、用紙選択をすることができます。

割り付け / ページ連写が設定されている場合

応用コピーで、割り付け、またはページ連写の設定をしている場合、原稿と用紙サイズの関係で倍率が自動的に設定されます。

このため、割り付け、またはページ連写の設定をしている場合、倍率を変更すると次のメッセージが表示されます。

- 割り付けコピーが設定されております。割り付けコピーを解除してください。
- ページ連写コピーが設定されております。ページ連写コピーを解除してください。

このメッセージが表示された場合、**応用コピー** ボタンを押して、割り付け、またはページ連写の設定を解除してください。

コピー色（カラー / 白黒）の設定

プリンタのカラートナーを使わずに、黒トナーだけを使って印刷することができます。白黒の原稿をコピーするときは、白黒に設定してください。

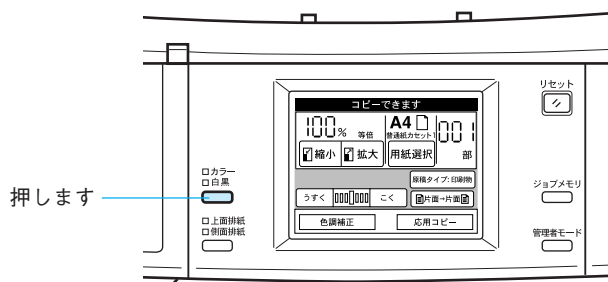
設定項目

カラー：カラーで印刷するときに設定します。

白黒：黒トナーだけで印刷するときに設定します。

設定の仕方

カラー/白黒は、操作パネル左側の **カラー/白黒** ボタンを押して切り替えます。ボタンを押すたびに、カラーLEDと白黒LEDの点灯が切り替わります。



原稿タイプの設定

原稿のタイプをあらかじめ設定することにより、原稿に合わせた最適な取り込みとコピーを行います。

設定項目

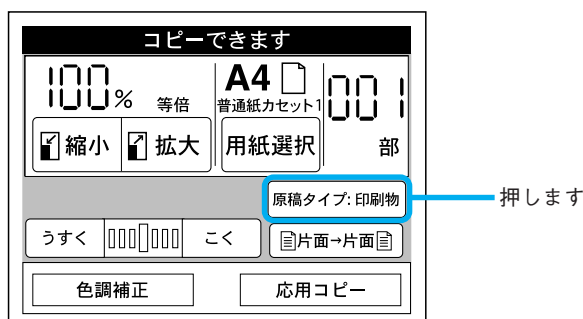
- | | |
|-----|---|
| 写真 | : 銀塩写真（カメラで撮影して現像した写真）をコピーするときに設定します。写真をきれいにコピーすることができます。 |
| 文字 | : 文字原稿をコピーするときに設定します。黒い文字をくっきりと黒くコピーすることができます。 |
| 印刷物 | : 雑誌やカタログなどの印刷物をコピーするときに設定します。印刷物のコピーではモアレ（網目状の陰影）が発生しやすいため、モアレを防止する機能が働きます。 |
| 地図 | : 地図などの、薄い色や細い線のある印刷物をコピーするときに設定します。 |
| 高精細 | : 細かい文字や印刷内容の原稿をコピーする場合に設定します。他の原稿タイプでのコピーに比べ、コピースピードは遅くなりますが、より細密なコピー結果を得ることができます。 |

設定の仕方

1

原稿タイプ ボタンを押します。

原稿タイプ ボタンには、現在選択されている原稿タイプが表示されています。

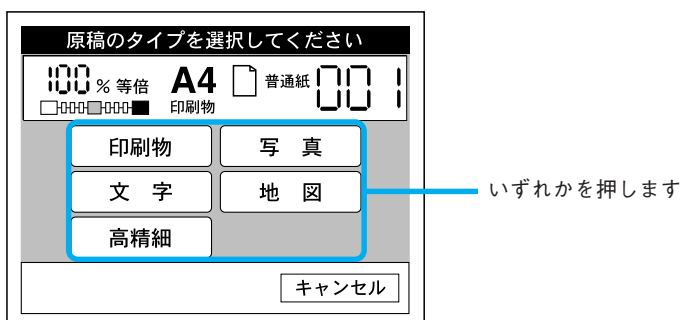


「写真」モードでのコピーでモアレが出たら、「印刷物」モードに設定してください。

2

[原稿タイプ] 設定画面で、設定したい原稿タイプのボタンを押します。

原稿タイプのボタンを押すと、設定が有効になり、[コピー基本]画面に戻ります。画面の **原稿タイプ** ボタンには、選択した原稿タイプの名前が表示されます。



コピー濃度（こく / うすく）の調整

原稿の品質が良くないときやコピーの品質が良くないとき、または原稿とコピー結果の色が合わないときなどに調整してください。

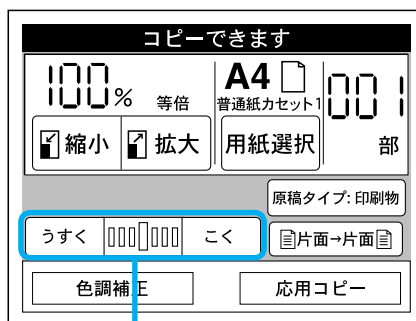
設定項目

コピー濃度を、7段階に調整します。

設定の仕方

[コピー基本] 画面で、**うすく** ボタン、または **こく** ボタンを押して調整します。

コントラスト、RGB、彩度、色相の調整は、**色調補正** ボタンを押して行います。
次ページ「色調補正」を参照してください。



うすく または こく を押します

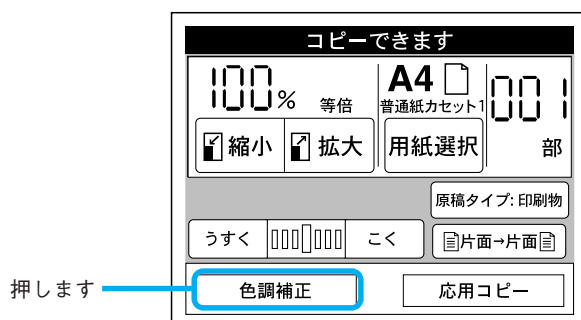
色調補正

コピー基本画面で **色調補正** ボタンを押すと、[色調メニュー] 画面が表示され、カラーコピーの色に関する各種調整が行えます。

モノクロコピー（操作パネルの[白黒] LED が点灯）の場合は、コントラストの調整のみできます。

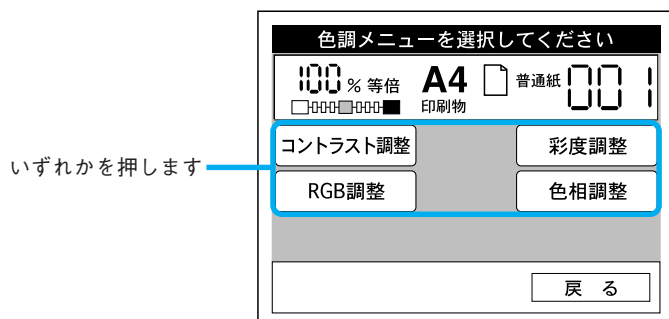
●コピー基本画面

色調補正の設定が変更されている場合、ボタンの表示が[色調補正あり詳細表示] に変わります。



●色調メニュー画面

設定が変更されている項目は、ボタンの表示が[*****あり] に変わります。



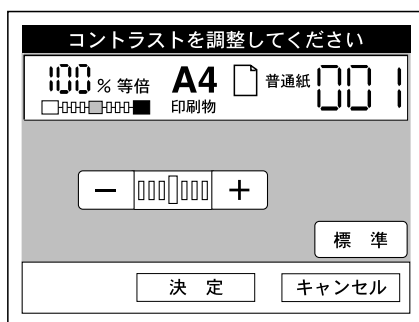
設定したい項目のボタンを押します。

戻る ボタンを押すと、現在の設定のままコピー基本画面に戻ります。

コントラスト調整

色調メニュー画面で **コントラスト調整** ボタンを押すと次の画面が表示されます。
 画像のコントラスト（明暗の差）を7段階に調整できます。
 初期設定は、標準（設定バーの中央）です。

この画面でボタンが押されない状態が30秒続くと、自動的に「コピー基本」画面に戻ります。この場合、設定値は変更されません。



調整バー

：現在の設定値を表示します。

コントラストを強める場合は **+** ボタンを、弱める場合は **-** ボタンを押すと、値が一段階ずつ変わります。

標準 ボタン

：設定値を標準状態に戻します。

決定 ボタン

：設定した値を有効にして、コピー基本画面に戻ります。

キャンセル ボタン

：設定した値を無効にして、コピー基本画面に戻ります。

RGB 調整

色調メニュー画面で **RGB 調整** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。
R（赤）、G（緑）、B（青）の三原色について、各色の強弱を7段階に調整できます。

初期設定は、標準（設定バーの中央）です。

この画面が表示されてから、どのボタンも押されない状態が30秒続くと、自動的に〔コピー基本〕画面に戻ります。この場合、設定値は変更されません。

RGB値を調整してください

100 % 等倍 A4 普通紙 印刷物

R - 0000000 +

G - 0000000 +

B - 0000000 +

標準

決定 キャンセル

調整バー

：現在の設定値を表示します。
調整バーの端の **+** ボタン、**-** ボタンを押すと、値が一段階ずつ変わります。
それぞれの色を強める場合は **+** を、弱める場合は **-** を押します。

標準 ボタン

：設定値を標準状態に戻します。

決定 ボタン

：設定した値を有効にして、コピー基本画面に戻ります。

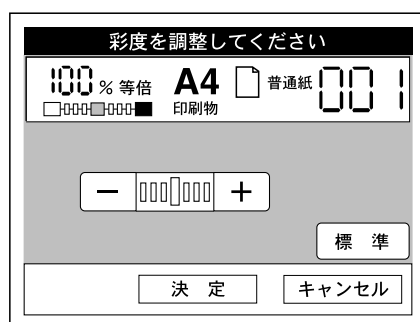
キャンセル ボタン

：設定した値を無効にして、コピー基本画面に戻ります。

彩度調整

色調メニュー画面で **彩度調整** ボタンを押すと次の画面が表示されます。
 彩度（色の鮮やかさ）を7段階に調整します。
 初期設定は、標準（設定バーの中央）です。

画面が表示されてから、どのボタンも押されない状態が30秒続くと、自動的に
 [コピー基本] 画面に戻ります。この場合、設定値は変更されません。

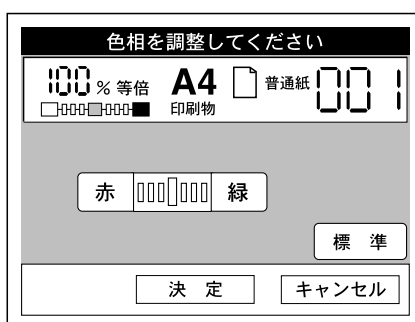


- 調整バー : 現在の設定値を表示します。
 調整バーの端の **+** ボタン、**-** ボタンを押すと、値が一段階ずつ変わります。
 あざやかさを強める場合は **+** を、弱める場合は **-** を押します。
- 標準** ボタン : 設定値を標準状態に戻します。
- 決定** ボタン : 設定した値を有効にして、コピー基本画面に戻ります。
- キャンセル** ボタン : 設定した値を無効にして、コピー基本画面に戻ります。

色相調整

色調メニュー画面で **色相調整** ボタンを押すと次の画面が表示されます。
色相（赤、緑のバランス）を7段階に調整します。
初期設定は、標準（設定バーの中央）です。

画面が表示されてから、どのボタンも押されない状態が30秒続くと、自動的に
[コピー基本] 画面に戻ります。この場合、設定値は変更されません。



調整バー

：現在の設定値を表示します。
調整バーの端の **赤** ボタン、**緑** ボタンを押すと、値が一段階ずつ変わります。
赤を強める場合は **赤** を、緑を強める場合は **緑** を押します。

標準 ボタン

：設定値を標準状態に戻します。

決定 ボタン

：設定した値を有効にして、コピー基本画面に戻ります。

キャンセル ボタン

：設定した値を無効にして、コピー基本画面に戻ります。

コピー設定の再利用

操作パネルの **ジョブメモリ** ボタンを押すことで、現在のコピー設定を登録し、登録したコピー設定を呼び出してコピーを実行することができます。
コピー設定は8つまで登録できます。

コピー設定の登録

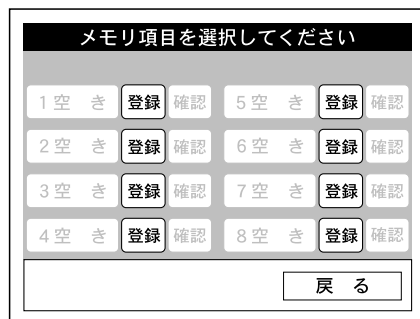
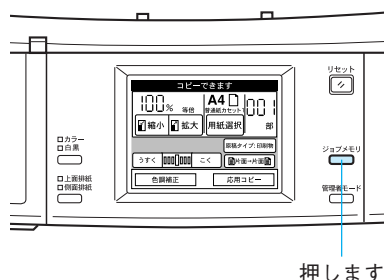
1

はじめに、コピー設定を登録したい値に変更し、[コピー基本] 画面に戻ります。

2

操作パネルの **ジョブメモリ** ボタンを押します。

[メモリ設定] 画面が表示されます。



3

[空き]と表示されている **メモリ** ボタンの[登録]を押すと、その **メモリ** ボタンに現在のコピー設定が登録され、**メモリ** ボタンの表示が変わります。



4

目的の **メモリ** ボタンにコピー設定が登録されたことを確認したら、**戻る** ボタンを押して、[コピー基本]画面に戻ります。

登録したコピー設定の確認

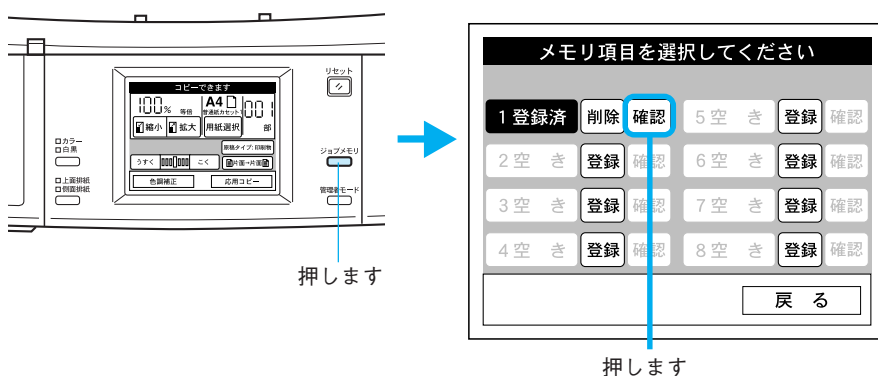
メモリ ボタンに登録されているコピー設定の確認は、次のように行います。

1

操作パネルの **ジョブメモリ** ボタンを押します。

[メモリ設定] 画面が表示されます。

コピー設定を確認したい **メモリ** ボタン右側の **確認** ボタンを押します。

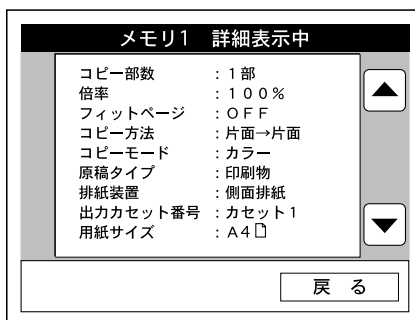


2

[メモリ詳細表示] 画面が表示され、手順②で選択した **メモリ** ボタンに登録されているコピー設定の内容を確認できます。

▲ ボタンと ▼ ボタンで、表示を上下にスクロールできます。

戻る ボタンを押すと、[メモリ設定] 画面に戻ります。



登録したコピー設定での印刷

メモリ ボタンに登録したコピー設定を呼び出してコピーを行うには、次のようにします。

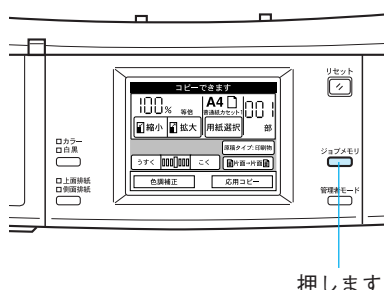
1

操作パネルの **ジョブメモリ** ボタンを押します。

[メモリ設定] 画面が表示されます。

呼び出したいコピー設定が登録されている **メモリ** ボタン（[登録済] と表示されているボタン）を押します。

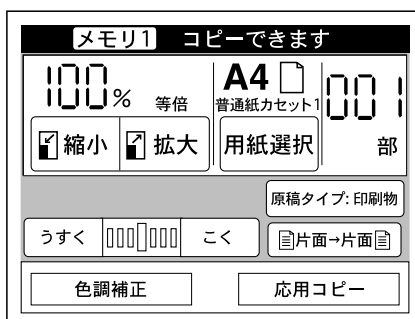
登録済みの **メモリ** ボタンが複数あって、呼び出したいコピー設定がどのボタンに登録されているかわからない場合は、**確認** ボタンを押して、登録されているコピー設定を確認してください。



2

手順①で押した **メモリ** ボタンに登録されているコピー設定で、[コピー基本] 画面が表示されます。

現在のコピー設定が、**メモリ** ボタンから呼び出した設定の場合、画面上部に「メモリ* コピーできます」と表示されます。



3

操作パネルの **スタート** ボタンを押すと、呼び出した設定でコピーが実行されます。

登録したコピー設定の削除

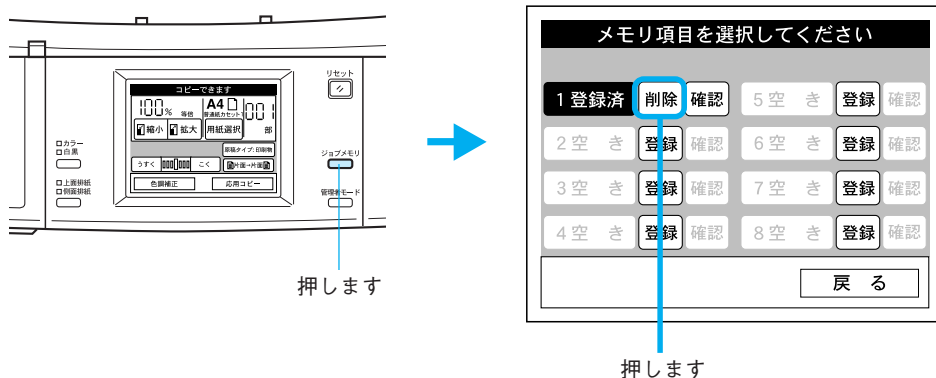
コピー設定を **メモリ** ボタンに登録している場合、コピー設定の **メモリ** ボタンからの削除は、次のようにして行います。

1

操作パネルの **ジョブメモリ** ボタンを押します。

[メモリ設定] 画面が表示されます。

コピー設定を削除したい **メモリ** ボタンの右側の **削除** ボタンを押します。



2

画面上部に「メモリ*を削除しますか」と表示されます。

削除 ボタンを押すと、**メモリ** ボタンからのコピー設定の削除が実行されます。

キャンセル ボタンを押すと、コピー設定は削除されません。



3

コピー設定の削除が完了すると、**メモリ** ボタンの表示が [空き] になります。

戻る ボタンを押すと、コピー基本画面に戻ります。

両面コピーの設定

設定項目

両面コピーには、次の種類があります。

- 片面→片面
- 両面→片面
- 片面→両面
- 両面→両面



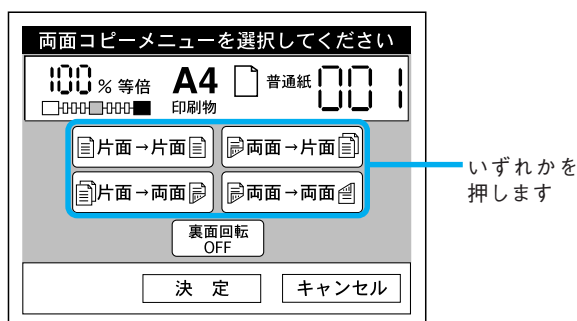
ポイント

- 片面→両面、両面→両面は、プリンタにオプションの両面印刷ユニット（型番：LPCDSP1）が装着されている場合のみ可能です。
両面印刷ユニットが装着されていない場合、**片面→両面** ボタン、**両面→両面** ボタンは選択できません。
- スキャナにオプションの ADF（型番：ESA3ADF2）を装着している場合、両面原稿を自動的に連続して取り込むことができます。
ADF を装着していない場合、両面原稿は、片面を取り込むごとにセットし直してください。

設定の仕方

[コピー基本] 画面で **片面→片面** ボタンを押すと、[両面コピーメニュー画面] が表示され、両面コピーに関する設定が行えます。

両面印刷ユニットが装着されていない場合 **片面→両面** ボタン、**両面→両面** ボタンは選択できません。



片面→片面 ボタン : [原稿の片面/両面→出力用紙の片面/両面] が表示されています。

選択したいコピーのボタンを押します。

裏面回転 ボタン : **片面→両面** ボタン、**両面→両面** ボタンを押した場合のみ選択できます。

ボタンを押す度に ON/OFF が切り替わります。

裏面回転 ON にすると、用紙の裏側にコピーする内容を、180 度回転してコピーします。

両面コピーの実行

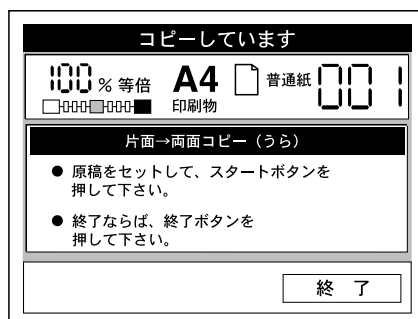
スキャナにオプションの ADF (型番: ESA3ADF2) を装着している場合、原稿は自動的に取り込まれ、読み取りと印刷が行われます。

ADF を装着していない場合、片面原稿は 1 枚ごとにセットする必要があります。また、両面原稿は、表面をコピーしたら、裏返して裏面をコピーするようセットする必要があります。

この場合、操作パネルに次のメッセージが表示されますので、メッセージに従って原稿をセットしてください。

● 1 枚目表面のコピー終了後の画面

(1 枚目裏面のコピーを促すメッセージが表示されます。)

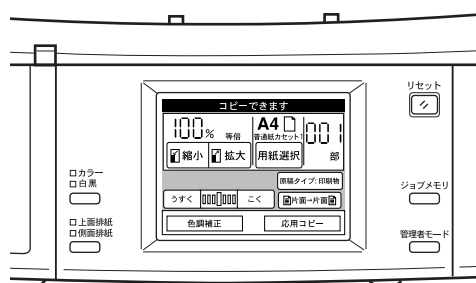


パネルの明暗調整機能

操作パネルが見にくいときに、明るさを調整することができます。

調整の仕方

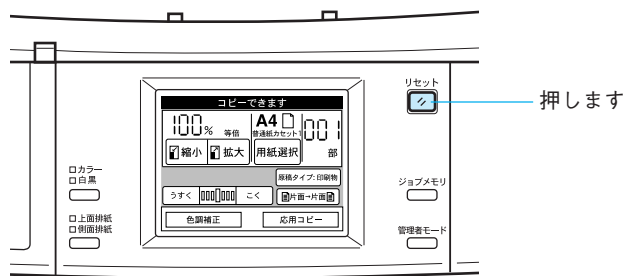
操作パネル前面にある、パネル明暗調整ボリュームで調整します。



調整ボリューム
(図はボリュームを大きく描いています)

コピー設定のリセット

操作パネルの **リセット** ボタンを押すと、コピーに関する設定が標準値に戻ります。



「標準値」とは、電源をオンにした直後のコピー設定の値を指します。標準値は、**管理者モード** ボタンを押して、[コピージョブ標準値設定] で変更することができます。

応用コピーの設定

ここでは、応用的なコピーの仕方について説明しています。

- 応用コピーについて P.64
- 割り付け設定 P.65
- 綴じしろ設定 P.71
- 丁合い設定 P.75
- ページ連写設定 P.77
- ブック影消し設定 P.82

応用コピーについて

応用コピーには、次の5種類があります。

- 割り付けコピー

2枚の原稿を、1枚の用紙の左右または上下に割り付けてコピーします。

- 綴じしろコピー

用紙の端に、綴じしろを設けてコピーします。

- 丁合いコピー

丁合いコピー（部単位でのコピー）を行います。

丁合いコピーは、プリンタにオプションのハードディスクユニットが装着されている場合のみ使用できます。

- ページ連写コピー

1枚の原稿を半分ずつに分けて、2枚の用紙にコピーします。

見開き状態の本を、1ページごとにコピーする場合などに使用します。

- ブック影消し

原稿の中央や周囲の部分に、読み取らない範囲を設定してコピーします。厚い本などを見開き状態でコピーすると、左右のページの中央に影が生じたり、開いたページの周囲に本の影が生じる場合があります。

このような影が生じないよう、原稿の中央や周囲の一定範囲をコピーしないように設定する機能です。



ポイント

- 割り付けコピーとページ連写コピーは相反する機能のため、同時に使用することはできません。
- プリンタにハードディスクユニットが装着されていても、ハードディスクユニットが他の印刷データで一杯の場合、自動的に読み取りを中止し、読み取った分の原稿を丁合いコピーします。

割り付け設定

割り付けコピーについて

割り付けコピーは、2枚の原稿を、1枚の用紙にコピーする機能です。
割り付けコピーの場合、原稿サイズと出力用紙のサイズ/方向は、次の組み合わせのみ可能です。
コピー倍率は、原稿サイズと出力用紙サイズの関係から自動的に設定されるため、変更できません。

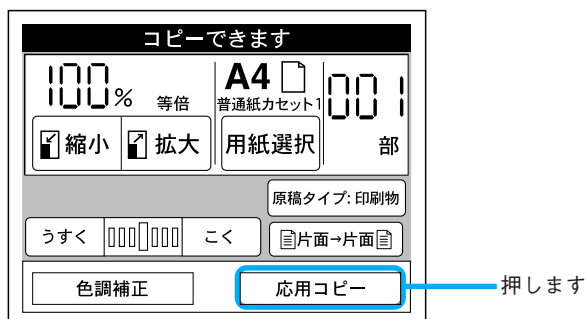
原稿サイズ（方向）	出力用紙サイズ（方向）	コピー倍率
B5（縦／横）	B5（縦）	B5 → B6
	B4（横）	B5 → B5
	A4（縦）	B5 → A5
	A3（横）	B5 → A4
B4（横）	B5（縦）	B4 → B6
	B4（横）	B4 → B5
	A4（縦）	B4 → A5
	A3（横）	B4 → A4
A4（縦／横）	B5（縦）	A4 → B6
	B4（横）	A4 → B5
	A4（縦）	A4 → A5
	A3（横）	A4 → A4
A3（横）	B5（縦）	A3 → B6
	B4（横）	A3 → B5
	A4（縦）	A3 → A5
	A3（横）	A3 → A4

割り付け設定の仕方

1

コピー基本画面で **応用コピー** ボタンを押します。

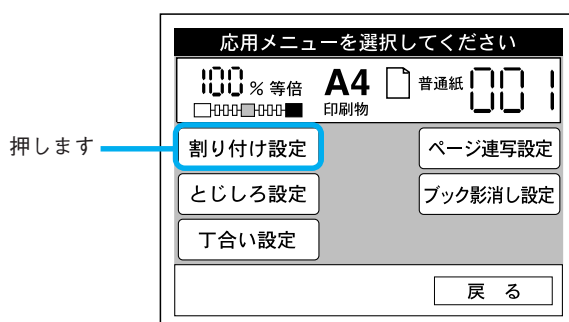
応用コピーの設定が行われている場合、ボタンの表示は「応用コピーあり 詳細表示」となります。



2

応用メニュー画面で **割り付け設定** ボタンを押します。

割り付け設定が行われている場合、ボタンの表示は「割り付け設定あり」となります。



3

割り付け設定が行われている場合、次の画面が表示され、現在の割り付け設定を確認できます。

割り付け設定が行われていない場合、この画面は表示されません。この画面が表示されない場合は手順④に進んでください。

この画面のボタンの意味は次の通りです。

設定解除 ボタン : 割り付け設定をなしにして「応用メニュー画面」に戻ります。

再設定 ボタン : 割り付け設定を行います。
このボタンを押した場合、手順④に進んでください。

戻る ボタン : 現在の割り付け設定のまま、「応用メニュー」画面に戻ります。

4

【原稿サイズ選択】画面で、セットする原稿とサイズと向きが一致するボタンを押します。

いずれかを押します

5

〔出力用紙選択〕画面で、出力したい用紙サイズのボタンを押します。

いずれかを押します

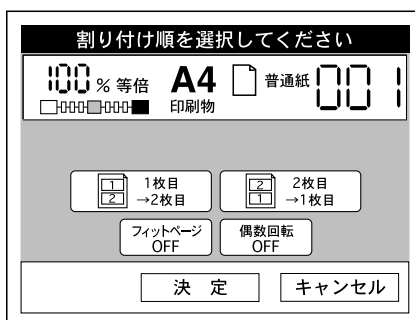
6

〔割り付け順選択〕画面で、割り付けの順番を選択します。

また、必要に応じて〔フィットページ〕、〔偶数回転〕を設定します。
表示される〔割り付け順選択〕画面は、原稿の向きによって異なります。

●原稿が縦長の場合

●原稿が横長の場合



この画面のボタンの意味は次の通りです。

1枚目 → 2枚目 ボタン /

2枚目 → 1枚目 ボタン : 原稿の奇数 (1、3、...) ページと偶数 (2、4、...) ページを、1枚の用紙に割り付ける順番を指定します。

割り付け順はボタン中に表示されています。選択したい割り付け順のボタンを押します。このボタンを押すと、下部に **決定** ボタンが表示されます。

フィットページ ボタン : ボタンを押す度に、ON/OFF が切り替わります。フィットページ ON に設定すると、原稿全体がコピーされるよう、原稿サイズ → 出力用紙サイズの倍率より少し縮小されてコピーが行われます。原稿全体 (端から端まで) をコピーしたい場合に ON にします。

偶数回転 ボタン : ボタンを押す度に、ON/OFF が切り替わります。偶数回転 ON の場合、偶数 (2、4、...) ページの原稿の印刷内容が、180度回転してコピーされます。偶数回転 OFF の場合、偶数ページのコピーの向きは変わりません。

7

【割り付け設定】画面の設定が終わったら、**決定** ボタンを押して【応用メニュー】画面に戻ります。

【割り付け設定】画面での設定を無効にしたい場合は **キャンセル** ボタンを押して【応用メニュー】画面に戻ります。

8

【応用メニュー】画面で **戻る** ボタンを押して、【コピー基本】画面に戻ります。

割り付けコピーの実行

スキャナにオプションのADF（型番：ESA3ADF2）を装着している場合、原稿は自動的に取り込まれ、読み取りと印刷が行われます。

ADFを装着していない場合、原稿を1枚ごとにセットする必要があります。また、割り付けコピーと両面コピー（片面→両面）を同時に設定している場合、1枚目の原稿読み取りが終了すると、次の画面が表示されますので、メッセージに従って原稿をセットし、**スタート** ボタンを押してください。



綴じしろ設定

綴じしろ設定について

用紙の端に、綴じしろを設けてコピーします。

用紙の端から何mmの範囲を綴じしろとするかを、0mm～30mmの範囲で1mm単位で設定できます。

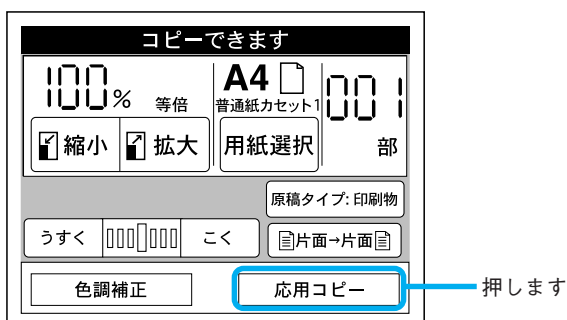
プリンタの仕様により、用紙の端5mmに印刷することはできません。このため、綴じしろを5mm以下に設定しても、実際には5mmの余白が生じます。

綴じしろ設定の仕方

1

コピー基本画面で **応用コピー** ボタンを押します。

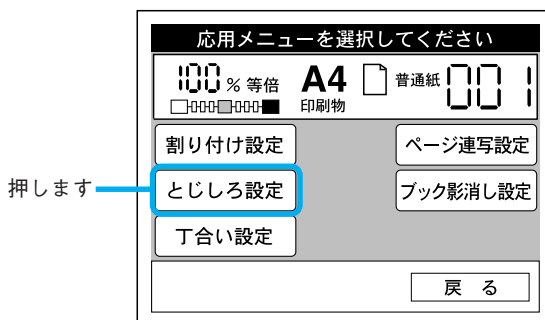
応用コピーの設定が行われている場合、ボタンの表示は「応用コピーあり 詳細表示」となります。



2

応用メニュー画面で **とじしろ設定** ボタンを押します。

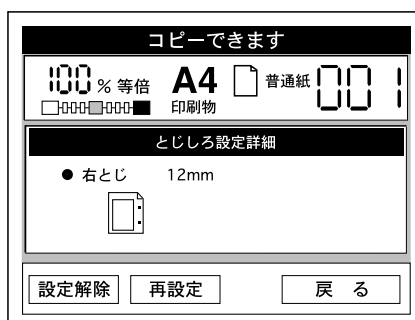
綴じしろ設定が行われている場合、ボタンの表示は「とじしろ設定あり」となります。



3

綴じしろ設定が行われている場合、次の画面が表示され、現在の綴じしろ設定を確認できます。

綴じしろ設定が行われていない場合、この画面は表示されません。この画面が表示されない場合は手順④に進んでください。



この画面のボタンの意味は次の通りです。

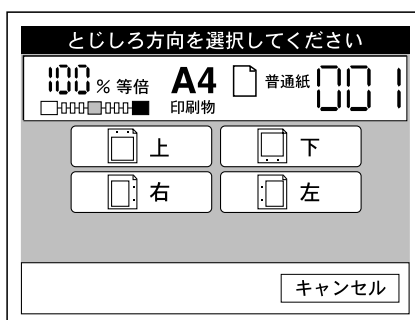
- 設定解除** ボタン : 綴じしろ設定をなしにして「応用メニュー画面」に戻ります。
- 再設定** ボタン : 綴じしろ設定を行います。
このボタンを押した場合、手順④に進んでください。
- 戻る** ボタン : 現在の綴じしろ設定のまま、「応用メニュー」画面に戻ります。

4

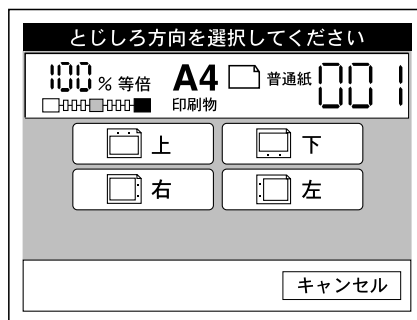
【とじしろ方向選択】画面で、どの方向に綴じしろを設けるかを、上下左右いずれかのボタンを押して選択します。

ここで選択する綴じしろ方向は、原稿に対する方向です。
表示される【とじしろ方向選択】画面は、原稿の向きによって異なります。

●原稿が縦長の場合

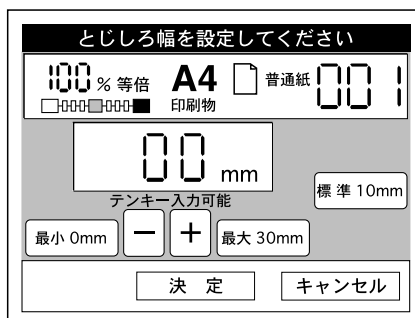


●原稿が横長の場合



5

【とじしろ幅設定】画面で、綴じしろの幅を設定します。



綴じしろの値は、操作パネルのテンキーで入力します。
また、画面のボタンでも設定できます。この画面のボタンの意味は次の通りです。

- 最小 0mm** ボタン : 綴じしろを最小の 0mm に設定します。
- 最大 30mm** ボタン : 綴じしろを最大の 30mm に設定します。
- 標準 10mm** ボタン : 綴じしろを標準の 10mm に設定します。
- −** ボタン : 綴じしろの値を小さくします。ボタンを押し続けると、値が素早く変わります。
- +** ボタン : 綴じしろの値を大きくします。ボタンを押し続けると、値が素早く変わります。

プリンタは、用紙の端 5mm の範囲には印刷ができません。このため、5mm 以下に設定しても、実際には 5mm の余白が生じます。

6

【とじしろ幅設定】画面の設定が終わったら、**決定** ボタンを押して【応用メニュー】画面に戻ります。

【とじしろ幅設定】画面での設定を無効にしたい場合は **キャンセル** ボタンを押して【応用メニュー】画面に戻ります。

7

【応用メニュー】画面で **戻る** ボタンを押して、【コピー基本】画面に戻ります。

丁合い設定

丁合いコピーについて

丁合いコピーは、部単位でのコピーを行う機能です。

丁合いコピーを行う設定にしている場合、例えば、10 ページの原稿をコピー枚数 2 枚でコピーする場合、

- ① スキャナ側で、1 ページから 10 ページまでを読み取ります。
- ② プリンタ側で、1 部目（1 ページから 10 ページまで）を印刷、排紙します。
- ③ 続いて、2 部目（1 ページから 10 ページまで）を印刷、排紙します。

丁合いコピーは、プリンタにオプションのハードディスクユニットが装着されている場合のみ使用できます。



ポイント

ハードディスクユニットの空き容量が少ない状態では、全ページの原稿を読み取れない場合があります。この場合、空き容量がなくなると自動的に読み取りを中止し、読み取った分の原稿を丁合いコピーします。

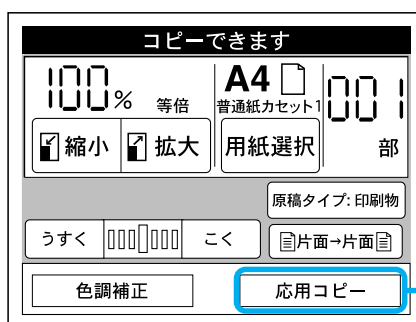
スキャナに ADF を装着していない場合、[ページ連写] または [両面→片面] コピーの設定を有効にすることで、2 ページまでの原稿を丁合いコピーすることができます。

丁合い設定の仕方

1

コピー基本画面で **応用コピー** ボタンを押します。

応用コピーの設定が行われている場合、ボタンの表示は「応用コピーあり 詳細表示」となります。

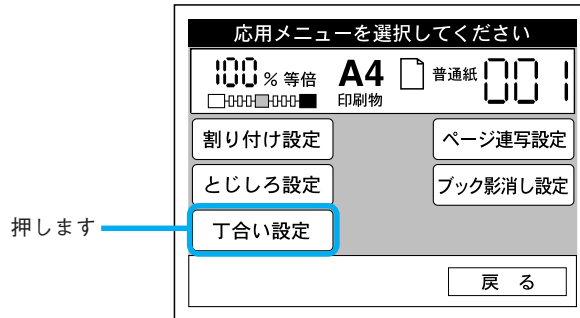


押します

2

応用メニュー画面で **丁合い設定** ボタンを押します。

丁合い設定が行われている場合、ボタンの表示は「丁合い設定あり」となります。



3

【丁合い設定】画面が表示され、現在の丁合い設定の確認と、設定の変更ができます。

この画面のボタンの意味は次の通りです。現在選択されているボタンは反転表示されます。

丁合いあり ボタン：丁合いコピーを行います。

丁合いなし ボタン：丁合いコピーを行いません。



4

【丁合い設定】画面の設定が終わったら、**決定** ボタンを押して【応用メニュー】画面に戻ります。

【丁合い設定】画面での設定を無効にしたい場合は **キャンセル** ボタンを押して【応用メニュー】画面に戻ります。

5

【応用メニュー】画面で **戻る** ボタンを押して、【コピー基本】画面に戻ります。

ページ連写設定

ページ連写コピーについて

ページ連写コピーは、1枚の原稿を左右または上下に分けて、2枚の用紙にコピーする機能です。

ページ連写コピーの場合、原稿サイズと出力用紙のサイズ/方向は、次の組み合わせのみ可能です。

原稿が本の場合、見開き状態でのサイズが原稿サイズになります。

コピー倍率は、原稿サイズと出力用紙サイズの関係から自動的に設定されるため、変更できません。

原稿サイズ（方向） 本の見開きサイズ	出力用紙サイズ（方向）	コピー倍率
B5（横）	B5（縦）	B6 → B5
	A4（縦）	B6 → A4
B4（横）	B5（縦）	B5 → B5
	A4（縦）	B5 → A4
A4（横）	B5（縦）	A5 → B5
	A4（縦）	A5 → A4
A3（横）	B5（縦）	A4 → B5
	A4（縦）	A4 → A4

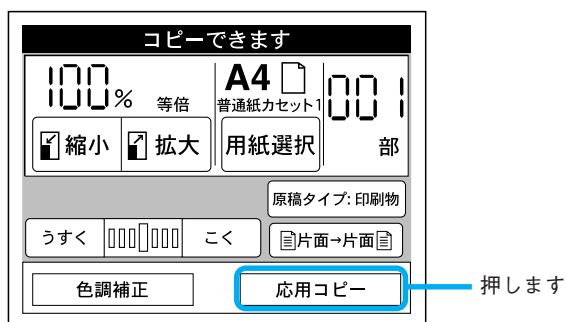
ページ連写コピーでは、見開き状態の本のサイズを原稿サイズとして扱います。
また、原稿のセット方向は、横長の状態のみになります。

ページ連写設定の仕方

1

コピー基本画面で **応用コピー** ボタンを押します。

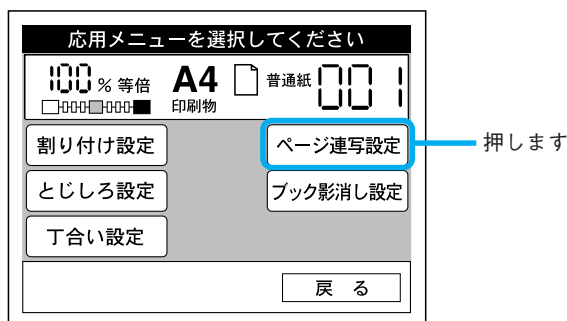
応用コピーの設定が行われている場合、ボタンの表示は「応用コピーあり 詳細表示」となります。



2

応用メニュー画面で **ページ連写設定** ボタンを押します。

ページ連写設定が行われている場合、ボタンの表示は「ページ連写設定あり」となります。



3

ページ連写設定が行われている場合、次の画面が表示され、現在のページ連写設定を確認できます。

ページ連写設定が行われていない場合、この画面は表示されません。この画面が表示されない場合は手順④に進んでください。



この画面のボタンの意味は次の通りです。

設定解除 ボタン : ページ連写設定をなしにして [応用メニュー画面] に戻ります。

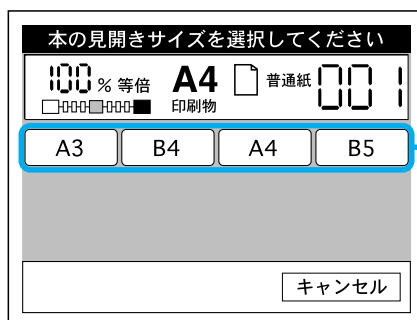
再設定 ボタン : ページ連写設定を行います。
このボタンを押した場合、手順④に進んでください。

戻る ボタン : 現在のページ連写設定のまま、[応用メニュー] 画面に戻ります。

4

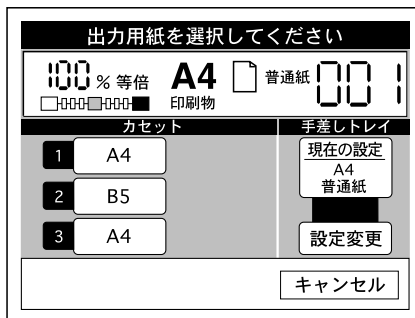
【本の見開きサイズ選択】 画面で、セットする原稿とサイズと向きが一致するボタンを押します。

原稿が本の場合、必ず見開き状態でのサイズを選択してください。



5

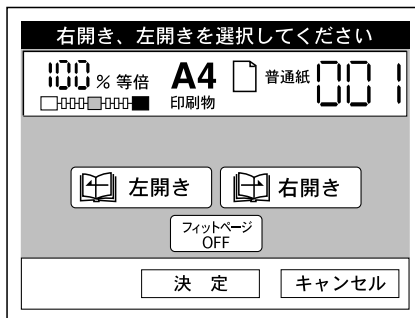
〔出力用紙選択〕画面で、出力したい用紙サイズのボタンを押します。



6

〔右開き、左開き選択〕画面で、原稿としてセットしている本に合わせて左開きか右開きかを選択します。

また、必要に応じて〔フィットページ〕も設定します。



この画面のボタンの意味は次の通りです。

左開き ボタン /

右開き ボタン

：原稿としてセットしている本が右開きか、左開きかに合わせて、どちらかのボタンを押します。

右開きの本と左開きの本とでは、見開き状態でのページの順番が逆になるため、セットしている本に合わせて正しく選択してください。このボタンを押すと、下部に**決定** ボタンが表示されます。

フィットページ ボタン

：ボタンを押す度に、ON/OFF が切り替わります。フィットページ ON に設定すると、原稿全体がコピーされるよう、原稿サイズ→出力用紙サイズの倍率より少し縮小されてコピーが行われます。原稿全体（端から端まで）をコピーしたい場合に ON にします。

7

【ページ連写設定】画面の設定が終わったら、**決定** ボタンを押して【応用メニュー】画面に戻ります。

【ページ連写設定】画面での設定を無効にしたい場合は **キャンセル** ボタンを押して【応用メニュー】画面に戻ります。

8

【応用メニュー】画面で **戻る** ボタンを押して、【コピー基本】画面に戻ります。

ブック影消し設定

ブック影消しコピーについて

ブック影消しコピーは、原稿の中央や周囲に、読み込まない範囲を設定してコピーする機能です。

厚い本などを見開き状態でコピーすると、左右のページの中央に影が生じたり、開いたページの周囲に他のページの影が生じた状態でコピーされる場合があります。

このような影が生じないように、原稿の中央や周囲の一定範囲をコピーしないように設定する機能です。

見開き状態の本等をコピーする場合、見開きページの中央や周囲のどの範囲に影が生じるかは、原稿とする本や、開くページによって異なります。

また、ブック影消しは、原稿の中央と周囲をコピーしないように設定する機能のため、影消しの範囲を大きく設定すると、コピーされない箇所が生じる場合があります。

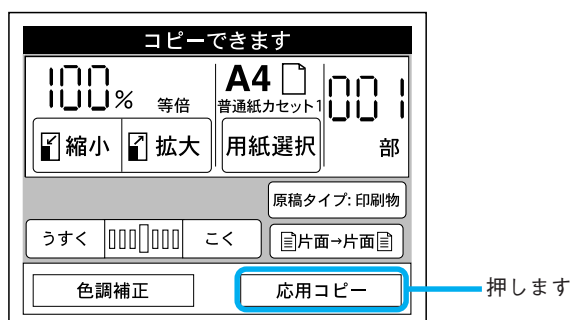
ブック影消し機能を使用する場合は、少しずつ設定値を変更して、影が生じず、コピーしたい箇所が消えない値を探してください。

ブック影消し設定の仕方

1

コピー基本画面で **応用コピー** ボタンを押します。

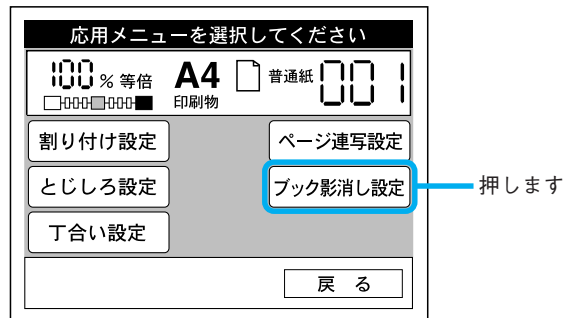
応用コピーの設定が行われている場合、ボタンの表示は「応用コピーあり 詳細表示」となります。



2

応用メニュー画面で **ブック影消し設定** ボタンを押します。

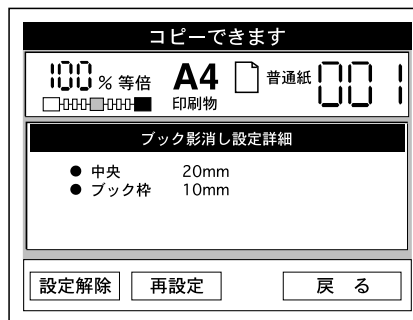
ブック影消し設定が行われている場合、ボタンの表示は「ブック影消し設定あり」となります。



3

ブック影消し設定が行われている場合、次の画面が表示され、現在のブック影消し設定を確認できます。

ブック影消し設定が行われていない場合、この画面は表示されません。この画面が表示されない場合は手順④に進んでください。



この画面のボタンの意味は次の通りです。

設定解除 ボタン : ブック影消し設定をなしにして「応用メニュー画面」に戻ります。

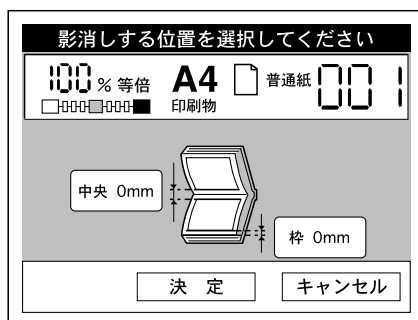
再設定 ボタン : ブック影消し設定を行います。
このボタンを押した場合、手順④に進んでください。

戻る ボタン : 現在のブック影消し設定のまま、「応用メニュー」画面に戻ります。

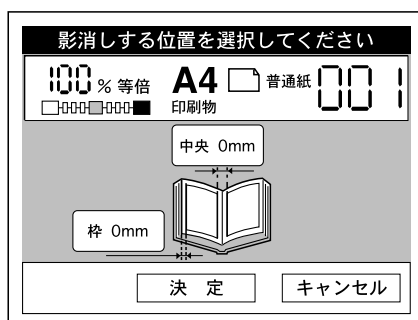
〔影消し位置選択〕画面で、**中央** ボタン、または **枠** ボタンを押します。

表示される〔影消し位置選択〕画面は、原稿の向きによって異なります。

●原稿が縦長の場合



●原稿が横長の場合



この画面のボタンの意味は次の通りです。

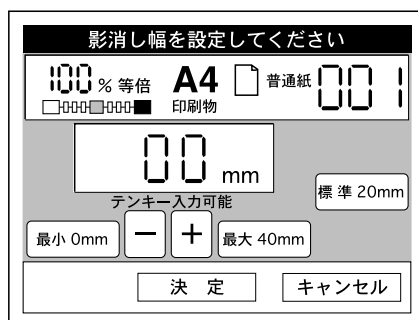
- 中央** ボタン : このボタンを押すと〔影消し幅設定〕画面が表示され、原稿の中央に設定する影消し範囲の幅が設定できます。
- 枠** ボタン : このボタンを押すと〔影消し幅設定〕画面が表示され、原稿の周囲に設定する影消し範囲の幅が設定できます。
- 決定** ボタン : 現在表示されている影消し位置と影消し幅の設定を有効にして、応用メニューに戻ります。
- キャンセル** ボタン : 現在の設定を無効にして、〔応用メニュー〕画面に戻ります。

5

【影消し幅設定】画面で、影消し範囲（コピーしない範囲）の値を設定します。

手順④で **中央** ボタンを押した場合は、原稿の中央に対してコピーしない範囲が設定されます。

手順④で **枠** ボタンを押した場合は、原稿の周囲に対してコピーしない範囲が設定されます。



影消し幅の値は、操作パネルのテンキーで入力します。

また、画面のボタンでも設定できます。

この画面のボタンの意味は次の通りです。

- 最小 0mm** ボタン : 影消し幅を最小の 0mm に設定します。
- 最大 40mm** ボタン : 影消し幅を最大の 40mm に設定します。
- 標準 20mm** ボタン : 影消し幅を標準の 20mm に設定します。
- −** ボタン : 影消し幅の値を小さくします。ボタンを押し続けると、値が素早く変わります。
- +** ボタン : 影消し幅の値を大きくします。ボタンを押し続けると、値が素早く変わります。

6

【影消し幅設定】画面の設定が終わったら、**決定** ボタンを押して【影消し位置選択】画面に戻ります。

【影消し幅設定】画面での設定を無効にしたい場合は **キャンセル** ボタンを押して【影消し位置選択】画面に戻ります。

7

原稿の中央と、原稿の周囲の両方に対して影消し範囲を設定する場合は、手順④～手順⑥を繰り返して設定を行います。

8

〔影消し位置選択〕画面で **決定** ボタンを押すと、設定した値が有効になり、〔応用メニュー〕画面に戻ります。

〔影消し位置選択〕画面で **キャンセル** ボタンを押すと、設定した値が無効になり、〔応用メニュー〕画面に戻ります。

9

〔応用メニュー〕画面で **戻る** ボタンを押して、〔コピー基本〕画面に戻ります。

管理者モードの設定

操作パネルの **管理者モード** スイッチを押すと、液晶ディスプレイの表示がステータス表示画面に変わり、コピーシステムの基本的な設定を確認 / 変更できます。

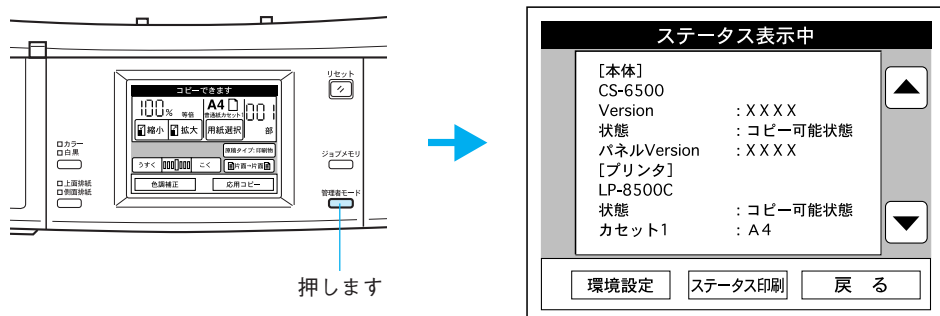
本章は、コピーシステムの管理者の方がお読みください。

- **管理者モード** スイッチと [ステータス表示] 画面 P.88
- ステータスの確認 P.89
- ステータスの印刷 P.90
- [環境設定] 画面 P.91

管理者モード スイッチと [ステータス表示] 画面

コピーユニットが、コピー処理の実行中でないことを確認して、**管理者モード** ボタンを押します。

管理者モード ボタンを押すと、次の [ステータス表示] 画面が表示されます。



コピー処理の実行中は、**管理者モード** ボタンは無効です。

[ステータス表示] 画面が表示された後、何もボタンを押さない状態が約 30 秒続くと、自動的に [コピー基本] 画面に戻ります。

[ステータス表示] 画面の構成は次の通りです。

ステータス表示部 : 本体（コピーユニット）、プリンタ、スキャナの現在のステータスが表示されます。

▲ ▼ ボタン : ステータス表示部の表示を上下にスクロールします。

環境設定 ボタン : コピーユニットの基本的な環境設定を確認 / 変更する場合に押します。

本ボタンを押すと、[環境設定] 画面が表示され、次の設定を確認 / 変更できるようになります。

☞「[環境設定] 画面」91 ページ

ステータス印刷 ボタン : [ステータス表示] 画面に表示される内容を、プリンタで印刷する場合に押します。

戻る ボタン : [コピー基本] 画面に戻る場合に押します。

ステータスの確認

管理者モード ボタンを押すと、次の「ステータス表示」画面が表示されます。この画面では、本体（コピーユニット）、プリンタ、スキャナの各ステータスが表示されます。

画面右の ▲ ボタン、 ▼ ボタンを押すことで、表示を上下にスクロールできます。

ステータス表示中

[本体]
CS-6500
Version : X X X X
状態 : コピー可能状態
パネルVersion : X X X X

[プリンタ]
LP-8500C
状態 : コピー可能状態
カセット1 : A4

▲

▼

環境設定

ステータス印刷

戻る

ステータスの印刷

〔ステータス表示〕画面で **ステータス印刷** ボタンを押すと、〔ステータス表示〕画面に表示される内容を、プリンタで印刷できます。

[環境設定] 画面

[ステータス表示] 画面で **環境設定** ボタンを押すと、次の [環境設定] 画面が表示され、CS-6500 の基本的な設定を変更できます。

設定項目を選択してください	
キータッチ音 ON OFF	コピージョブ標準値設定
スタンバイ制御 ON OFF	カラーキャリブレーション調整
自動給紙 ON OFF	コピーユニット工場出荷時設定に戻す
戻る	

キータッチ音

操作パネルのキーを押した際のブザー音を、鳴らす/鳴らさないを設定します。
[ON] を押す : キータッチ音を鳴らします。(工場出荷時設定)
[OFF] を押す : キータッチ音を鳴らしません。

スタンバイ制御

コピーユニットのスタンバイ制御を有効にするか/無効にするかを設定します。
[ON] を押す : スタンバイ制御機能を有効にします。(工場出荷時設定)
[OFF] を押す : スタンバイ制御機能を無効にします。

スタンバイ制御機能

スタンバイ制御機能は、コピーユニットの節電制御機能です。

操作パネル正面に内蔵されているセンサーで、操作パネルの正面に人が近づくと、それをキャッチしてプリンタの節電状態を解除し、プリンタのウォーミングアップ時間を短くします。

スタンバイ制御機能は、プリンタ本体側の節電機能が有効になっている場合のみ機能します。

自動給紙

自動給紙機能は、はじめに選択した用紙サイズの用紙がセットされている給紙装置を、カセット 1→カセット 2→カセット 3→用紙トレイの順に捜し、用紙がなくなると、次の給紙装置に切り替えてコピーを続行する機能です。

自動給紙機能は、工場出荷時は無効に設定されています。

[ON] を押す : 自動給紙を有効にします。

[OFF] を押す : 自動給紙を無効にします。(工場出荷時設定)

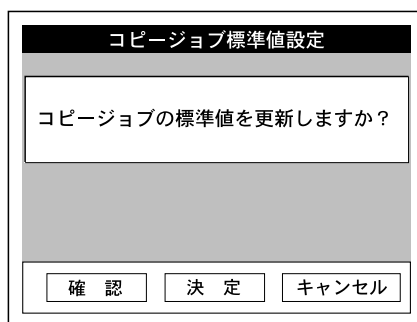
コピージョブ標準値設定

コピージョブ標準値とは、コピーユニットの電源をオンにしたときに自動的に選択される、コピー関係の各種設定の値です。

本製品をはじめて接続し、電源をオンにした時点では、コピージョブ標準値は出荷時設定値と同じになっています。

コピージョブ標準値を変更するには、はじめに、各種設定を行い、標準値としたい値にします。続いて、**管理者モード** ボタンを押して、[ステータス] 画面で **コピージョブ標準値設定** ボタンを押してください。

コピージョブ標準値設定 ボタンを押すと、[コピージョブ標準値設定] 画面が表示されます。



この画面で **決定** ボタンを押すと、現在のコピー設定がコピージョブ標準値として登録され、登録後から、登録したコピー設定で起動ようになります。この画面で **確認** ボタンを押すと、現在コピージョブ標準値として登録されているコピー設定を確認できます。

カラーキャリブレーション調整

原稿とコピー結果の色が合わない場合は、キャリブレーション調整を行ってください。キャリブレーション調整とは、スキャナの入力特性およびプリンタの印刷特性に合わせた補正（キャリブレーション）のためのデータを作成する機能です。原稿により近い色合いで印刷できるようになります。



ポイント

キャリブレーション調整では、まず調整用のカラーパターンを印刷します。カラーパターン印刷用の用紙は、カラーレーザープリンタ用の A4 サイズの上質普通紙（型番：LPCPPA4）をお使いください。他の用紙ではキャリブレーションが正確に行われず、かえって色が合わなくなる場合があります。

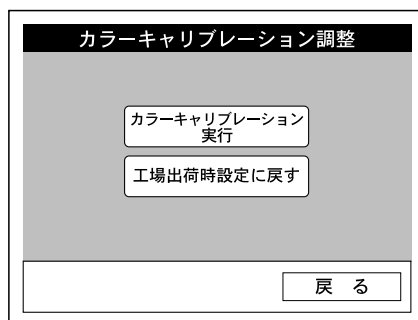
1

操作パネルの **管理者モード** スイッチを押して表示される [ステータス表示] 画面で、**環境設定** ボタンを押します。



2

「環境設定」画面で、**カラーキャリブレーション調整** ボタンを押します。次の画面が表示されます。



カラーキャリブレーション実行 ボタン：

キャリブレーションを行う場合、本ボタンを押して次の手順に進みます。

工場出荷時設定に戻す ボタン：

キャリブレーションの設定を、工場出荷時と同じ設定に戻したい場合、本ボタンを押します。

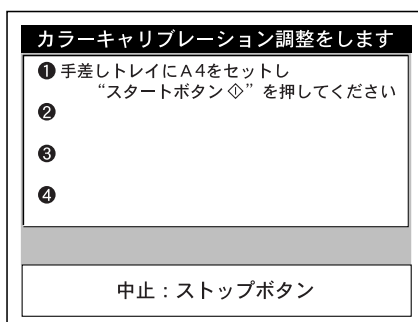
本ボタンを押すと、「カラーキャリブレーション情報を工場出荷時の設定に戻しますか？」と表示されますので、**決定** ボタンまたは **キャンセル** ボタンを押します。

戻る ボタン：

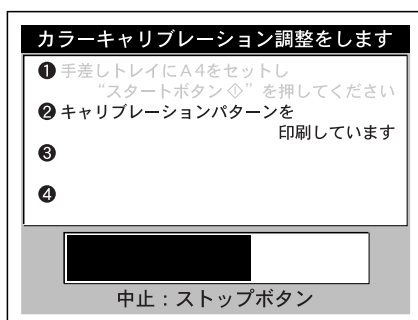
キャリブレーションを行わない場合、本ボタンを押します。

3

次の画面が表示されたら、①プリンタの用紙トレイに A4 サイズの上質普通紙（型番：LPCPPA4）をセットし、② **スタート** ボタンを押します。

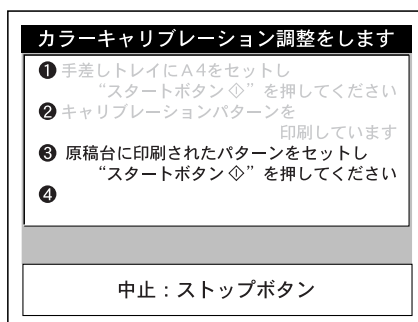


キャリブレーション用のカラーパターンが印刷されます。

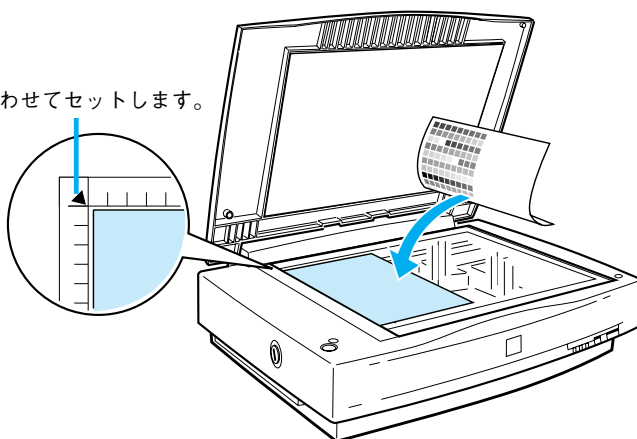


4

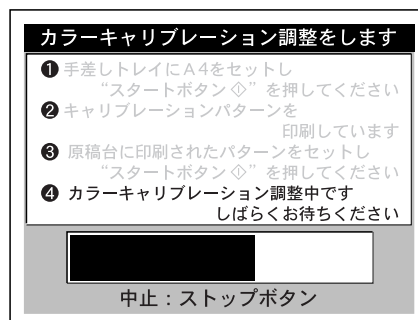
次の画面が表示されたら、印刷されたカラーパターンをスキャナに図の向きでセットし、**スタート** ボタンを押します。



原点に合わせてセットします。



スキャナの入力特性およびプリンタの印刷特性に合わせた補正（キャリブレーション）のためのデータが作成されます。

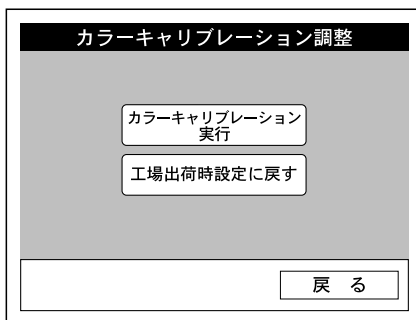


5

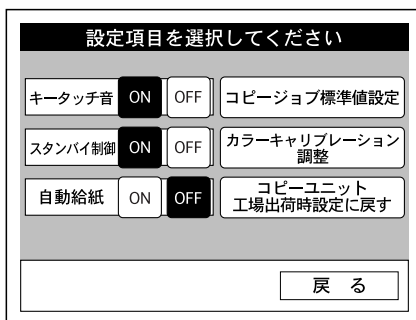
再び、手順③の画面が表示されます。手順③、④を再度行います。

手順③、④の作業を2回繰り返すと、調整が終了します。

キャリブレーション調整が終了すると、次の画面が表示されます。**戻る** ボタンを押してキャリブレーション調整を終了してください。



コピーユニット工場出荷時設定に戻す



コピーユニットのすべての設定値を、工場出荷時設定に戻します。

コピーに関するすべての設定値が工場出荷時の状態に戻る他、カラーキャリブレーション調整の結果や、**メモリ** ボタンに登録したコピージョブ設定等もすべて削除されるため、注意してください。

(空白のページ)

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明しています。

- 故障かな？と思ったら P.100
- エラーメッセージ一覧 P.101
- スキャナの ADF で原稿が詰まったときは P.113
- プリンタで用紙が詰まったときは P.115
- プリンタが正常に給紙 / 排紙をしない原因 P.128
- コピー品質上のトラブル P.130
- 消耗品の交換 P.137
- サポートのご案内 P.138

故障かな？と思ったら

現在の症状がどれにあてはまるかを次の中から選び、それぞれの参照先をご覧ください。

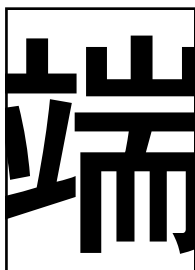
コピー時のトラブル（エラー発生）

プリンタエラー発生 用紙なし

コピー時にエラーが発生した場合の対処方法を説明しています。

 次ページ

コピー品質上のトラブル



端の部分がコピーされない、コピー品質が良くないなどのトラブルの対処方法を説明しています。

 130 ページ



ポイント

本文や表中に、LP-8500Cユーザーズガイドの参照箇所を記載している場合があります。

お使いのプリンタがLP-8300Cの場合、LP-8300Cに同梱のユーザーズガイドの同じ箇所を参照してください。

エラーメッセージ一覧

コピー中に何らかの問題が発生した場合、CS-6500 の操作パネルにエラーメッセージが表示されます。このときは、次のように対処してください。

プリンタ側のエラー

プリンタ側のエラーについては、操作パネル上と、プリンタ本体のパネルに同時に表示されます。パネルに表示されるメッセージには、次の種類があります。

- ワーニングメッセージ : 何らかの注意または警告を表示します。
- エラーメッセージ : トラブルの発生を表示します。
- サービスコールエラーメッセージ : エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生したときに表示します。

プリンタパネルに表示される「****トナー」または「****カートリッジ」の「****」の部分には、Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）、K（黒）のいずれかが表示されます。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタワーニング発生 トナーカートリッジ ストップボタンを押してください 処理は続行します	****トナーが スクナクナリマシタ	****に表示されている色の ET カートリッジのトナー残量が 少なくなりました。「****」 に表示されている色のカートリッ ジを新しいET カートリッジに交 換してください。 LP-8500C「ユーザーズガイド (ET カートリッジの交換)」
プリンタワーニング発生 ROM モジュール ストップボタンを押してください 処理は続行します	ROM モジュール X フォーマットエラー	書き込み可能で未フォーマット の ROM モジュールがソケット X に装着されています。 初めて書き込む ROM モジュール の場合： 問題ありません。 書き込み終了後の ROM モジュー ルの場合： ①再度 ROM モジュールへの書き 込みを行います。 ②さらに同じメッセージが表示 された場合は、ROM モジュール が破損している可能性があります ので、プリンタの電源をオフ にしてから ROM モジュールを 取り外してください。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタワーニング発生 メモリ不足 ストップボタンを押してください 処理は続行します	カイゾウドヲ オトシマシタ	メモリ不足により、指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。
プリンタワーニング発生 メモリ不足 ストップボタンを押してください 処理は続行します	メモリノ ゾウセツヲ オススメシマス	印刷処理中にメモリ不足が発生したために、印刷処理が遅くなっている可能性があります。印刷は続行されます。
プリンタワーニング発生 感光体ユニット ストップボタンを押してください 処理は続行します	カンコウタイ ユニット コウカン マヂカ	感光体ユニットの寿命が近づきました。新しい感光体ユニットに交換してください。 ㇿLP-8500C「ユーザーズガイド (感光体ユニットの交換)」
プリンタワーニング発生 廃トナーボックス ストップボタンを押してください 処理は続行します	ハイトナーボック ス コウカン マヂカ	廃トナーボックスの空き容量が少なくなりました。新しい廃トナーボックスに交換してください。 ㇿLP-8500C「ユーザーズガイド (廃トナーボックスの交換)」
プリンタワーニング発生 用紙が正しくありません ストップボタンを押してください 処理は続行します	ヨウシサイズエラー	給紙した用紙のサイズと設定されている用紙サイズが異なります。印刷は続行されます。
プリンタワーニング発生 用紙が正しくありません ストップボタンを押してください 処理は続行します	ヨウシタイプエラー	印刷時に指定した用紙サイズと用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙します。印刷は続行されます。
プリンタワーニング発生 用紙が正しくありません ストップボタンを押してください 処理は続行します	ハイシグチ シテイエラー	指定した排紙装置に排紙できない用紙です。印刷は続行され、フェイスアップトレイに排紙されます。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタワーニング発生 部数指定できませんでした ストップボタンを押してください 処理は続行します	ブスウシテイ デキマセンデシタ	指定した部数の印刷データを扱うためのメモリまたはハードディスクの容量がたりません。 ストップ ボタンを押すと、読み取ったページまで丁合いコピーします。
プリンタワーニング発生 プリフィードエラー ストップボタンを押してください 処理は続行します	プリフィード エラー	プリンタが給紙を始めましたが、印刷データがエンジンの設定時間に用意できなかったため、強制排紙（白紙印刷）しました。
プリンタワーニング発生 電池交換 ストップボタンを押してください 処理は続行します	デンチ コウカン	プリンタに内蔵されている時計の電池がなくなりました。プリンタは使用できますが、ジョブ管理用の日時が記録できません。プリンタを購入した販売店または保守サービス実施店にご連絡いただき、電池を交換してください。 ストップ ボタンを押すと処理を続行します。
プリンタエラー発生 オーバーランエラー プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ページエラー オーバーラン	印刷内容が複雑なため、プリンタの処理が追いつきません。プリンタの エラー解除 スイッチを押すと処理を続行します。
プリンタエラー発生 メモリ不足 プリンタのエラー解除 後ストップボタンを押してください	メモリオーバー メモリガタリマセン	処理中にメモリ不足が発生して印刷が続行できません。プリンタの エラー解除 スイッチを押して、操作パネルの ストップ ボタンを押してください。処理を中止します。
プリンタエラー発生 カバーオープン プリンタのエラー解除 後処理は続行します	マエ カバーガ アイテイマス	プリンタの前カバーが開いています。カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。
プリンタエラー発生 ROM モジュール システムの電源を再投入してください	ROM モジュール X リードエラー	プリンタに使用できないROM モジュールが装着されています。プリンタの電源をオフにした後、そのROM モジュールを取り外してください。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 ROM モジュール プリンタのエラー解除 後ストップボタンを押してください	ROM モジュール A カキコミエラー	ROM モジュールに書き込みできませんでした。 ① ストップ ボタンを押して処理を中止します。 ② プリンタに装着されている ROM モジュールを確認してください。
プリンタエラー発生 紙ジャム A プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ジャム A	プリンタ内部の排紙部付近で用紙が詰まりました。 詰まっている用紙を取り除いてください（115 ページ参照）。自動的にエラーを解除して処理を続行します。
プリンタエラー発生 紙ジャム B プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ジャム B	プリンタ内部（給紙口以外）で用紙が詰まりました。詰まっている用紙を取り除いてください（115 ページ参照）。自動的にエラーを解除して処理を続行します。
プリンタエラー発生 紙ジャム C/ 紙ジャム D/ 紙ジャム E プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ジャム C	プリンタの給紙口や紙送りユニットで用紙が詰まりました。詰まっている用紙を取り除いてください（115 ページ参照）。自動的にエラーを解除して処理を続行します。
	ジャム D	
	ジャム E	
プリンタエラー発生 紙ジャム F プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ジャム F	プリンタのカバー F（左カバー）内部で紙詰まりが発生しました。詰まっている用紙を取り除いてください（115 ページ参照）。自動的にエラーを解除して処理を続行します。
プリンタエラー発生 紙ジャム G プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ジャム G	プリンタのユニット G（両面トレイユニット）で紙詰まりが発生しました。詰まっている用紙を取り除いてください（115 ページ参照）。自動的にエラーを解除して処理を続行します。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 用紙なし プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ヨウシナシ xxxx yyyy	(1) 用紙がセットされていない、または (2) 用紙カセットがセットされていません。 (1) 給紙装置 xxxx にサイズ yyyy の用紙をセットすると自動的にエラーを解除して印刷を行います。 (2) 用紙カセットをプリンタにセットしてください。自動的にエラーを解除して処理を続行します。
プリンタエラー発生 用紙が正しくありません プリンタのエラー解除 後処理は続行します	xxxxx ラ ヨコナガニ イレテクダサイ	給紙方向に対して横長にセットしなくてはならない用紙が縦長にセットされています。 用紙を横長にセットすると、処理を続行します。
プリンタエラー発生 用紙が正しくありません プリンタのエラー解除 後処理は続行します	OHP シートガ タダ シクアリマセン	(1) OHP シートのセット方向が間違っている、または (2) 指定外の OHP シートがセットされています。 (1) 給紙口に詰まっている OHP シートを取り除き、正しい向きで用紙トレイにセットし直してください。一旦紙送りユニットを開閉してエラーを解除すると、処理を続行します。 (2) 指定の OHP シートをセットしてください。
プリンタエラー発生 オプション I/F エラー システムの電源を再投入してください	I/F カードエラー	使用できないインターフェイスカードがプリンタにセットされています。 プリンタの電源をオフにして、インターフェイスカードを取り外し、電源をオンにします。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 感光体ユニット システムの電源を再投入してください	カンコウタイユニットガ アリマセン	(1) 感光体ユニットがセットされていない、または (2) 感光体ユニットが正しくセットされていません。 プリンタの電源をオフにして、感光体ユニットを正しくセットし、電源をオンにします。
プリンタエラー発生 廃トナーボックス プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ハイトナーボックスガ アリマセン	廃トナーボックスがセットされていません。 ① 廃トナーボックスをセットします。 ② プリンタの前カバーを閉じると自動的にエラーを解除して処理を続行します。
プリンタエラー発生 カバー A オープン プリンタのエラー解除 後処理は続行します	カバー A ガ アイティマス	プリンタ左側のカバー A (排紙カバー) が開いています。または確実に閉じていません。 カバー A を確実に閉じると自動的にエラーを解除して処理を続行します (115 ページ参照)。
プリンタエラー発生 ユニット B オープン プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ユニット B ガ アイティマス	プリンタ左側のユニット B (定着ユニット) が引き出されています。または確実に閉じていません。 ユニット B を確実に閉じると自動的にエラーを解除して処理を続行します (115 ページ参照)。
プリンタエラー発生 ユニット C オープン プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ユニット C ガ アイティマス	プリンタ右側のユニット C (紙送りユニット) が引き出されています。または確実に閉じていません。 ユニット C を確実に閉じると自動的にエラーを解除して処理を続行します (115 ページ参照)。
プリンタエラー発生 カバー D オープン プリンタのエラー解除 後処理は続行します	カバー D ガ アイティマス	プリンタ右側のカバー D (本体右側給紙カバー) が開いています。または確実に閉じていません。 カバー D を確実に閉じると自動的にエラーを解除して処理を続行します (115 ページ参照)。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 カバー E オープン プリンタのエラー解除 後処理は続行します	カバー E ガ アイテ イマス	プリンタ用オプションの増設カ セットユニット右側のカバー E (給紙カバー) が開いています。 または確実に閉じていません。 カバー E を確実に閉じると自動 的にエラーを解除して処理を続 行します (115 ページ参照)。
プリンタエラー発生 カバー F オープン プリンタのエラー解除 後処理は続行します	カバー F ガ アイテ イマス	プリンタ用オプションの両面印 刷ユニット左側のカバー F (下反 転ユニット) が開いています。 または確実に閉じていません。 カバー F を確実に閉じると自動 的にエラーを解除して処理を続 行します (115 ページ参照)。
プリンタエラー発生 ユニット G オープン プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ユニット G ガ アイ ティマス	プリンタ用オプションの両面印 刷ユニット前面のユニット G (水平搬送ユニット) が引き出さ れています。または確実に閉じ ていません。 ユニット G を確実に閉じると自 動的にエラーを解除して処理を 続行します (115 ページ参照)。
プリンタエラー発生 感光体ユニット システムの電源を再投 入してください	カンコウタイユ ニット コウカン	感光体ユニットの寿命です。新 しい感光体ユニットに交換して ください。 ㊦ LP-8500C 「ユーザーズガイド (感光体ユニットの交換)」
プリンタエラー発生 廃トナーボックス プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ハイトナーボックス コウカン	廃トナーボックスの空き容量がな くなりました。新しい廃トナー ボックスに交換してください。 ㊦ LP-8500C 「ユーザーズガイド (廃トナーボックスの交換)」
プリンタエラー発生 濃度エラー システムの電源を再投 入してください	ノウド エラー イン サツ フカノウ	印刷色が異常に濃い値に設定さ れた印刷データが送られました。 ① 給紙口に詰まっている用紙を取 り除きます (115 ページ参照)。 ② プリンタの電源を入れ直します。

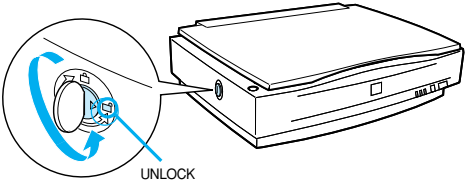
操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 感光体ユニット システムの電源を再投入してください	カンコウタイガ タ ダシクアリマセン	使用できない感光体ユニットが セットされています。 正しい感光体ユニットをセットします。 ㊦LP-8500C「ユーザーズガイド (感光体ユニットの交換)」
プリンタエラー発生 感光体ユニット システムの電源を再投入してください	カンコウタイガ コ ショウデス	感光体ユニットが故障しています。 使用可能な感光体ユニットを セットします。 ㊦LP-8500C「ユーザーズガイド (感光体ユニットの交換)」
プリンタエラー発生 トナーカートリッジ プリンタのエラー解除 後処理は続行します	****カートリッ ジガ アリマセン	****に表示されている色の ET カートリッジがセットされて いません。 表示されている色のカートリッ ジをセットして前カバーを閉じ ると、自動的にエラーを解除し て処理を続行します。
プリンタエラー発生 トナーカートリッジ プリンタのエラー解除 後処理は続行します	****カート リッジ コウカン	****に表示されている色の ET カートリッジが空になりました。 表示されている色のカートリッ ジを交換して前カバーを閉じると、 自動的にエラーを解除して処理を 続行します。
プリンタエラー発生 用紙が正しくありません プリンタのエラー解除 後ストップボタンを押 してください	ヨウシコウカン XXXX YYYYY	印刷時に指定した給紙装置に セットされている用紙のサイズ が正しくありません。 給紙装置 XXXX に、YYYY のサイ ズの用紙をセットしてください。
プリンタエラー発生 HDD エラー システムの電源を再投入してください	HDD エラー	プリンタの電源をオフにした後、 プリンタオプションのハード ディスクユニットが正しく装着 されているか確認してください。 エラーの表示が消えない場合は、 お買い上げの販売店または保守 サービス実施店にご連絡ください。
プリンタエラー発生 両面印刷できません プリンタのエラー解除 後ストップボタンを押 してください	リョウメンインサ ツ デキマセン	用紙のサイズまたはタイプが、 両面印刷不可能な設定のため、 両面印刷の実行を中止します。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 メモリ不足 プリンタのエラー解除 後ストップボタンを押 してください	リヨウメンインサ ツ メモリガタリ マセン	両面印刷の印刷データを扱うた めのメモリが足りないため、裏 面側が印刷できません。 表面側のみ印刷して排紙します。
プリンタエラー発生 用紙が正しくありません プリンタのエラー解除 後処理は続行します	リヨウメン ヨウ シサイズ エラー	用紙のサイズが、両面印刷不可 な設定のため、裏面側が印刷で きません。 表面側のみ印刷して排紙します。
プリンタエラー発生 通信エラー プリンタのエラー解除 後ストップボタンを押 してください		①CS-6500 とプリンタが正しく ケーブルで接続されているか 確認してください。☞セット アップガイド 48 ページ ②確認したら、 ストップ ボタ ンを押してください。 ③再度コピー操作を行ってくだ さい。
プリンタエラー発生 オフライン プリンタのエラー解除 後処理は続行します		プリンタの 印刷可 スイッチを押 してください。
プリンタ使用中 処理は続行します		プリンタが、パソコンで使用さ れています（印刷動作中）。
プリンタエラー発生 フェータルエラー システムの電源を再投 入してください		①プリンタの電源を一度オフに し、再度オンにします。 ②正常に復帰したら、再度コ ピー操作を行ってください。 正常に復帰しない場合は、プリン タの故障が考えられます。お買い 求めいただいた販売店または、お 近くのフィールドセンターにご相 談ください。フィールドセンター の連絡先は裏表紙にあります。
プリンタエラー発生 モデルエラー バージョンが異なりま す（または モデル 名が異なります） プリンタのエラー解除 後ストップボタンを押 してください		本機に接続してカラーコピーで きるのは LP-8500C/8300C のみ です。それ以外のプリンタは使 用できません。 LP-8500C/8300C を接続してい てもこのエラーが発生した場合 は、 再確認 ボタンを押してくだ さい。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 プリンタリセット プリンタのエラー解除 後ストップボタンを押してください		プリンタがリセットされるのを待って、 ストップ ボタンを押して、処理を中止してください。
プリンタエラー発生 サービスコールエラー システムの電源を再投入してください	サービスヘ レンラクシテクダ サイ XXXX	プリンタにエラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しているか、または定期交換部品の寿命が尽きています。プリンタは自動的に印刷を停止します。 LP-8500C ユーザーズガイド 「困ったときは（サービスコールエラー発生時の対処）」を参照して対処してください。

スキャナ側のエラー

エラーメッセージ	対処
スキャナエラー発生 紙ジャム スキャナのエラー解除 後ストップボタンを押してください	① スキャナの ADF に詰まった紙を取り除きます（113 ページ参照）。 ② 詰まった紙を取り除いたら、 ストップ ボタンを押してください。 ③ 再度コピー操作を行ってください。
スキャナエラー発生 カバーオープン スキャナのエラー解除 後ストップボタンを押してください	① スキャナの ADF をしっかり閉じてください。 ② ADF を閉じたら、 ストップ ボタンを押してください。 ③ 再度コピー操作を行ってください。
スキャナエラー発生 通信エラー スキャナのエラー解除 後ストップボタンを押してください	① スキャナの電源がオンになっているか、またはプリンタとスキャナがスキャナ用ケーブルで接続されているか確認してください。 ② 確認後、 ストップ ボタンを押してください。 ③ 再度コピー操作を行ってください。
スキャナエラー発生 モデルエラー バージョンが異なります（またはモデル名が異なります） スキャナのエラー解除 後ストップボタンを押してください	本機に接続してカラーコピーできるのは、ES-6000H、ES-8500のいずれかです。それ以外のスキャナは使用できません。これらのスキャナを接続していてもこのエラーが発生した場合は、 再確認 ボタンを押してください。

エラーメッセージ	対処
スキャナエラー発生 通信エラー スキャナが接続されて おりません	次のことを確認してください。 ① スキャナの電源がオンになっているか オンになっていない場合は、オンにした後、再確認 ボタンを押してください。 ② プリンタとスキャナがスキャナ用ケーブルで接続されているか 接続されていない場合は、接続した後、再確認 ボタンを押してください。 ③ スキャナの輸送用固定ノブが UNLOCK の状態になっているか LOCK の状態になっていた場合は、スキャナの電源をオフにしてから、ノブを UNLOCK の位置に戻してください。その後スキャナの電源をオンにし、再確認 ボタンを押してください。 
スキャナエラー発生 フェータルエラー スキャナのエラー解除 後ストップボタンを押 してください。	① スキャナの電源を一度オフにし、再度オンにします。 ② 正常に復帰したら、ストップ ボタンを押してください。 ③ 再度コピー操作を行ってください。正常に復帰しない場合は、スキャナの故障が考えられます。お問い合わせいただいた販売店または、お近くのフィールドセンターにご相談ください。フィールドセンターの連絡先は裏表紙にあります。
スキャナエラー発生 ADF エラー スキャナのエラー解 除後ストップボタン を押してください。	
スキャナエラー発生 用紙が正しくありません。 スキャナのエラー解除 後ストップボタンを押 してください。	スキャナの ADF にセットしている用紙の向き、または用紙のサイズが正しくありません。 用紙を確認して正しくセットしてください。
スキャナ使用中 ストップボタンを押 してください。	スキャナがパソコンで使用されています（読み取り動作中）。 ストップ ボタンを押して、処理を中止してください。

CS-6500 本体のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処
キャリブレーションエラー発生 キャリブレーション失敗 ストップボタンを押してください	キャリブレーション調整中に問題が発生しました。 [ストップ] ボタンを押すと「カラーキャリブレーション調整」画面に戻りますので、[カラーキャリブレーション実行] ボタンを押して、再度キャリブレーション調整を行ってください。
キャリブレーションエラー発生 キャリブレーション失敗 エラー解除後ストップボタンを押してください	
キャリブレーションエラー発生 原稿が曲がっております 原稿を正しく設定して ストップボタンを押してください 処理は続行します	キャリブレーション調整のための原稿（カラーパターン）が正しくセットされていません。 ① スキャナのカバーを開け、原稿（カラーパターン）を正しくセットし直します。 ② [ストップ] ボタンを押すと、処理を再開します。
キャリブレーションエラー発生 原稿位置不正 原稿を正しく設定してストップボタンを押してください 処理は続行します	
キャリブレーションエラー発生 キャリブレーション失敗 ストップボタンを押してください 処理は続行します	
システムエラー発生 原稿が異常です ストップボタンを押してください	コピーシステムで使用できない原稿がセットされている可能性があります。 [ストップ] ボタンを押した後、セットした原稿を確認してください。
システムエラー発生 内部エラー システムの電源を再投入してください	① スキャナ、プリンタの電源をオフにします。 ② 3分ほど待ってから、再度電源をオンにします。 ③ 再度同じメッセージが表示される場合は、CS-6500 本体の故障が考えられます。 お買い求めいただいた販売店または、お近くのフィールドセンターにご相談ください。フィールドセンターの連絡先は裏表紙にあります。
システムエラー発生 フェータルエラー システムの電源を再投入してください	
ワーニング発生 HDD フル ストップボタンを押してください 処理は続行します	丁合いコピー実行時、ハードディスクの空き領域が十分でないため、読み取りを中断しました。[ストップ] ボタンを押すと、読み取ったページまでの丁合い印刷を行います。
システムエラー発生 HDD フル ストップボタンを押してください	丁合いコピー実行時、ハードディスクの空き領域が十分でないため、1ページ分の読み取りができませんでした。[ストップ] ボタンを押すと処理を中止します。

スキヤナのADFで原稿が詰まったときは

スキヤナのADF（オートドキュメントフィーダ。型番ESA3ADF2）で原稿が詰まったときは、次の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

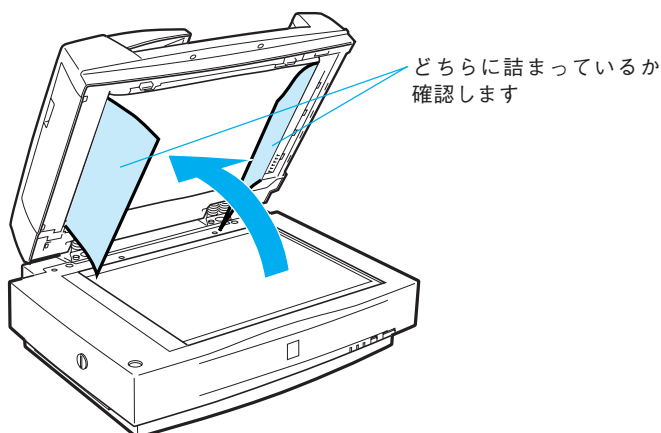


ポイント

ADFで詰まった用紙を取り除く場合、必ずADFのカバーを開けて用紙を取り除いてください。ADFの外側から用紙を引っ張って取り除かないでください。

1

ADFを開け、原稿が詰まっている場所を確認します。

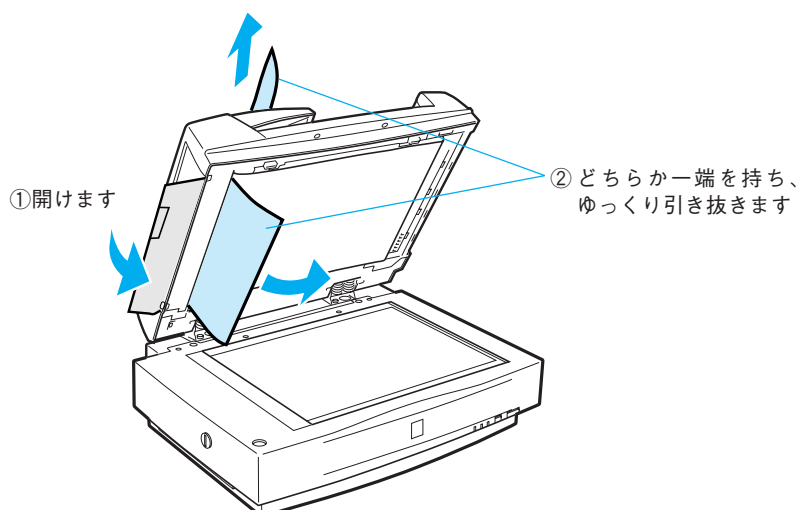


2

詰まっている原稿を取り除きます。

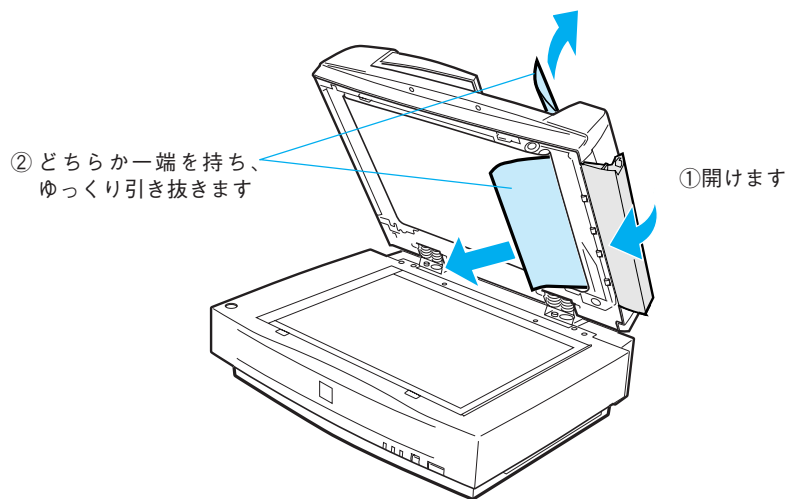
■給紙口で詰まった場合

- ① 図のカバーを開け、原稿を押さえる力を解放します。
- ② 原稿のどちらか一端を持ち、ゆっくり引き抜きます。強く引っ張ると原稿が破れるおそれがありますのでご注意ください。



■排紙口で詰まった場合

- ① 図のカバーを開け、原稿を押さえる力を解放します。
- ② 原稿のどちらか一端を持ち、ゆっくり引き抜きます。強く引っ張ると原稿が破れるおそれがありますのでご注意ください。



3

原稿を取り除いたら、ADFのカバーを閉じてから、ADF本体を閉じて、スキャナ前面の **リセット** ボタンを押してください。

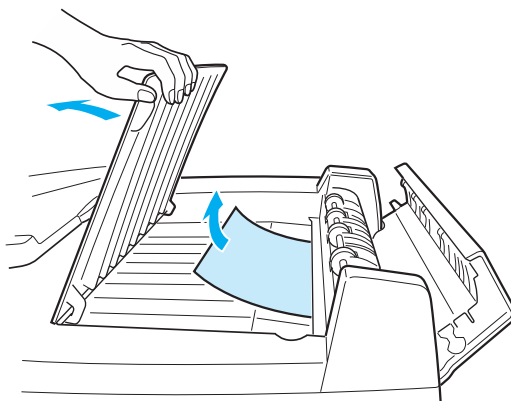


ポイント

ADFで原稿が詰まったときは、原稿のセット方法は正しいか、仕様外用の紙（原稿）を使用していないか確認してください（15 ページ参照）。

原稿が破れてしまった場合

原稿が破れて取り出せなくなった場合は、図のようにADF上面のカバーを開けて、原稿をゆっくり引き抜いてください。



プリンタで用紙が詰まったときは

プリンタで用紙詰まりが発生した場合、操作パネル上に「紙ジャム*」というメッセージが表示されます。

このメッセージの「*」には、用紙詰まりが発生したプリンタのカバーやユニットの番号（A～G）が表示されます。用紙が詰まっている場所を確認し、詰まった用紙を取り除いてください。

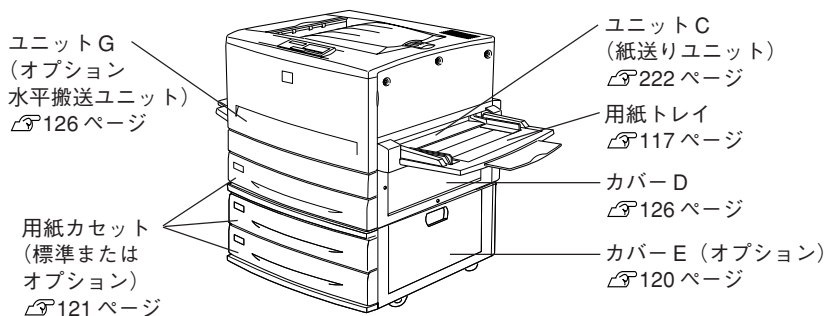
詰まった用紙を取り除き、用紙カセット/カバー/ユニットを閉じると、プリンタは印刷可能な状態に戻り、コピーを自動的に再開します。



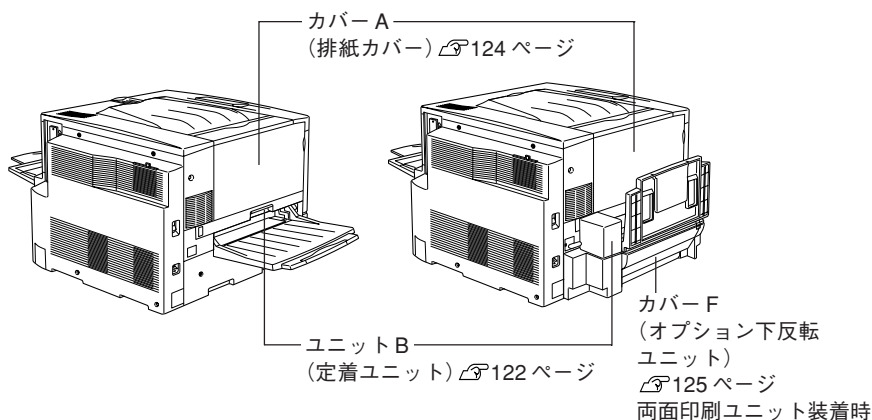
ポイント

- オプションの専用スキャナスタンド（型番：CSCBN7A）を使用している場合は、はじめにプリンタを専用スキャナスタンドから出してください。
- 用紙詰まりが発生した場合、プリンタ側の操作パネルにも「ジャム****」と表示されます。プリンタ側のメッセージでは、「****」の部分に用紙詰まりの発生した場所が最大4つまで表示されます。

ジャム C、D、E、G



ジャム A、B、F



プリンタで用紙が詰まったときは

用紙の取り出しの注意

詰まった用紙を取り除くときは、次の点に注意してください。

- 用紙が破れてプリンタ内部に残らないよう、用紙に無理な力をかけずにゆっくりと引っ張って取り除いてください。
- 用紙を取り除く際に、破れた用紙がプリンタ内部に残ってしまった場合、また本書に記載の方法で取り除くことができない場所に用紙が詰まった場合は、無理に取り除こうとせずに、本機を購入された販売店または保守サービス実施店に連絡してください。
- プリンタ内部には、高温になっている箇所があります。「高温注意」を示すラベルが貼付してあるところには触れないよう注意してください。
- 用紙詰まりのエラー状態は、用紙を取り除いた後、用紙詰まりが発生した箇所のカバーやユニットを開閉することで解除されます。
用紙カセットや用紙トレイから用紙を引き出して取り除いた場合、エラー状態を解除するために、紙送りユニット（カバーDまたはカバーE）を一度開閉してください。
- フェイスアップトレイやフェイスダウントレイから用紙を引っ張って取り除くことはしないでください。
この場合、必ず排紙カバー（カバーA）か定着ユニット（ユニットB）を開けて取り除いてください。

用紙を取り除いてもエラーが解除されない場合は、見えない場所で紙詰まりが発生している可能性がありますので、お買い求めいただいた販売店または保守サービス実施店へご相談ください。



給紙口での用紙詰まり（ジャム C）

用紙トレイの給紙口または紙送りユニットで用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ	ジャム C

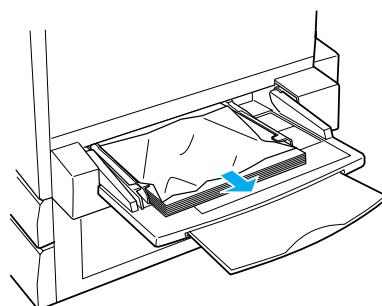
用紙詰まりの箇所を以下の説明の順番通りに調べ、詰まった用紙を探して取り除いてください。

用紙トレイの確認

用紙トレイから給紙した場合は、用紙トレイに用紙が詰まっていないか確認します。

1

詰まっている用紙を、ゆっくり引き抜きます。



2

用紙が残っている場合は、セットし直します。



ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、紙送りユニット C またはカバー D を開閉することで解除されます。

詰まった用紙が見つからない場合は、次へ進んでください。

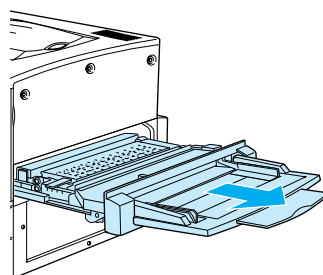
紙送りユニット C の確認

次に、紙送りユニット C 内部を確認します。

1

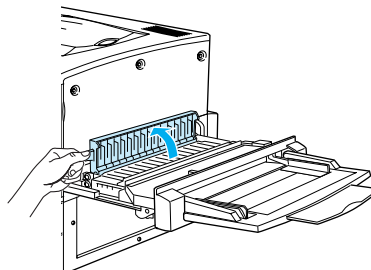
本体右側の紙送りユニット C を、止まるまで引き出します。

詰まっている用紙が破れないように ゆっくり引き出してください。



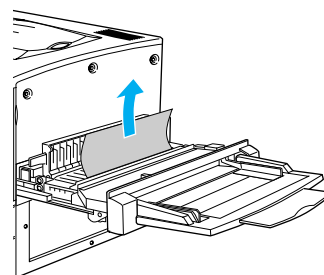
2

内部の取っ手を持ち上げ、カバーを開きます。



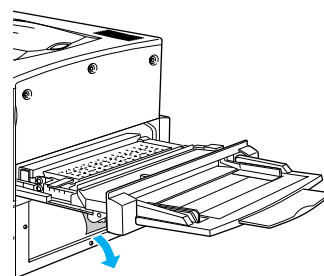
3

詰まっている用紙を矢印の方向にゆっくり引き抜きます。



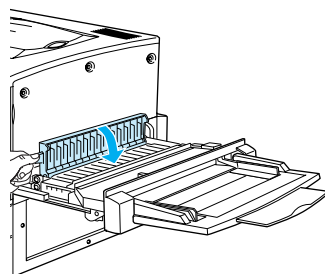
4

紙送りユニット C の裏側を確認して、詰まっている用紙をゆっくり引き抜きます。



5

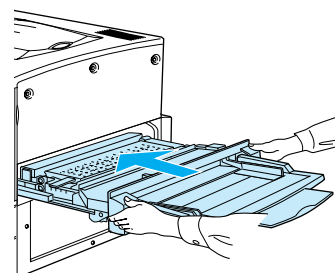
カバーを閉じます。



6

紙送りユニット C を閉じます。

プリンタの右側面に向けてまっすぐに押し、しっかりと閉じてください。



ポイント

- 紙送りユニットをしっかりと閉じていないと、操作パネルに「ユニット C ガイティマス」とメッセージが表示されます。紙送りユニットを確認してしっかりと閉じてください。
- 用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、紙送りユニットを閉じることで解除されます。

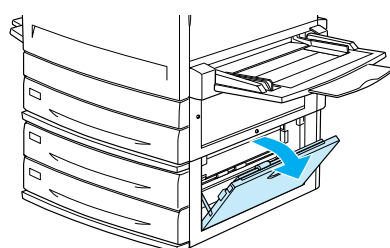
プリンタで用紙が詰まったときは

カバー E の確認 (ジャム E) (オプションの増設カセットユニット装着時)

オプションの増設カセットユニットを装着している場合は、次に増設カセットユニット右側のカバー E を確認します。ここでは、増設カセットユニット (2 段) を例にしています。

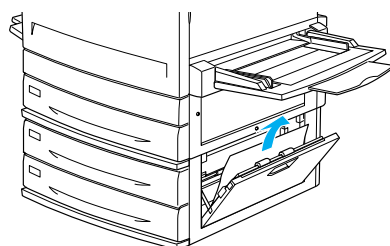
1

増設カセットユニット右側のカバー E を図のように開きます。



2

用紙の端を持ち、破れないようにゆっくりと引き抜きます。



3

カバー E を閉じます。



ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、カバー E を閉じることで解除されます。

詰まった用紙が見つからない場合は、次へ進んでください。

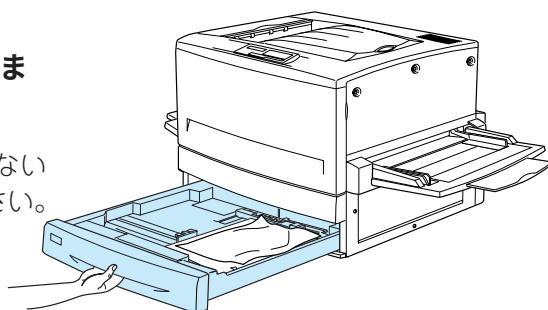
用紙カセットからの用紙の取り出し（ジャムD、E）

用紙カセットの内部を確認します。ここでは、標準装備の用紙カセット（ジャムD）での場合を説明します。オプションの増設カセットユニット装着時（ジャムE）は、同様の手順で確認してください。

1

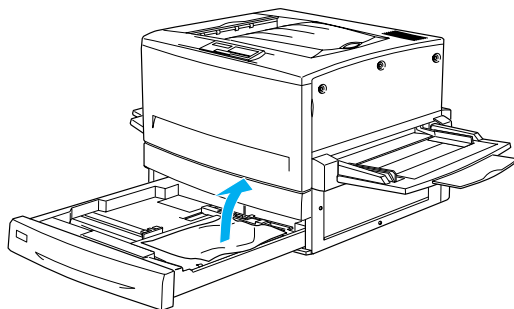
用紙カセットをゆっくり、止まるまで引き出します。

紙詰まりを起こした用紙が破れないように注意して引き出してください。



2

詰まっている用紙、シワが生じている用紙を取り除きます。



ポイント

用紙を取り除く際に用紙が破れてしまった場合、プリンタ内部に紙片が残っていないかを確認して、残っている紙片を取り除いてください。

3

用紙カセットの用紙をセットし直し、用紙カセットを閉じます。



ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、用紙カセットを閉じることで解除されます。

用紙詰まりのエラー状態が解除されない場合は、もう一度最初に戻って詰まった用紙の取り残しがないか確認してください。

プリンタで用紙が詰まったときは

定着ユニットでの用紙詰まり（ジャム B）

定着ユニット（本体左側のユニット B）で用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ	ジャム B

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。



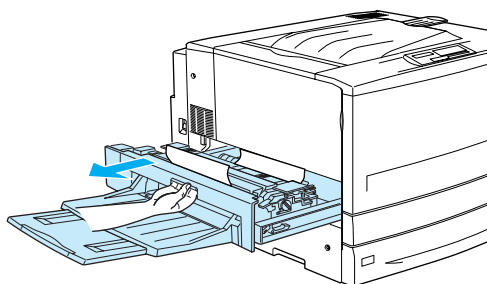
ポイント

フェイスアップトレイに排紙される途中で詰まった用紙は、必ず定着ユニットを開けて取り除いてください。フェイスアップトレイから引っ張って取り除かないでください。

1

本体左側の定着ユニットを、止まるまで引き出します。

詰まっている用紙が破れないようにゆっくり引き出してください。



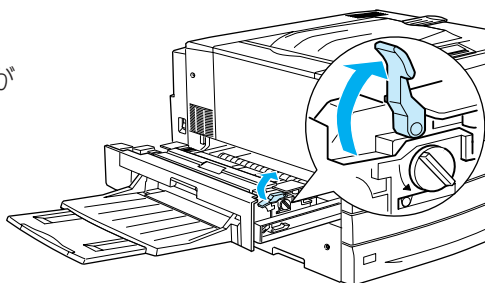
⚠ 注意

プリンタ内部の定着器やその周辺部分には絶対に触れないでください。高温のため、火傷の原因となることがあります。

2

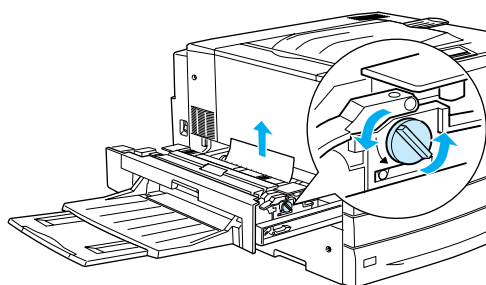
図のレバーを引き上げます。

給紙経路が開き、用紙の送り出しが容易に行えます。



3

ノブを矢印の方向に回して用紙を送り出します。

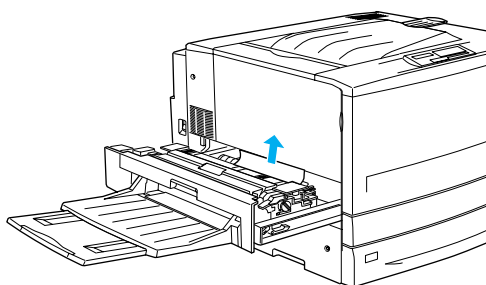


ポイント

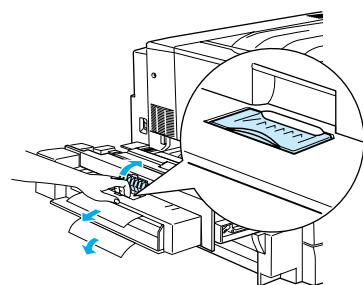
定着ユニット B で詰まった用紙は、必ず上図の方向に送り出して取り除いてください。

4

詰まっている用紙を、右図の矢印の方向にゆっくりと引き抜きます。



両面印刷ユニット装着時、図のカバー内に用紙が確認できても引き抜けないときは、カバーを開き手で用紙を送り出してから引き抜いてください。



5

定着ユニット B を閉じます。

プリンタの左側面に向けてまっすぐに押し、しっかりと閉じてください。



ポイント

定着ユニット B をしっかり閉じていないと、操作パネルに「ユニット B ガイティマス」とメッセージが表示されます。定着ユニット B を確認してしっかり閉じてください。

プリンタで用紙が詰まったときは

排紙口での用紙詰まり（ジャム A）

排紙カバー（本体左側のカバー A）内部で用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ	ジャム A

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

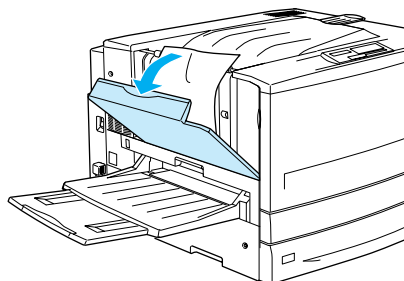


ポイント

フェイスダウントレイに排紙される途中で詰まった用紙は、必ず排紙カバーを開けて取り除いてください。フェイスダウントレイから引っ張って取り除かないでください。

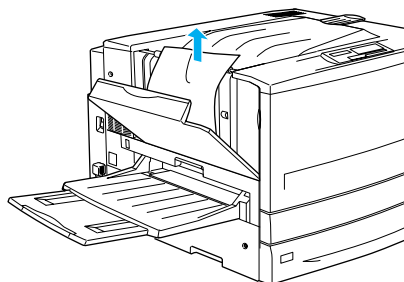
1

本体左側のカバー A を図のように開きます。



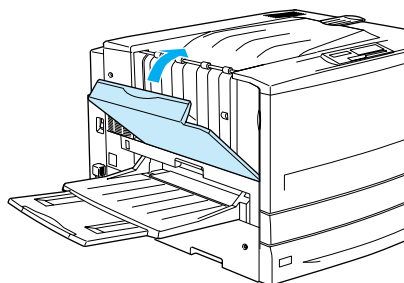
2

詰まっている用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。



3

カバー A を閉じます。



用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、カバー A を閉じることで解除されます。



ポイント

下反転ユニットでの用紙詰まり（ジャム F）

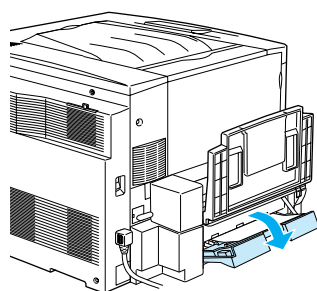
オプションの両面印刷ユニット装着時、本体左下側の下反転ユニット（カバー F）で用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ	ジャム F

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

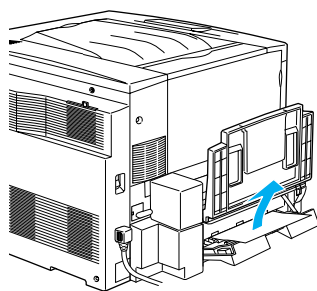
1

下反転ユニット（カバー F）を
図のように開きます。



2

詰まっている用紙の端を持ち、
破れないようにゆっくり引き抜
きます。



3

下反転ユニット（カバー F）を閉じます。



ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、下反転ユニット（カ
バー F）を閉じることで解除されます。

プリンタで用紙が詰まったときは

両面印刷ユニットでの用紙詰まり (ジャム F, D, G)

オプションの両面印刷ユニット装着時、ユニット内部で用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ	ジャム F/ ジャム D/ ジャム G

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。



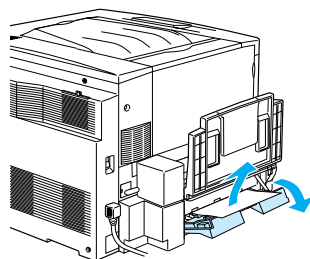
ポイント

ユニット G は、必ずカバー F とカバー D の確認が終わってから引き出してください。

1

カバー F を開き、用紙詰まりを確認します。

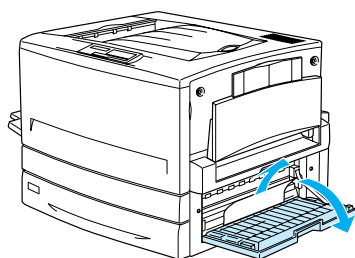
下反転ユニットを開いて詰まっている用紙があれば、用紙をゆっくりと引き抜いてから下反転ユニット（カバー F）を閉じます。



2

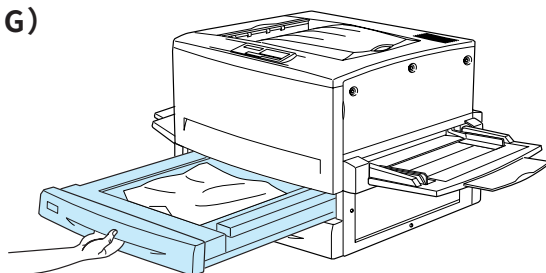
カバー D を開き、用紙詰まりを確認します。

カバー D を開いて詰まっている用紙があれば、用紙をゆっくりと引き抜いてからカバー D を閉じます。



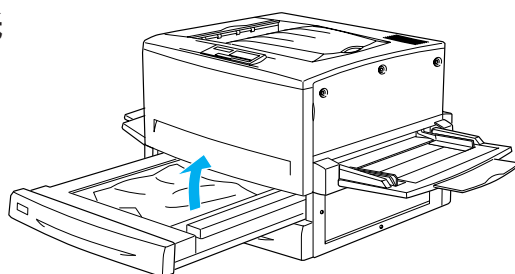
3

水平搬送ユニット（ユニット G）を図のように引き出します。



4

ユニット G に詰まっている用紙を破れないようにゆっくりと取り除きます。



5

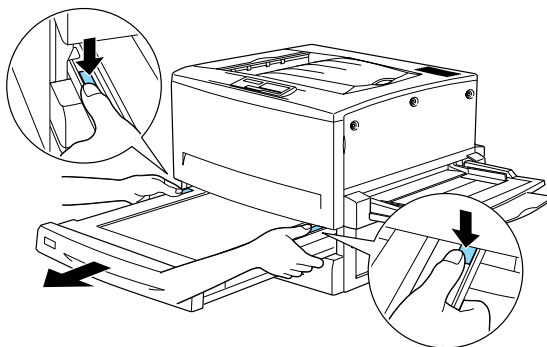
ユニット G を閉じます。



ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、ユニット G を閉じることで解除されます。

①～⑤の手順通りに用紙詰まりを確認しないと、用紙がプリンタ内部に残ることがあります。その場合は、ユニット G を取り外して用紙を取り除いてください。



プリンタで用紙が詰まったときは

プリンタが正常に給紙 / 排紙をしない原因

用紙が詰まる／給排紙されない

チェック



プリンタは水平な場所に設置されていますか？プリンタの下にはさまれている物はありませんか？

設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

チェック



本機で使用可能な用紙を使用していますか？

使用可能な用紙を使用してください。

📖 LP-8500C ユーザーズガイド「用紙について」

チェック



用紙をセットする前によくさばいていますか？

用紙を複数枚セットする場合は、セットする前に用紙をよくさばいてください。

チェック



用紙カセットや用紙トレイに用紙が正しくセットされていますか？

用紙を正しくセットしてください。

📖 LP-8500C ユーザーズガイド「用紙のセット」

チェック



用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？

用紙カセットを正しくセットしてください。

📖 LP-8500C ユーザーズガイド「用紙カセットへの用紙のセット」

チェック



ハガキ、厚紙、OHP シートの場合、用紙トレイにセットしていますか？

ハガキ、厚紙、OHP シートは、用紙トレイにセットしてください。エプソン製カラーレーザープリンタ用OHPシートは、シート上の印を確認して、表側を上にしてください。



コピーデータが、印刷可能領域いっぱいになっていませんか？

コピーデータが、出力する用紙の印刷可能領域いっぱいの場合、用紙詰まりが発生することがあります。

このようなときは、用紙の給紙方向の余白が 10mm 以上になるよう、縮小率を設定してください。また、厚紙の使用時や、[片面→両面] / [両面→両面] コピー時も、用紙の給紙方向の余白が 10mm 以上になるよう設定されることをお勧めします。

用紙を二重送りしてしまう



用紙どうしがくっついていませんか？

用紙をよくさばいてください。



官製ハガキの先端が下向きに反っていませんか？

先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

コピー品質上のトラブル

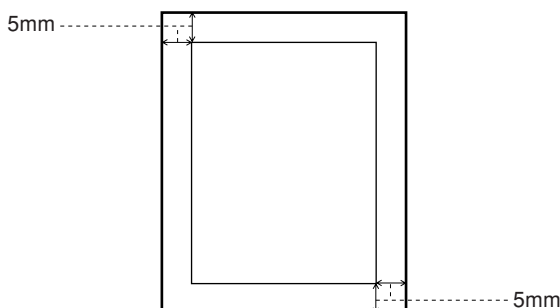
端の部分がコピーされない

チェック



プリンタには、すべての用紙サイズに共通して、印刷できない部分（余白）があります。

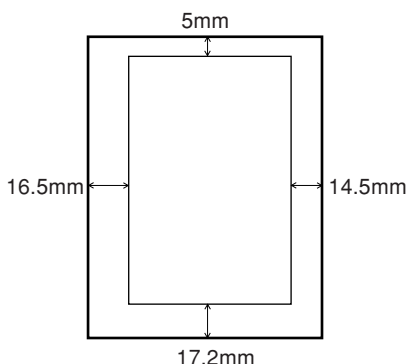
- A3～B5 の定型紙、ハガキ



チェック



- A3W（ノビ）



このため、紙面いっぱいに印刷された原稿を、同じサイズの下紙にコピーするときに、100%（等倍）のままコピーすると、上記余白の部分が印刷されません。このときは、次のように対処してください。

- 元の原稿の大きさを変えたくない場合

コピーする用紙サイズを、原稿よりも一回り大きいサイズにしてください。（原稿が B5 の場合は A4、B4 の場合は A3 など）

- 元の原稿の大きさを、多少縮小してもよい場合

原稿と同サイズのコピー用紙をセットし、フィットページ機能を ON にします。

コピー基本画面から、**縮小** ボタンまたは **拡大** ボタン → **フィットページ** ボタンを押して、ボタンの表示を「フィットページ ON」にしてコピーしてください（43 ページ参照）。

コピーにモアレ（網目状の陰影）が出る

チェック

操作
パネル

「原稿タイプ」を「印刷物」に設定してコピーしてください。

「原稿タイプ」を「印刷物」に設定すると、モアレを防ぐことができます（46 ページ参照）。

黒い文字が黒くならない

チェック

操作
パネル

「原稿タイプ」を「文字」に設定してコピーしてください。

「原稿タイプ」を「文字」に設定すると、黒い文字をくっきりと黒くコピーできます（46 ページ参照）。

写真のコピーで明るい部分が白く飛ぶ

特に人肌などが白く飛ぶ場合は、次のように対処してください。

チェック

操作
パネル

【コピー基本】画面で、「こく / うすく」を1段階「こく」側に設定してコピーしてください。

詳しくは、48 ページを参照してください。

コピー結果が上下にズれる

チェック



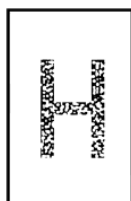
スキヤナの ADF（オートドキュメントフィーダ）に付属のストッパと排紙サポートを、スキヤナ本体に正しく貼り付けていますか？

ストッパと排紙サポートは、原稿の停止および排紙に必要な不可欠な部品ですので、必ず貼り付けてください。

貼り付けないと、ADF が正常に動作しません。また、原稿が詰まったり、折れたりすることがあります。

ストッパと排紙サポートを正しく貼り付けていても、コピー結果が上下にズれる場合は、スキヤナ、または ADF の取扱説明書を参照して対処してください。

印刷が薄い（うすくかすれる、不鮮明）



用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

感光体ユニットが劣化または損傷しています。
新しい感光体ユニットに交換してください。

ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しいET カートリッジに交換してください。

汚れ(点)が印刷される



使用中の用紙が適切ではありません。
「印刷できる用紙の種類」を確認し、印刷できる用紙を使用してください。
📖 LP-8500C ユーザーズガイド「用紙について」

感光体ユニットが劣化または損傷しています。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。

チェック



スキャナの手稿台（ガラス）が汚れていませんか？

ガラスが汚れている場合は、柔らかい乾いた布できれいにふいてください。

周期的に汚れがある



プリンタ内の定着器、または用紙経路が汚れています。
用紙を数枚印刷してください。

感光体ユニットが劣化または損傷しています。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。

指でこするとにじむ



用紙が湿気を含んでいます。

新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。

「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。

🔗 LP-8500C ユーザーズガイド「印刷できる用紙の種類」

厚紙を使用中に、設定が厚紙になっていません。

用紙選択 ボタン→「手差しトレイ」の **設定変更** ボタンを押して、用紙種類を厚紙に設定してください。

塗りつぶし部分に白点がある



使用中の用紙が適切ではありません。

「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。

🔗 LP-8500C ユーザーズガイド「印刷できる用紙の種類」

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。

用紙トレイの場合は、表（印刷）面を上に向けてセットしてください。

用紙カセットの場合は、表（印刷）面を下に向けてセットしてください。

ET カートリッジが劣化または損傷しています。

新しいET カートリッジに交換してください。

用紙全体が塗りつぶされてしまう



感光体ユニットが損傷または劣化しています。

新しい感光体ユニットに交換してください。

縦線が印刷される



感光体ユニットが損傷または劣化しています。

新しい感光体ユニットに交換してください。

何も印刷されない



一度に複数枚の用紙が搬送されています。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しいET カートリッジに交換してください。

感光体ユニットが劣化または損傷しています。
新しい感光体ユニットに交換してください。

白抜けがおこる



用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
適切な用紙を使用してください。

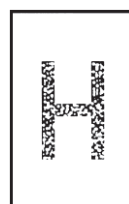
🔗 LP-8500C ユーザーズガイド「印刷できる用紙の種類」

裏面が汚れる



用紙経路が汚れています。
数ページ印刷してください。プリンタ内部に通紙することで汚れが取れる場合があります。

印刷面がザラザラになる



湿気を多く含んだコート紙を使用していませんか？
開封直後のコート紙をご使用ください。コート紙は湿気をさけて保管してください。

原稿とコピー結果の色が合わない

チェック

操作
パネル

明暗・色合いを調整してありませんか？

調整してある場合は、**リセット** ボタンを押して標準設定に戻してください。

チェック

操作
パネル

明暗・色合いを調整していない状態でコピー結果の色が合わない場合は、キャリブレーション調整を行ってください。

キャリブレーション調整を行うと、原稿により近い色合いで印刷できるようになります。詳しくは、93 ページを参照してください。

それでもダメなときは

キャリブレーション調整を行ってもすべての色が合わない場合は、以降の説明を参考にして明暗・色合いを調整してください。

まず、知っておいていただきたいこと

印刷物は、シアン（C）・マゼンタ（M）・イエロー（Y）の3色（色の三原色）を組み合わせで色を表現しています。

このコピーシステムでは、①スキャナから画像を取り込み、②プリンタで印刷するわけですが、このとき、次の処理が行われます。

- ①スキャナから画像を取り込むと、原稿上のシアン（C）・マゼンタ（M）・イエロー（Y）の組み合わせが、赤（R）・緑（G）・青（B）の組み合わせ（光の三原色）に変換されます。
- ②プリンタはシアン・マゼンタ・イエローのトナーを組み合わせで印刷しますので、一旦赤・緑・青に変換されたデータが、再度シアン・マゼンタ・イエローに変換して印刷（コピー）されます。

つまり、「シアン・マゼンタ・イエロー」→「赤・緑・青」→「シアン・マゼンタ・イエロー」という変換が行われるために、原画とコピー結果の色合いを完全に一致させることはできません。ここでは、できる限り近づけるための調整方法を紹介しますので、参考にしてください。

調整方法

1

まず、コピー結果と原稿を比較し、コピー結果の良くない部分を診断します。

「診断点」欄と「診断結果」欄の内容に従って診断してください。

診断点	診断結果	対処方法と参照ページ
全体の明るさ	暗い	[コピー基本] 画面で、濃度調整を「うすく」側に調整 (P.48)
	明るすぎる	[コピー基本] 画面で、濃度調整を「こく」側に調整 (P.48)
明暗の差(メリハリ)	少ない	[コントラスト調整] 画面で、十側に調整 (P.50)
	大きすぎる	[コントラスト調整] 画面で、一側に調整 (P.50)
藍色(青み)	弱い	[RGB調整] 画面で、「R」を一側に調整 (P.51)
	強い	[RGB調整] 画面で、「R」を十側に調整 (P.51)
紅色(紫っぽい赤)	弱い	[RGB調整] 画面で、「G」を一側に調整 (P.51)
	強い	[RGB調整] 画面で、「G」を十側に調整 (P.51)
黄色	弱い	[RGB調整] 画面で、「B」を一側に調整 (P.51)
	強い	[RGB調整] 画面で、「B」を十側に調整 (P.51)
色のあざやかさ	くすんでいる	[彩度調整] 画面で、十側に調整 (P.52)
	あざやかすぎる	[彩度調整] 画面で、一側に調整 (P.52)
色合い	赤みが強い	[色相調整] 画面で、緑側に調整 (P.53)
	緑が強い	[色相調整] 画面で、赤側に調整 (P.53)

2

上表の「対処方法と参照ページ」欄の内容に従い、各種調整を行った上でコピーしてみてください。

この調整によって、コピー結果の明るさや色合いが原稿と完全に一致するわけではありませんが、近づけることは可能です。

消耗品の交換

プリンタの消耗品の残り寿命が少なくなると、操作パネルとプリンタパネルに消耗品の交換を促すメッセージ1が表示されます。また、消耗品の寿命が終わると以下のメッセージ2が表示されます。

() 内はプリンタパネルに表示されるメッセージ

消耗品	メッセージ1	メッセージ2
ETカートリッジ(トナー)	プリンタワーニング発生 トナーカートリッジ (****トナーガスクナクナリマシタ)	プリンタエラー発生 トナーカートリッジ (****トナーカートリッジコウカン)
	****にはトナーの色を以下のように略して表示します。 Y：イエロー C：シアン M：マゼンタ K：黒	
感光体ユニット	プリンタワーニング発生 感光体ユニット (カンコウタイユニットコウカンマヂカ)	プリンタエラー発生 感光体ユニット (カンコウタイユニットコウカン)
廃トナーボックス	プリンタワーニング発生 廃トナーボックス (ハイトナーボックスコウカンマヂカ)	プリンタエラー発生 廃トナーボックス (ハイトナーボックスコウカン)

メッセージ1が表示された場合、消耗品の寿命まで印刷することは可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めの交換をお勧めします。また、メッセージ2が表示された場合、該当する消耗品を交換しないと印刷を再開することはできません。

消耗品を交換する際は「LP-8500Cユーザーズガイド」の該当ページを参照して、作業を行ってください。

- ETカートリッジ：「ETカートリッジの交換」
- 感光体ユニット：「感光体ユニットの交換」
- 廃トナーボックス：「廃トナーボックスの交換」

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済み消耗品の回収方法については、新しい消耗品に添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず、使用済みET-カートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

サポートのご案内

エプソンが行っている各種サービス、サポートは次の通りです。

エプソンFAXインフォメーション

EPSON 製品に関する最新情報をファックスでお知らせします。

ファックス付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけください。ファックス番号は裏表紙にあります。

エプソンインフォメーションセンター

EPSON 製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。

電話番号：本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

受付時間：本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず本書「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないかを必ずご確認ください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。保証書は、お客様（販売店様）からお送りいただきました「保証書発行請求書」のお客様情報を登録させていただいた後、設置日より1年間有効の保証書を発行いたします。

なお、「保証書発行請求書」を返送されない場合、または必要事項の記入漏れなどがございまして、保証書が発行できず、万一の故障の場合でも、有償修理となり、各種サービス・サポートが受けられませんので、必ずご返送くださいますようお願いいたします。保証書は大切に保管してください。

保守サービスの受け付け窓口

CS-6500を快適のご使用いただくために、年間保証契約の締結をお勧めします。詳細については、ご購入いただきました販売店にお問い合わせください。保守サービスのご相談、お申し込みは、保証書に記載の「サービス実施店」、または、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
 - エプソンフィールドセンター/エプソンサービスセンター/エプソン修理センター
- 電話番号：本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の2種類の保守サービスを用意しています。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。

種類	概要	修理代金と支払方法	
		保証期間内	保証期間外
年間保守契約	製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。修理のつど発生する修理代・部品代*の費用はいただきませんので予算化ができて便利です。また、定期点検（別料金）で、故障を未然に防ぐことができます。	年間一定の保守料金一括前払いでお支払いいただきます。 *消耗品は保守料金に含まれておりません。	
スポット出張修理	お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。	無償	出張費用＋修理費用（修理完了後、その都度お支払いください。）

※離島、山間地に関しましては別途交通費が必要となります。

インターネット・パソコン通信サービス

EPSON製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、パソコン通信による情報の提供を行っています。

■ インターネット

エプソン販売 WWW SERVER : <http://www.i-love-epson.co.jp>

■ パソコン通信名

@nifty : EPSON information Forum（コマンド：GO FEPSONI）
□は、半角スペースです。

*@nifty（アットニフティ）会員のうち、旧NIFTY SERVE会員のみ利用可能

(空白のページ)

付録

ここでは、次の内容について説明しています。

- オプションの紹介 P.142
- 日常のお手入れ P.143
- 移動時のご注意 P.144
- CS-6500 の基本仕様 P.145
- 索引 P.147

オプションの紹介

CS-6500 には次のオプションがあります。

専用スキャナスタンド / 専用プリンタ台

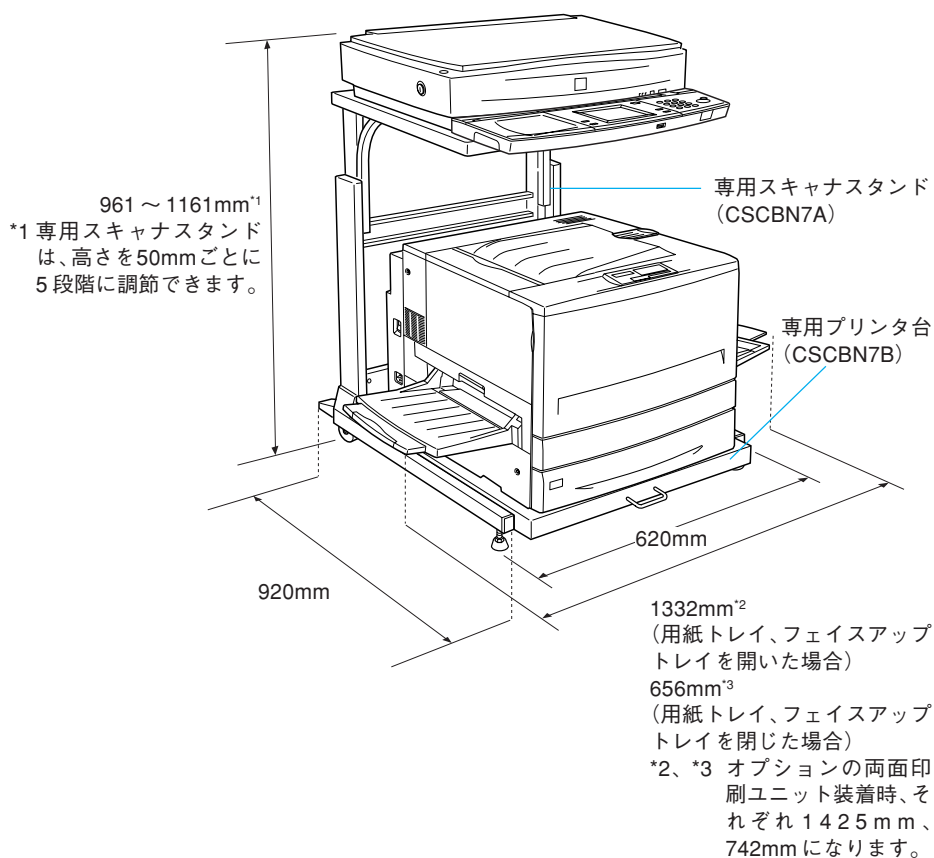
CS-6500 (操作パネル)、プリンタ、スキャナを効率良く設置することができます。

専用スキャナスタンドには、高さを5段階に調節できます。プリンタにオプションの増設カセットユニットを装着している場合、プリンタがスタンドの中に入るよう、組み立て時に高さを調節してください。

型番：専用スキャナスタンド CSCBN7A

：専用プリンタ台 CSCBN7B

使用イメージ



日常のお手入れ

本機を末永くお使いいただけるように、定期的に次のようなお手入れをしてください。

CS-6500

操作パネルの汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よくしぼって汚れをふきとってから、乾いた布でふいてください。



注意

- シンナー、ベンジンなどの揮発性薬品はケースなどの表面を痛めることがありますので、絶対に使わないでください。
- 本機には絶対に水などがかからないように注意してください。

故障のとき

本機には、お客様自身で修理、交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店か、フィールドセンターにお問い合わせください。フィールドセンターの連絡先は裏表紙にあります。

故障かな？と思っても、取扱説明書中の「困ったときは」の内容に従って確認すれば、解決できることもあります。「困ったときは」の内容を確認してください。

プリンタ・スキャナ

プリンタ、スキャナの日常のお手入れについては、それぞれの製品に同梱の、次の取扱説明書を参照してください。

プリンタ : ユーザーズガイド「プリンタの清掃」

スキャナ : ユーザーズガイド「日常のお手入れ」

移動時のご注意



ポイント

カラーコピーシステムを移動するときは、スキャナとプリンタの電源スイッチでオフにしてください。

CS-6500 の移動

1

プリンタとスキャナの電源スイッチをオフにします。

2

各種ケーブルを取り外します。

3

CS-6500 の操作パネルを梱包します。

専用の梱包箱と梱包材を使って、開梱したときと同じ状態で梱包してください。
正しく梱包しないと、輸送中に振動や衝撃が加わって故障の原因になります。

プリンタ・スキャナの移動

プリンタ、スキャナの移動方法については、それぞれの製品に同梱の、次の取扱説明書を参照してください。

プリンタ : ユーザーズガイド「プリンタの移動」

スキャナ : ユーザーズガイド「移動時のご注意」

CS-6500 の基本仕様

仕様、外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
ここには、CS-6500の基本仕様を記載してあります。プリンタ、スキャナの
基本仕様については、それぞれの製品に同梱の、次の取扱説明書を参照して
ください。

プリンタ：ユーザーズガイド「プリンタの仕様」

スキャナ：ユーザーズガイド「基本仕様」

対応プリンタ・スキャナ

●対応プリンタ	LP-8500C LP-8300C
●対応スキャナ	ES-6000H ES-8500

機械的特性

●外形寸法（操作パネル）	幅 625mm × 奥行き 165mm × 高さ 37mm
●スキャナ、プリンタ接続方法	専用のI/Fカードとシールドケーブルにより 接続

操作パネル

●LCD	320 × 240 画素LCD およびタッチパネル (白色 CCFT バックライト付)
●有効表示範囲	115.2mm × 86.4mm
●表示画素ピッチ	0.36mm × 0.36mm
●表示画素寸法	0.33mm × 0.33mm
●抵抗式タッチスクリーン	8 × 6 マトリックス
●ボタンスイッチ	スタート・ストップ・リセット・ジョブメモ リ・管理者モード 枚数設定テンキー・カラー/白黒・上面排紙/ 側面排紙
●LED 表示ランプ	電源・使用可・エラー・カラー/白黒・上面 排紙/側面排紙

電気的特性

●定格	●プリンタ用 I/F カード 5V - 1.8A (操作パネル 5V - 1.0A 含む)
●消費電流	●スキャナ用 I/F カード 5V - 0.2A 最大 2000mA 以下 動作時 1270mA 以下 待機時 (バックライト OFF 時) 700mA 以下

適合規格

- 電磁障害 VCCI クラス A

環境条件

- 温度 動作時：10～35℃
保存時：－15～60℃
- 湿度 動作時：20～80%（非結露）
保存時：15～85%（非結露）

信頼性

- MTBF（平均故障間隔） 15000 時間

使用条件

- 塵埃 一般事務所、一般家庭程度
異常にホコリの多いところは避けること
- 照度 直射日光は避けること

索引

アルファベット

- A ADF
 - エラー 111
 - 原稿が詰まったときは 113
 - 原稿のセット 12
 - 使用可否 15
- R RGB 調整 51

アイウエオ

- エ エラーメッセージ一覧 101
- オ 応用コピー 64
- オプションの紹介 142
- カ 拡大 / 縮小 40
- 紙詰まりの対処
 - スキャナの ADF 113
 - プリンタ 115
 - 管理者モード 88
- キ キータッチ音 91
- キャリブレーション調整 93
- ケ 原稿タイプ 46
- 原稿のセット
 - 原稿台 12
 - ADF 15
 - 原稿の向きとコピーの向き 6
- コ 故障かな？と思ったら 100
- コピー色 45
- コピージョブ標準値 92
- コピー設定の再利用 54
- コピー濃度 48
- コピーの実行 32
- コピーの中止 33
- コピー品質上のトラブル 130
- コピー枚数 31
- コピーユニット工場出荷時設定 97
- コントラストの調整 50

- サ サイズ
 - 原稿 12, 13, 15
 - 用紙 18
 - 彩度の調整 52
 - サービスコールエラー 110
- シ 色相の調整 53
- 自動給紙 92
- 白黒コピー 45
- 出荷時設定に戻す 97
- 消耗品の交換 137
- ス スキャナの ADF で
 - 原稿が詰まったときは 113
 - スキャナのエラー 110
 - スキャナへの原稿のセット
 - 向き 6
 - 原稿台へのセット 12, 13
 - ADF へのセット 15
 - スキャナをパソコンに
 - 接続するときは xii
 - スタンバイ制御 5, 91
 - ステータス 89
 - ズーム 42
- セ 専用スキャナスタンド 142
- 専用プリンタ台 142
- ソ 操作パネルの明るさを変える 61
- チ 丁合いコピー 75
- テ 定型拡大 40
- 定型縮小 40
- 電源の投入 2
- ト 登録 54
- 綴じしろ 71
- ニ 任意倍率 42
- ノ 濃度調整 48
- ハ 排紙トレイの切り替え 30
- 倍率の設定 39
- パネル明暗調整ボリューム 61

- ヒ 標準値設定 92
- フ フィットページ 43
 - フェータルエラー 111, 112
 - フェイスアップトレイ 17
 - フェイスダウントレイ 17
 - ブック影消し 82
 - プリンタ
 - 印刷可能領域 19
 - エラー 101
 - 用紙が詰まったときは 115
 - 用紙のセット 17
 - パソコンに接続するときは xii
- ヘ ページ連写 77
- マ マージン 19
- メ 明暗の調整 61
 - メッセージ
 - エラー 101
 - メモリ 54
- モ モアレ 46, 47, 131
 - 文字・写真の混在原稿のコピー ... 46
 - モノクロコピー 45
- ヨ 用紙
 - カセットの選択 31
 - セットできる種類/サイズ 17
 - セットできる枚数 17
 - セットの向き 6
 - セットの仕方 20, 24
 - 用紙カセットへのセット 20
 - 用紙選択 23, 27
 - 用紙トレイのセット 24
 - 余白 19
- リ 両面コピー 58
- ワ 割り付け 65

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

MEMO

[illegible]

電波障害自主規制について ― 注意 ―

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

アフターサービス連絡先

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。

FAQ <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●出張修理・保守契約申込先

出張修理、保守契約のお申し込みは、下記フィールドセンター（FC）まで、ご連絡下さい。

拠点名	電話番号	管轄地域	拠点名	電話番号	管轄地域
札幌FC	(011)222-7590	北海道全域	京都FC	(075)255-6891	京都・滋賀
仙台FC	(022)214-7625	青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島	広島FC	(082)222-3482	山口・広島
松本FC	(0263)54-7302	長野・山梨	岡山FC	(086)223-3331	鳥取・島根・岡山・広島（福山市）
東京FC	(042)354-0750	東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・群馬・茨城・新潟	四国FC	(087)851-6728	香川・愛媛・高知・徳島
名古屋FC	(052)202-9510	愛知・岐阜・三重	福岡FC	(092)622-8626	福岡・佐賀・長崎・大分
静岡FC	(054)251-1360	静岡	北九州FC	(093)541-3155	福岡北部
金沢FC	(076)224-7084	石川・富山・福井	熊本FC	(096)326-4519	熊本
大阪FC	(06)6397-0930	大阪・奈良・和歌山	鹿児島FC	(099)254-5913	鹿児島・宮崎
神戸FC	(078)332-9905	兵庫	沖縄FC	(098)858-3301	沖縄

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●修理品送付・持ち込み・ドア to ドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込み頂くか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	ドア to ドアサービス 受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1丁目 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス棟	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス棟	0263-86-9995 ドア to ドア専用 受付電話 365日受付可	0263-86-7660
日野修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス棟	同 右	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス棟	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通商ビル2F エプソンサービス棟	同 右	098-852-1420

*「ドア to ドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に向う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡下さい。

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承下さい。【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

*修理について詳しくは、ホームページアドレス<http://www.epson-service.co.jp>でご確認下さい。

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

札幌(011)222-7931 仙台(022)214-7624 東京(042)585-8555 名古屋(052)202-9531 大阪(06)6399-1115
広島(082)240-0430 福岡(092)452-3942 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00（祝日、弊社指定休日を除く）

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

(042)585-8444 【受付時間】月～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221-7911 東京(042)585-8500 名古屋(052)202-9532 大阪(06)6397-4359 福岡(092)452-3305

●エプソンデジタルカレッジ（スクール）に関するお問い合わせ・お申し込み

東京 TEL(03)5295-4169 FAX(03)5295-4168 【受付時間】月曜日～金曜日10:00～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

大阪 TEL(06)6634-8570 FAX(06)6634-2570 【受付時間】水曜日を除く毎日10:00～12:00/13:00～17:30（弊社指定休日を除く）

*スケジュールはホームページ、FAXインフォメーションでもご確認できます。

●ショールーム ※詳細はホームページでもご確認できます。

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア秋葉原 〒101-0021 東京都千代田区外神田3-13-7
【開館時間】毎日 10:00～18:00（弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪府中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア大阪日本橋 〒556-0005 大阪府浪速区日本橋5-4-20 エスタビル
【開館時間】毎日 10:00～18:00（弊社指定休日を除く）

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認下さい。

●消耗品の購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5